

EW-M530F Series

ユーザーズガイド

目次

マニュアルの見方	7
マニュアルの種類と内容	7
マニュアルの使い方と情報の探し方	7
マークの意味	8
マニュアル記載の前提	9
OS表記の仕方	9
マニュアルのご注意	10

製品のご注意	11
本製品の不具合に起因する付随的損害	11
タッチパネル使用上のご注意	11
揮発性物質の放散	11
電波に関するご注意	11
無線LAN (Wi-Fi) 機能に関するご注意	12
セキュリティに関するご注意	12
本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意	13
本製品の使用限定	13
本製品の譲渡と廃棄	13

プリンターの基本情報	14
各部の名称と働き	14
操作パネル	16
画面の見方と使い方	17
画面に表示されるアイコン	17
タッチパネルの操作	18
基本の操作	19
文字入力の仕方	20
操作手順を動画で見る	21

ネットワーク設定	22
ネットワーク接続の種類	22
有線LAN接続	22
無線LAN (Wi-Fi) 接続	23
Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続	23
コンピューターとの接続	24
スマートデバイスとの接続	25

プリンターのネットワーク設定	25
プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する	25
プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)	27
PINコードで設定する (WPS)	28
Wi-Fi Direct (シンプルAP) で設定する	29
ネットワーク詳細設定をする	29
ネットワーク接続状態の確認	31
ネットワークアイコン	31
操作パネルでネットワークの詳細情報を確認する	31
ネットワーク接続診断レポートを印刷する	32
ネットワークステータスシートを印刷する	38
無線LANルーター (アクセスポイント) を交換または追加したときは	38
コンピューターとの接続形態の再設定	38
操作パネルで有線LAN接続に変更する	39
操作パネルから無線LANを無効にする	39
操作パネルからWi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を無効にする	40
操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す	40

プリンターの準備	42
用紙のセット	42
対応用紙とセット可能枚数	42
用紙カセットに用紙をセットする	45
ハガキのセット方法	47
封筒のセット方法	48
セットした用紙の種類を設定する	49
原稿のセット	50
ADFにセットできる原稿	50
ADFに原稿をセットする	51
原稿台に原稿をセットする	52
アドレス帳の管理	54
アドレスを登録または編集する	54
アドレスをグループにする、グループを編集する	55
コンピューターからのアドレス帳管理	56
設定メニューの説明	57
本体設定メニューの説明	57
消耗品情報メニューの説明	61
プリンターのお手入れメニューの説明	62
本体ステータスシートの印刷メニューの説明	62
印刷ページ数の確認メニューの説明	63

ユーザー設定メニューの説明	63
初期設定に戻すメニューの説明	63
ファームウェアのアップデートメニューの説明	64
省電力設定をする	64
省電力設定をする - 操作パネル	64

印刷 65

Windowsプリンタードライバーから印刷する	65
プリンタードライバーの開き方	65
基本の印刷	65
両面に印刷する	67
複数ページを1枚の用紙に印刷する	68
ページ順に印刷する（逆順印刷）	69
拡大縮小して印刷する	69
複数用紙に分割して拡大印刷する（ポスター）	70
ヘッダーやフッターを入れて印刷する	76
透かしを入れて印刷する（透かし印刷）	77
複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめてプリント）	78
カラーユニバーサルデザイン（CUD）で印刷する	78
色補正をして印刷する	79
細い線を鮮明に印刷する	80
バーコードのにじみを抑えて印刷する	80
印刷を中止する	81
プリンタードライバーのメニュー説明	81
Mac OSプリンタードライバーから印刷する	86
基本の印刷	86
両面に印刷する	87
複数ページを1枚の用紙に印刷する	88
ページ順に印刷する（逆順印刷）	89
拡大縮小して印刷する	89
色補正をして印刷する	90
印刷を中止する	90
プリンタードライバーのメニュー説明	91
Mac OSプリンタードライバーの動作を設定する	97
スマートデバイスから印刷する	98
Epson iPrintを使う	98
Epson印刷サービスプラグインを使う	99
AirPrintを使う	100
Mopria Print Serviceで印刷する	101
印刷中のジョブを中止する	101

コピー 102

基本のコピー	102
用紙の両面にコピーする	103
複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする	103

コピー時の基本設定メニュー	103
コピー時の応用設定メニュー	104

スキャン 106

操作パネルからスキャンする	106
スキャンした画像をコンピューターに保存する（Event Manager）	106
スキャンした画像をクラウドに保存する	110
コンピューターからスキャンする	112
スマートデバイスからスキャンする	113
Epson iPrintをインストールする	113
Epson iPrintでスキャンする	113

ファクス 115

ファクスの準備	115
プリンターを電話回線に接続する	115
ファクスの基本設定	119
プリンターからファクスを送信する	122
ファクス送信の基本操作	122
便利な送信方法	125
プリンターでファクスを受信する	127
受信モードを設定する	127
いろいろな受信方法	129
受信文書の保存	131
コンピューターからファクスを送信する	134
アプリケーションで作成した文書を送信する（Windows）	134
アプリケーションで作成した文書を送信する（Mac OS）	137
コンピューターでファクスを受信する	138
受信ファクスをコンピューターに保存する	138
コンピューターでファクスを受信してプリンターで印刷もする	139
コンピューターでのファクス受信をやめる	139
新着ファクスを確認する（Windows）	139
新着ファクスを確認する（Mac OS）	141
その他のファクス機能を使う	141
各種ファクスレポートやリストを印刷する	141
ファクスのセキュリティを設定する	142
ファクスメニューの説明	142
宛先	142
ファクス設定	143
応用	144
ファクス設定メニューの説明	145
ファクス診断	145

ファクス設定ウィザード	145
受信設定	146
レポート設定	147
基本設定	147
セキュリティ設定	149
ユーザー設定メニューの説明	149
受信ボックスメニューの説明	150

インクカートリッジなど消耗品の交換 151

消耗品の状態を確認する	151
インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - 操作パネル	151
インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Windows	151
インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Mac OS	151
純正インクカートリッジのご案内	151
インクカートリッジ取り扱い上のご注意	152
インクカートリッジを交換する	154
メンテナンスボックスの型番	154
メンテナンスボックス取り扱い上のご注意	155
メンテナンスボックスを交換する	155
消耗品の回収と廃棄	156
インクカートリッジの回収	156
メンテナンスボックスの回収	157
インクカートリッジやメンテナンスボックスの廃棄	157
黒インクだけで一時的に印刷する	157
黒インクだけで一時的に印刷を続ける（操作パネル）	157
黒インクだけで一時的に印刷を続ける（Windows）	158
黒インクだけで一時的に印刷を続ける（Mac OS）	159
黒インクが少なくなったときに黒インクを節約する（Windowsのみ）	160

プリンターのメンテナンス 161

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする	161
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - 操作パネル	161
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Windows	162
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Mac OS	162

プリントヘッドの位置を調整する	162
プリントヘッドの位置を調整する - 操作パネル	163
給紙経路をクリーニングする	164
給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）	165
給紙経路をクリーニングする（正しく給紙されないとき）	165
ADFをクリーニングする	166
原稿台の汚れを拭き取る	169
半透明フィルムの汚れを拭き取る	170

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内 173

ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）	173
WebブラウザからWeb Configを起動する	173
WindowsからWeb Configを起動する	174
Mac OSからWeb Configを起動する	174
コンピューターからスキャンするソフトウェア（Epson ScanSmart）	174
操作パネルのカスタム設定をするソフトウェア（Epson Event Manager）	175
スキャナーを制御するソフトウェア（Epson Scan 2）	175
ネットワークスキャナーの追加方法	176
ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）	177
ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバ）	177
写真を印刷するソフトウェア（Epson Photo+）	178
ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）	179
複数のデバイスを設定できるソフトウェア（EpsonNet Config）	179
最新のソフトウェアをインストールする	180
操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する	181
ソフトウェアをアンインストール（削除）する	181
ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows	182
ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Mac OS	182
ネットワークサービスを使って印刷する	183

困ったときは 184

プリンターの状態を確認する	184
プリンター画面のメッセージを確認する	184
プリンターの状態を確認する - Windows	185
プリンターの状態を確認する - Mac OS	186
ソフトウェアの状態を確認する	186
詰まった用紙を取り除く	186
詰まった用紙を取り除く	186
ADFから詰まった用紙を取り除く	189
正しく給紙ができない	191
印刷用紙が詰まる	191
斜めに給紙される	191
重なって給紙される	192
印刷途中に排紙される	192
ADFから給紙できない	192
電源、操作パネルのトラブル	193
電源が入らない	193
電源が切れない	193
プリンターの画面が暗くなった	193
コンピューターから印刷できない	193
接続状態をチェック (USB)	193
接続状態を確認する (Windows ネットワーク)	194
接続状態をチェック (ネットワーク)	195
ソフトウェアやデータをチェック	195
コンピューターでプリンターの状態をチェック (Windows)	197
コンピューターでプリンターの状態をチェック (Mac OS)	198
ネットワークの接続設定ができない	198
ネットワーク接続に問題がないのに機器から接続できない	199
プリンターが接続している SSID の確認方法	199
コンピューターが接続している SSID の確認方法	199
iPhone、iPad、iPod touchから印刷できない	200
印刷結果のトラブル	201
印刷結果がかすれる、出ない色がある	201
印刷結果にスジ（線）が入る、色合いがおかしい	201
約3.3cm間隔で色の付いたスジが入る	202
印刷結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる	202
印刷品質が悪い	203
印刷用紙が汚れる、こすれる	204
自動両面印刷すると印刷用紙が汚れる	205
写真印刷するとインクがベタベタする	206
画像や写真が意図しない色合いになる	206
ハガキに縦長の写真を印刷すると宛名面と上下が逆になる	206
フチなし印刷できない	206
フチなし印刷で画像の周囲が欠ける	206
印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない	207

文字が正しく印刷されない、文字化けする	207
画像が反転する	207
モザイクがかかったように印刷される	208
コピー結果にムラやシミ、斑点、線が出る	208
コピー結果にモアレ（網目状の陰影）が出る	208
コピーすると裏写りする	208
ADFからコピーした図や文字が潰れる、伸びる	209
印刷結果のトラブルが解決しない	209
印刷時のその他のトラブル	209
印刷速度が遅い	209
連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった	210
Mac OS X v10.6.8から印刷を中止できない	210
スキャンできない	210
スキャン品質のトラブル	211
原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが現れる	211
ADFからスキャンするとき直線が現れる	211
ADFからスキャンした図や文字が潰れる、伸びる	212
原稿の裏面が写る	212
原稿台で正しい範囲でスキャンできない	212
スキャン品質のトラブルが解決しないときは	212
スキャン時のその他のトラブル	213
スキャン速度が遅い	213
PDF/Multi-TIFF形式でスキャンすると動作が止まる	213
ファクス送受信のトラブル	214
ファクスの送信も受信もできない	214
ファクスを送信できない	215
特定の宛先にファクスを送信できない	215
指定時間にファクスを送信できない	216
ファクスを受信できない	216
メモリー不足のメッセージが表示された	217
きれいに送信できない	217
原稿サイズと違うサイズで送信された	217
きれいに受信できない	218
受信ファクスが印刷されない	218
受信ファクスの2ページ目が白紙または数行だけ印刷される	218
ファクス時のその他のトラブル	219
プリンターに接続した外付け電話機で通話できない	219
留守番電話が応答しない	219
ナンバーディスプレイ機能が働かない	219
受信文書に相手先のファクス番号が表示されない、またはファクス番号が間違って表示される	219
その他のトラブル	220
プリンターに触れたときに電気をを感じる	220
動作音が大きい	220
日時、時刻がずれている	220
ソフトウェアがセキュリティソフトにブロックされる (Windowsのみ)	220

付録 221

プリンターの仕様	221
プリンター部の仕様	221
スキャナー部の仕様	223
インターフェイスの仕様	223
ファクス部の仕様	223
ネットワーク機能一覧	224
無線LANの仕様	226
有線LANの仕様	227
セキュリティのプロトコル	227
対応している他社サービス	227
外形寸法と質量の仕様	228
電氣的仕様	228
動作時と保管時の環境仕様	228
対応OS	229
規格と規制	229
電源高調波	229
瞬時電圧低下	229
電波障害自主規制	229
著作権	230
複製が禁止されている印刷物	230
揮発性物質の放散	230
プリンターを輸送する	230
商標	232
サービスとサポートのご案内	233
サービスとサポートのご案内	233
エプソンサービスパック	233
保守サービスのご案内	234
保守サービスの種類	234
アフターサポート・サービスのご案内	236

マニュアルの見方

マニュアルの種類と内容

プリンターには以下のマニュアルが用意されています。マニュアル以外にも、いろいろなヘルプがプリンター本体やソフトウェアに組み込まれているのでご活用ください。

- 使い方ガイド（紙マニュアル）
プリンターを使えるようにするための準備、基本的な使い方や困ったときの解決方法などを説明しています。
- ユーザーズガイド（電子マニュアル）
本書です。WebマニュアルとPDFマニュアルがあります。プリンターの使い方全般、お手入れの仕方、プリンターをネットワークで使用する時の設定方法やトラブルへの対処方法を説明しています。

最新のマニュアルを閲覧するには、以下のウェブサイトへアクセスし、製品名を入力して「サポート」をクリックしてください。

<http://epson.sn>

マニュアルの使い方と情報の探し方

PDFマニュアルでは、探したい情報のキーワードから該当箇所を検索したり、しおりから直接ジャンプしたりすることができます。また、必要なページだけ印刷することもできます。ここでは、PDFマニュアルをコンピューターのAdobe Reader Xで開いた場合の使い方を説明します。

キーワードで検索する

「編集」メニューの「高度な検索」をクリックします。検索ボックスに探したい情報のキーワード（語句）を入力して、「検索」をクリックします。キーワードの該当箇所が一覧で表示されます。表示された文字列をクリックすると、該当ページにジャンプします。

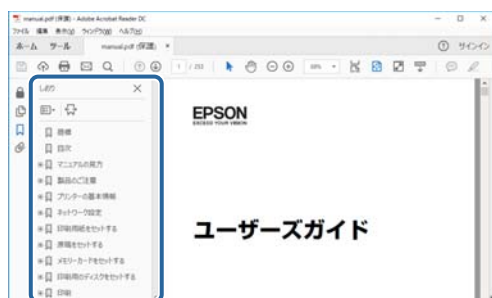


しおりから直接ジャンプする

タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。[+] または [-] をクリックすると下の階層のタイトルが表示されます。ジャンプ前のページに戻りたいときは、キーボードで以下の操作をします。

- Windows：[Alt] キーを押したまま←キーを押します。

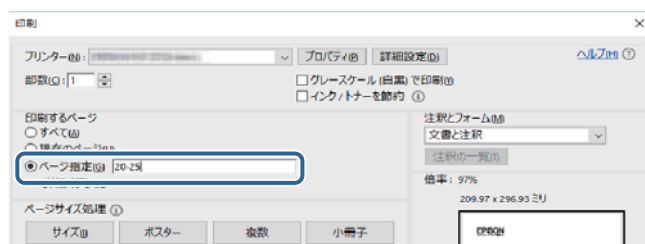
- Mac OS : commandキーを押したまま←キーを押します。



必要なページだけ印刷する

紙で読みたいページだけを抜き出して印刷できます。[ファイル] メニューの[印刷] または[プリント] をクリックし、[印刷するページ] の[ページ指定] で、印刷したいページを指定します。

- 連続したページの指定は、開始ページと終了ページの間にハイフンを入れます。
例：20-25
- 連続していない複数ページの指定は、ページをカンマで区切ります。
例：5,10,15



マークの意味

⚠ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

関連情報

➡ 関連したページにジャンプします。

マニュアル記載の前提

- プリンタードライバーの画面はWindows 10またはmacOS High Sierraでの表示画面を使用しています。表示内容は機種や状況によって異なります。
- イラストは一例です。機種によって多少異なりますが操作方法は同じです。
- 画面の設定項目は機種や設定状況によって異なります。
- QRコードは専用アプリで読み取れます。

OS表記の仕方

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 10」「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2019」「Windows Server 2016」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 10 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2019 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2016 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system日本語版

Mac OS

本書では、「Mac OS X v10.6.8」以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルのご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© 2020 Seiko Epson Corporation

製品のご注意

本製品の不具合に起因する付随的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償いたしかねます。

タッチパネル使用上のご注意

- パネルは指でタッチしてください。
- ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。
- パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることがあります。
- 急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。
- パネルを強く押さえ付けたり、強い衝撃を与えたりしないでください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、エプソンの修理窓口にご連絡ください。

揮発性物質の放散

本製品はエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

電波に関するご注意

機器認定

本製品には電波法に基づく小電力データ通信システムとして認証を受けている無線設備が内蔵されています。

- 設備名：WLU6320-D69 (RoHS)
- 認証番号：204-330030

周波数

本製品は2.4GHz帯の2.400GHzから2.4835GHzまで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意して使用してください。

本製品の使用上の注意

本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数では、電子レンジなどの産業、科学、医療用機器の他、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、アマチュア無線局、免許を要しない特定の小電力無線局（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、使用周波数を変更するかまたは本製品の運用を停止（無線の発射を停止）してください。
- 不明な点、その他お困りのことが起きたときは、エプソンのインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

参考

- 本製品はWi-Fi Allianceの承認を受けた無線機器です。他メーカーのWi-Fi承認済みの無線機器と通信が可能です。Wi-Fi対応製品の詳細はWi-Fi Allianceのホームページ（<http://www.wi-fi.org>）をご参照ください。
- この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS、OFDM変調方式を採用しており、与干渉距離は40mです。全帯域を使用し周波数変更が可能です。

2.4 DS/OF 4

無線LAN（Wi-Fi）機能に関するご注意

- 本製品からの電波は、医療用機器に影響を及ぼすおそれがあります。医療機関の中や、医療用機器の近くで本製品を使用する場合は、医療機関の管理者、医療用機器側の指示や注意に従ってご使用ください。
- 本製品からの電波は、自動ドアや火災報知機などの自動制御機器に影響を及ぼすおそれがあります。自動制御機器の近くで本製品を使用する場合は、自動制御機器側の指示や注意に従ってご使用ください。

セキュリティーに関するご注意

お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

本製品などの無線LAN製品では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してコンピューターなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えて全ての場所に届くため、セキュリティーに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、以下のような行為をされてしまう可能性があります。

- 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）

- コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合は、弊社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理、保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります。弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の使用限定

本製品を航空機、列車、船舶、自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能、精度などにおいて高い信頼性、安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性、安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品の譲渡と廃棄

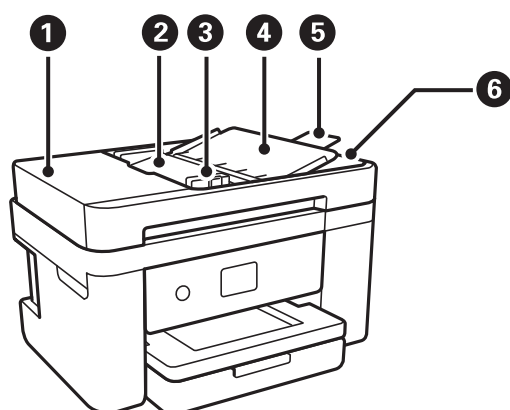
本製品を譲渡もしくは廃棄する際は、本製品のメモリーに保存されているお客様固有の情報の流出による、不測の事態を回避するために、保存した情報（ネットワーク設定、電話番号、宛先名称など）を消去してください。

操作パネルで「設定」メニューの「初期設定に戻す」を実行すると消去できます。

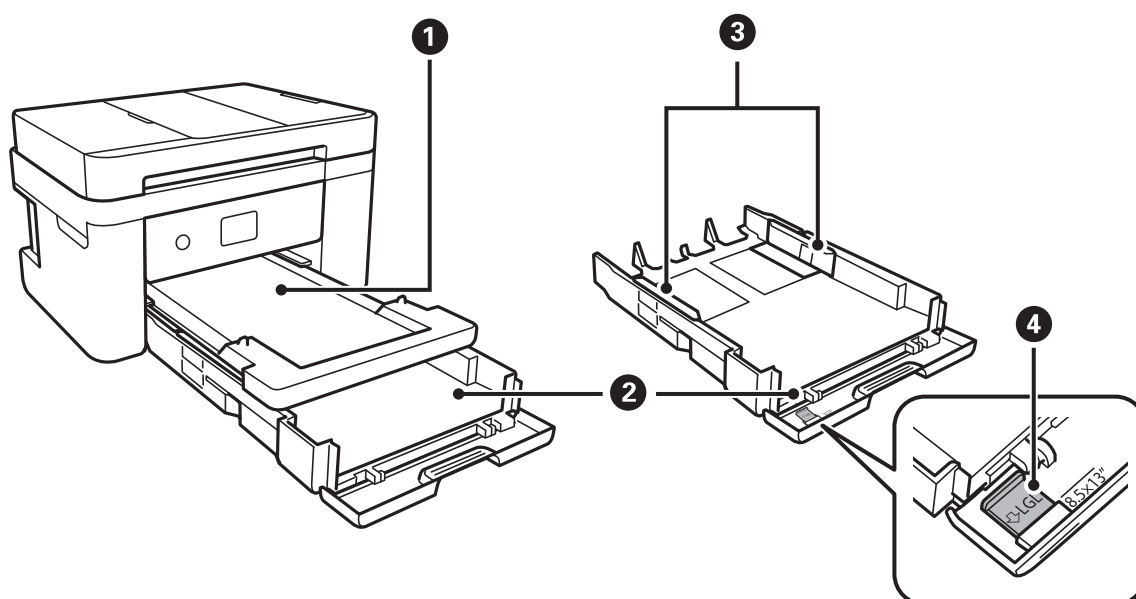
一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

プリンターの基本情報

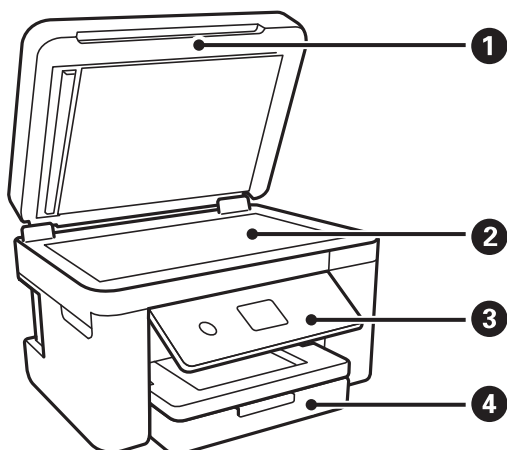
各部の名称と働き



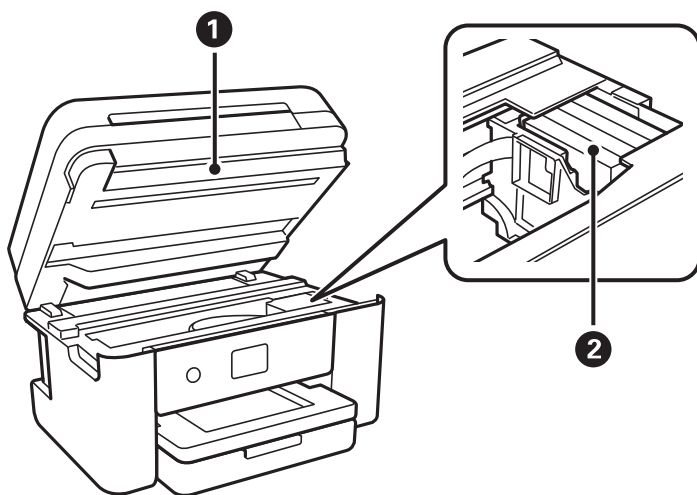
①	ADF（オート ドキュメント フィーダー）カバー	ADFに詰まった原稿を取り除くときに開けます。
②	ADFトレイ	原稿を自動で送ります。
③	ADF原稿ガイド	原稿をまっすぐ送るためのガイドです。原稿の側面に合わせてください。
④	ADF原稿サポート	原稿を支えます。
⑤	ADF拡張トレイ	ADFから排出された原稿を保持します。ADFでリーガルサイズ of 原稿をスキャンするときに広げます。
⑥	ADF排紙トレイ	ADFから排出された原稿を保持します。



①	排紙トレイ	印刷された用紙を保持します。
②	用紙カセット	印刷用紙をセットします。
③	用紙ガイド	用紙をまっすぐ送るためのガイドです。用紙の側面に合わせてください。
④	延長用紙ガイド	A4より長いサイズ of 用紙をセットするときに引き出します。

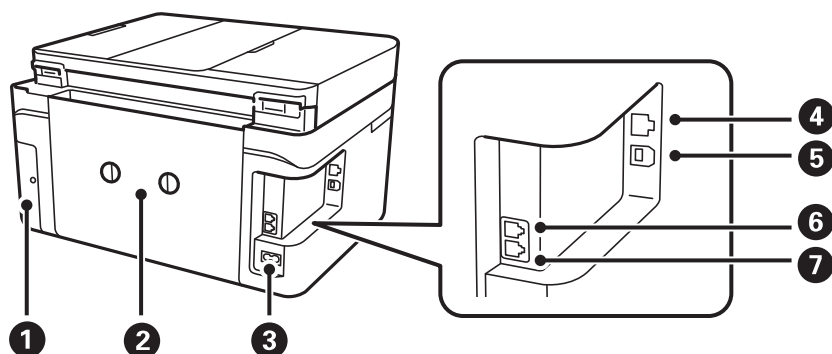


①	原稿カバー	スキャン時に外部の光を遮ります。
②	原稿台	原稿をセットします。
③	操作パネル	プリンターの状態を表示したり、印刷やスキャンの設定をしたりします。
④	前面カバー	用紙カセットに用紙をセットするときに開けます。



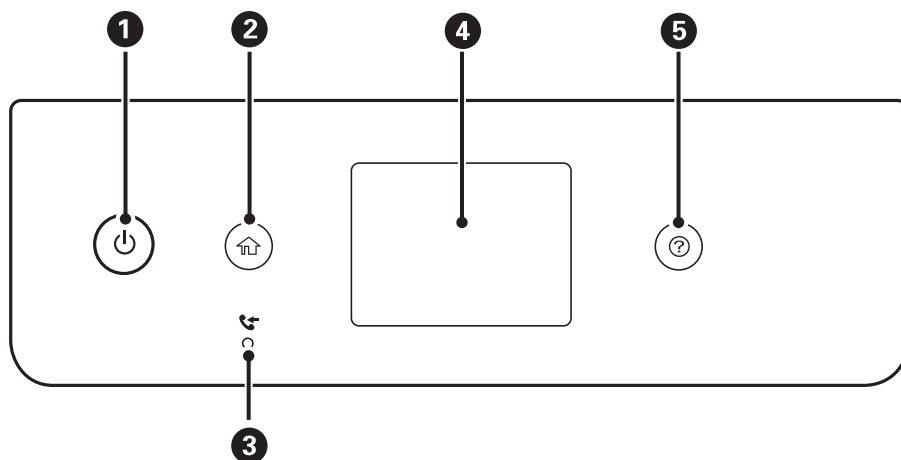
①	スキャナーユニット	原稿をスキャンします。インクカートリッジを交換するときや、内部に詰まった用紙を取り除くときに開けます。通常は閉めておいてください。
---	-----------	---

②	インクカートリッジ挿入部	インクカートリッジを挿入します。下部にインクを吐出するプリントヘッド（ノズル）があります。
---	--------------	---



①	メンテナンスボックスカバー	メンテナンスボックスを交換するときに取り外します。メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。
②	背面ユニット	詰まった用紙を取り除くときに取り外します。
③	電源コネクター	電源コードを接続します。
④	LANポート	LANケーブルを接続します。
⑤	USBポート	コンピューターと接続するためのUSBケーブルを接続します。
⑥	EXT.ポート	外付け電話機を接続します。
⑦	LINEポート	電話回線を接続します。

操作パネル



①	電源を入/切します。 電源コードを抜くときは、電源ランプが消灯していることを確認してから抜いてください。
---	---

②	ホーム画面を表示します。
③	未処理（未読や印刷してない、未保存など）の受信文書があるときに点灯します。
④	項目やメッセージを表示します。
⑤	ヘルプ画面が表示されます。

画面の見方と使い方



①	プリンターの状態がアイコンで表示されます。タップすると、現在の設定の確認や各設定のメニューにアクセスできます。 このアクションバーは、ホーム画面にのみ表示されます。
②	各メニューが表示されます。
③	タブを切り替えます。
④	設定項目の一覧が表示されます。設定や設定を変更するときは、各項目をタップします。 グレー表示の項目は設定できません。タップすると、設定できない理由が確認できます。
⑤	現在の設定で実行します。項目は各メニューによって異なります。

画面に表示されるアイコン

プリンターの状況に応じたアイコンが画面に表示されます。

	[消耗品情報] 画面を表示します。 インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。
--	--

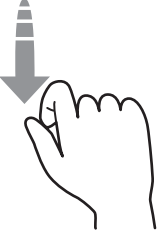
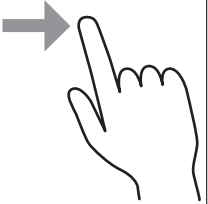
	ネットワークの接続状態を示しています。 アイコンを選択すると現在の設定の確認や変更ができます。以下のメニューのショートカットです。 [設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [無線LAN接続設定]	
		有線LAN非接続、ネットワーク未設定
		有線LAN接続中
		無線LAN (Wi-Fi) 無効
		SSID検索中、IPアドレス未設定、電波強度が0または悪い
		無線LAN (Wi-Fi) 接続中 線の本数は電波の状態を示します。線の本数が多いほど、電波の状態は良好です。
		Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続無効
		「動作音低減モード」になっているかいないかを示しています。プリンターの動作音は抑えられますが、印刷速度は遅くなります。ただし、選択した用紙種類や印刷品質によっては、動作音が変わらないことがあります。
		「ミュート」になっていることを示しています。
	[ファクスデータ情報] 画面を表示します。	
	補足情報があるときに表示されます。アイコンを選択すると、補足情報が確認できます。	
	その項目に問題があることを示します。アイコンを選択すると、対処方法を確認できます。	
	未処理のデータがあるときに表示されます。数字は未処理のデータの数を表します。	

関連情報

- ➡ [「ネットワーク設定」 60ページ](#)
- ➡ [「基本設定」 57ページ](#)

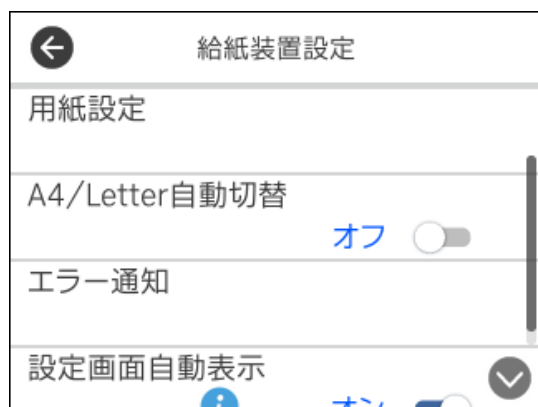
タッチパネルの操作

本製品の液晶ディスプレイは以下のタッチ操作に対応しています。

タップ		ボタンや項目を、押すまたは選びます。
フリック（はじく）		画面を素早くスクロールします。
スライド（なぞる）		項目を押したまま上下左右に移動します。

基本の操作

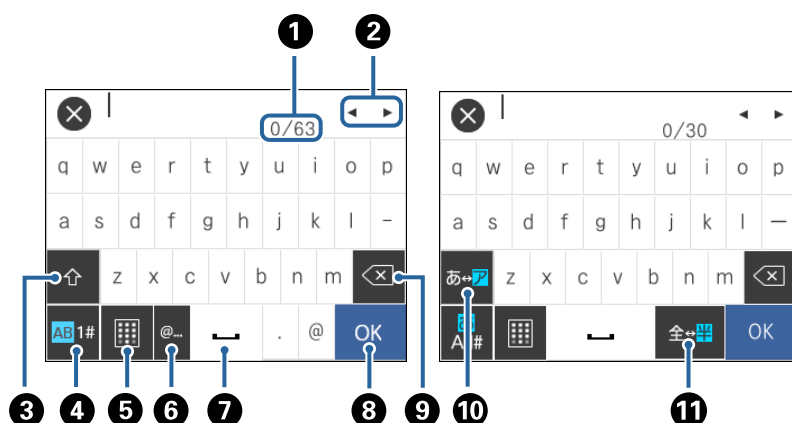
設定項目をタップしてオンとオフを切り替えます。



入力欄をタップして値や名称などを入力します。

文字入力の方法

アドレス帳やネットワーク設定などでの文字や記号の入力は、文字入力画面で行います。



参考 設定する項目によって表示されるアイコンは異なります。

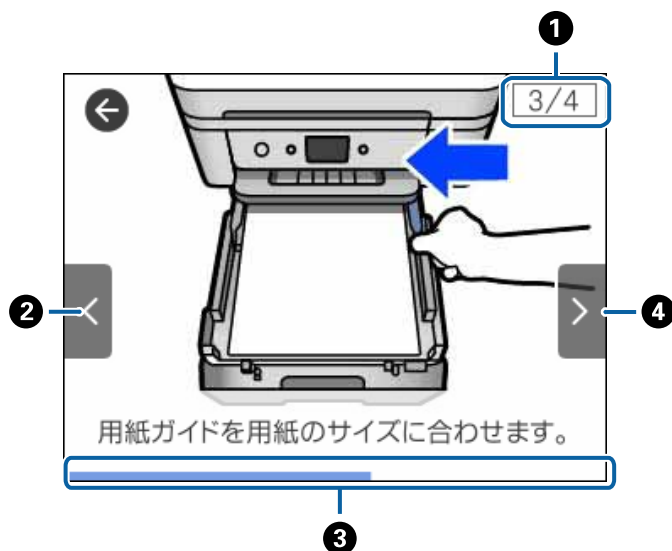
①	文字数を表します。
②	カーソル（入力位置を示す縦棒）を移動します。
③	アルファベットの大文字と小文字を切り替えます。
④	文字種を切り替えます。 あ：ローマ字入力、かな文字入力 AB:アルファベット入力 1#:数字と記号入力
⑤	キーボードの表示を切り替えます。
⑥	メールアドレスやURLによく使われるドメイン名(@やwww.の後)を表示します。ドメイン名を選択するだけで簡単に入力できます。
⑦	スペースを入力します。ひらがな入力時は、[変換]に変わります。

⑧	入力した文字を確定します。
⑨	入力した文字を削除します。
⑩	カタカナとひらがなを切り替えます。
⑪	全角と半角を切り替えます。

操作手順を動画で見る

印刷用紙のセットや詰まった用紙の取り除き方は、操作パネルの画面で表示される動画で確認できます。

- ②ボタンを押す：ヘルプ画面が表示されます。[操作方法が知りたい] を選択して、見たい項目を選択します。
- 操作中の画面下部に表示される[操作方法を見る] をタップする：状況に応じた動画が表示されます。実際の動画はプリンターのモデルによって異なります。



①	動画を構成する手順の総数と、現在表示している手順が何番目かを示します。 この画面の例では、全4手順中の3番目の手順を表示していることを示します。
②	1つ前の手順に戻って再生します。
③	1手順の進行状況を表示します。プログレスバーが右端に達すると、手順の最初に戻って再生します。
④	次の手順を再生します。

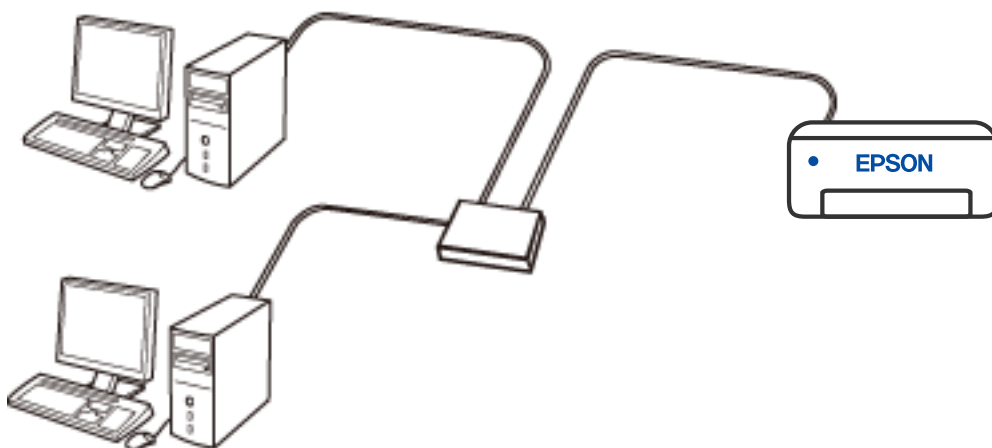
ネットワーク設定

ネットワーク接続の種類

本製品は以下の接続方法に対応しています。

有線LAN接続

LANケーブルでプリンターとハブを接続する方法です。

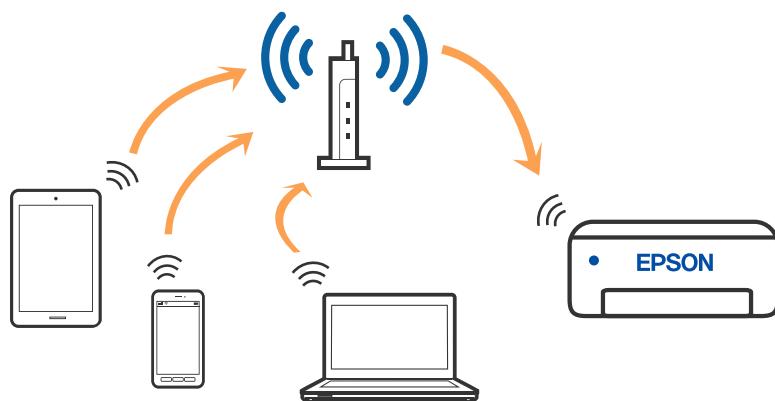


関連情報

➡ [「ネットワーク詳細設定をする」29ページ](#)

無線LAN (Wi-Fi) 接続

プリンターをコンピューターまたはスマートデバイスに無線LANルーター（アクセスポイント）経由で接続します。家庭またはオフィスでスマートデバイスやコンピューターを無線LAN（Wi-Fi）で利用している、無線LANルーター（アクセスポイント）がある場合の接続方法です。

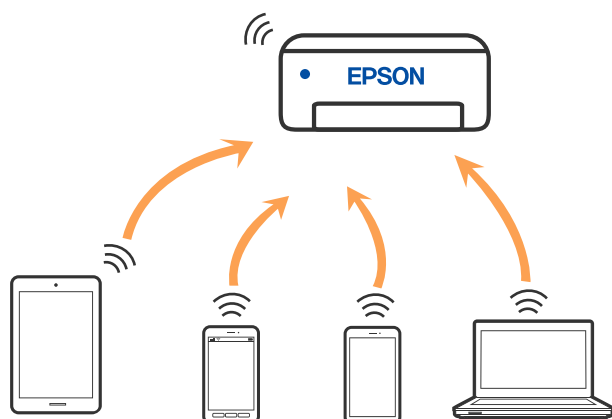


関連情報

- ➡ [「コンピューターとの接続」 24ページ](#)
- ➡ [「スマートデバイスとの接続」 25ページ](#)
- ➡ [「プリンターのネットワーク設定」 25ページ](#)

Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続

家庭またはオフィスで無線LAN（Wi-Fi）を利用していない、無線LANルーター（アクセスポイント）がない場合や、プリンターとコンピューターやスマートデバイスを直接接続したい場合の接続方法です。この接続方法はプリンターが無線LANルーター（アクセスポイント）として動作し、複数台の機器と接続できます。ただし、プリンターに直接接続された機器の間では、プリンター経由での通信はできません。



プリンターは無線LAN（Wi-Fi）または有線LANと、Wi-Fi Direct（Simple AP）の同時接続ができます。ただし、無線LAN（Wi-Fi）で接続中にWi-Fi Direct（Simple AP）設定を開始すると、無線LAN（Wi-Fi）接続は一時切断されます。

関連情報

➡ [「Wi-Fi Direct（シンプルAP）で設定する」 29ページ](#)

コンピューターとの接続

プリンターとコンピューターを接続設定するにはインストーラーを使うと便利です。インストーラーは以下のいずれかの方法で起動できます。

- ウェブサイトから
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ]に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

インストーラーの画面の指示に従って操作して、以下の画面が表示されたらコンピューターとプリンターの接続方法を選択します。

接続方法を選択して、[次へ] をクリックします。



この後は、画面の指示に従って操作します。

スマートデバイスとの接続

スマートデバイスが接続しているWi-Fiと同じネットワーク（SSID）にプリンターを接続すると、スマートデバイスからプリンターを使えるようになります。スマートデバイスからプリンターを利用するには、以下のウェブサイトから設定をしてください。なお、ウェブサイトにはプリンターに接続したい機器からアクセスしてください。

<http://epson.sn> - [セットアップ]

参考 スマートデバイスとコンピューターの両方からプリンターを利用したい場合は、コンピューターからインストーラーを使って設定されることをお勧めします。

プリンターのネットワーク設定

プリンターの操作パネルからネットワーク設定する方法はいくつかあります。お使いの環境や条件に合わせて接続方法を選択してください。

無線LANルーター（アクセスポイント）の情報（SSID、パスワード）がわかれば、手動で設定するのが確実です。

AOSSやWPS対応の無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、プッシュボタンで自動設定ができます。

プリンターがネットワークに接続できたら、使用する機器（コンピューターやスマートデバイスなど）をプリンターに接続してください。

固定のIPアドレスを使用したい場合は、詳細設定で設定してください。

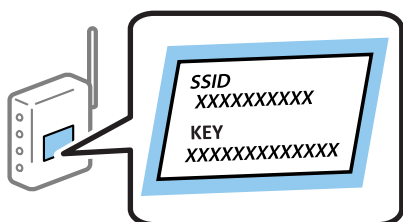
関連情報

- ➔ 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」25ページ
- ➔ 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」27ページ
- ➔ 「PINコードで設定する（WPS）」28ページ
- ➔ 「Wi-Fi Direct（シンプルAP）で設定する」29ページ
- ➔ 「ネットワーク詳細設定をする」29ページ

プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する

無線LANルーター（アクセスポイント）に接続するための情報をプリンターの操作パネルから入力して設定する方法です。手動で設定するには、無線LANルーター（アクセスポイント）のSSIDとパスワードの情報が必要です。

参考 無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDがわからない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。



1. ホーム画面で  をタップします。
2. [無線LANルーター(推奨)] を選択します。
プリンターが有線LANで接続されている場合は、[ルーター] を選択します。
3. [設定に進む] をタップします。
プリンターがネットワーク接続されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更するときは[設定を変更する] をタップします。
プリンターが有線LANで接続されている場合は[無線LAN接続に変更する] をタップし、メッセージを確認して[はい] を選択します。
4. [アクセスポイントを検索] を選択します。
5. 接続したいSSIDを選択します。

参考

 - プリンターの操作パネルに接続したいSSIDが表示されない場合は、[再検索] をタップして一覧を更新してください。それでも表示されないときは、[手動入力] をタップして、SSIDを直接入力してください。
 - SSIDがわからない場合は無線LANルーター（アクセスポイント）本体のラベルなどに情報がないか確認してください。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているSSIDを使用します。情報が見つからない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。
6. [パスワード入力] をタップして、パスワードを入力します。

参考

 - パスワードは大文字と小文字を区別して入力してください。
 - SSIDがわからない場合は無線LANルーター（アクセスポイント）本体のラベルに書かれていないかを確認してください。ラベルには、「暗号化キー」「XXXX Key」などと書かれています。無線LANルーター（アクセスポイント）をメーカー設定値のまま利用している場合は、ラベルに書かれているパスワードを使用します。
7. 入力が終わったら[OK] をタップします。
8. 設定内容を確認して、[設定を開始する] をタップします。
9. [OK] をタップして終了します。

参考

 接続に失敗した場合はA4サイズの普通紙をセットし、[接続診断結果を印刷する] を選択してネットワーク接続診断レポートを印刷します。
10. [ネットワーク接続設定] 画面を閉じます。

関連情報

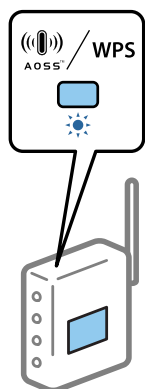
- ➡ [「文字入力の仕方」 20ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 31ページ](#)
- ➡ [「ネットワークの接続設定ができない」 198ページ](#)

プッシュボタンで自動設定する (AOSS/WPS)

無線LANルーター（アクセスポイント）のプッシュボタンで無線LAN（Wi-Fi）を自動設定する方法です。以下の条件に当てはまる場合は、この方法で設定できます。

- 無線LANルーター（アクセスポイント）がAOSSやWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している
- 既存の無線LAN（Wi-Fi）をプッシュボタンで設定している

1. ホーム画面で  をタップします。
2. 【無線LANルーター(推奨)】を選択します。
プリンターが有線LANで接続されている場合は、【ルーター】を選択します。
3. 【設定に進む】をタップします。
プリンターがネットワーク接続されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更するときは【設定を変更する】をタップします。
プリンターが有線LANで接続されている場合は【無線LAN接続に変更する】をタップし、メッセージを確認して【はい】を選択します。
4. 【プッシュボタンで設定(AOSS/WPS)】を選択します。
5. 無線LANルーター（アクセスポイント）のプッシュボタンをランプが点滅するまで押します。



プッシュボタンの位置がわからない、またはボタンが見当たらない場合は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

6. プリンターの【設定を開始する】をタップします。
7. 画面を閉じます。
一定時間経過すると自動で画面が閉じます。

参考 接続に失敗した場合は無線LANルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線LANルーター（アクセスポイント）とプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

8. 【ネットワーク接続設定】画面を閉じます。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 31ページ](#)
- ➡ [「ネットワークの接続設定ができない」 198ページ](#)

PINコードで設定する (WPS)

PINコードを使って無線LANルーター（アクセスポイント）に接続する方法です。無線LANルーター（アクセスポイント）がWPS（Wi-Fi Protected Setup）に対応している場合は、この方法で設定できます。PINコードを無線LANルーター（アクセスポイント）に入力するときに、コンピューターを使います。

1. プリンターのホーム画面で  をタップします。
2. **【無線LANルーター(推奨)】** を選択します。
プリンターが有線LANで接続されている場合は、**【ルーター】** を選択します。
3. **【設定に進む】** をタップします。
プリンターがネットワーク接続されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。設定を変更するときは**【設定を変更する】** をタップします。
プリンターが有線LANで接続されている場合は**【無線LAN接続に変更する】** をタップし、メッセージを確認して**【はい】** を選択します。
4. **【その他】** - **【PINコード自動設定(WPS)】** を選択します。
5. プリンターに表示されているPINコード（8桁の数字）を、2分以内にコンピューターから無線LANルーター（アクセスポイント）に入力します。

参考 PINコードの入力方法は、無線LANルーター（アクセスポイント）のマニュアルをご覧ください。

6. プリンターの操作パネルで**【設定に進む】** をタップします。
7. 画面を閉じます。
一定時間経過すると自動で画面が閉じます。

参考 接続に失敗した場合は無線LANルーター（アクセスポイント）を再起動し、無線LANルーター（アクセスポイント）とプリンターを近づけてから再度設定してください。それでも解決しないときは、ネットワーク接続診断レポートを印刷して対処方法を確認してください。

8. **【ネットワーク接続設定】** 画面を閉じます。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 31ページ](#)
- ➡ [「ネットワークの接続設定ができない」 198ページ](#)

Wi-Fi Direct（シンプルAP）で設定する

無線LANルーター（アクセスポイント）を介さず、直接プリンターと機器を接続する方法です。プリンターが無線LANルーターの役割をします。

1. ホーム画面で  をタップします。
 2. [Wi-Fi Direct] を選択します。
 3. [設定に進む] をタップします。
プリンターがWi-Fi Direct（シンプルAP）接続されている場合は、接続状態の詳細が表示されます。手順5に進んでください。
 4. [設定を開始する] をタップします。
 5. プリンターの操作パネルに表示されたSSIDとパスワードを確認します。
コンピューターのネットワーク接続画面または、スマートデバイスのWi-Fi画面からプリンターの操作パネルに表示されたSSIDを選択します。
 6. プリンターの操作パネルに表示されたパスワードをコンピューターまたはスマートデバイスに入力して接続します。
-  **参考** Wi-Fi Directは一度設定すると、ネットワーク設定を初期の状態に戻さない限り有効の状態を維持します。
7. 接続できたら、プリンターの操作パネルで [OK] をタップします。
 8. [ネットワーク接続設定] 画面を閉じます。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続状態の確認」 31ページ](#)
- ➡ [「ネットワークの接続設定ができない」 198ページ](#)

ネットワーク詳細設定をする

ネットワークデバイス名、TCP/IP設定、プロキシサーバー設定などネットワークの詳細設定をします。ご利用のネットワーク環境を確認してから設定を進めてください。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] を選択します。
3. 設定したい項目を選択し、設定値を選択または指定します。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク詳細設定の設定項目」 30ページ](#)

ネットワーク詳細設定の設定項目

設定したい項目を選択し、設定値を選択または指定します。

- デバイス名
入力できる文字は以下の通りです。
 - プリンター名として入力できる文字は以下の通りです。文字数：2～15（1文字は不可）
 - 使用できる文字：A～Z、a～z、0～9、-
 - 先頭に使用できない文字：0～9、-
 - 末尾に使用できない文字：×
- TCP/IP
 - 自動設定
DHCPサーバーによるIPアドレス自動取得を有効にしている場合やご家庭で無線LANルーターを使用している場合に選択します。
 - 手動設定
プリンターのIPアドレスが変更されると不都合な場合に選択します。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイのアドレス、DNSサーバーの設定をご利用の環境に合わせて入力してください。

IPアドレスを〔自動〕にすると、DNSサーバー設定は〔手動〕、〔自動〕を選択できます。DNSサーバーのアドレスを自動取得できない場合は〔手動〕を選択して、プライマリーDNSサーバーとセカンダリーDNSサーバーのアドレスを直接入力してください。

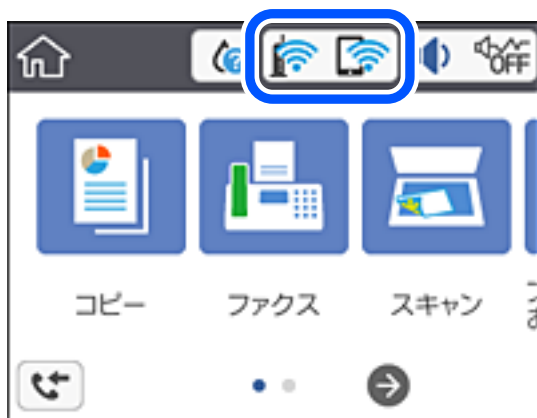
- プロキシサーバー
 - 使用しない
ご家庭の環境ではこれを選択します。
 - 使用する
ご利用のネットワーク環境でプロキシサーバーを使っていてプリンターにも設定する場合に選択します。プロキシサーバー名とポート番号を続けて入力します。
- IPv6アドレス
 - 有効
IPv6アドレスを使う場合に選択します。
 - 無効
IPv4アドレスを使う場合に選択します。
- Link Speed & Duplex
有線LAN の伝送速度と双方向通信の種類を選択します。自動以外を選択したときは、使用しているハブの設定に合わせて選択してください。
 - 自動
 - 10BASE-T Half Duplex
 - 10BASE-T Full Duplex
 - 100BASE-TX Half Duplex
 - 100BASE-TX Full Duplex

ネットワーク接続状態の確認

ネットワーク接続状態を確認するには、いくつかの方法があります。

ネットワークアイコン

プリンターのホーム画面にあるネットワークアイコンでネットワークの接続状態と電波強度を確認できます。



関連情報

➡ [「画面に表示されるアイコン」 17ページ](#)

操作パネルでネットワークの詳細情報を確認する

プリンターがネットワーク接続されていると、確認したい項目を選択することでその他ネットワーク関連の情報も確認できます。

1. プリンターのホーム画面で【設定】を選択します。
2. 【本体設定】 - 【ネットワーク設定】 - 【ネットワーク情報】を選択します。
3. 確認したいメニューを選択します。
 - 有線・無線接続状態
有線または無線接続時のネットワーク情報（デバイス名、接続状態、電波状態など）が表示されます。
 - Wi-Fi Direct接続状態
Wi-Fi Directの有効・無効状態が表示されます。
 - ステータスシート印刷
ネットワークステータスシートを印刷します。有線、無線、Wi-Fi Directの情報が複数枚印刷されます。

関連情報

➡ [「ネットワークステータスシートを印刷する」 38ページ](#)

ネットワーク接続診断レポートを印刷する

プリンターと無線LANルーター（アクセスポイント）の接続状態を確認するために、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。

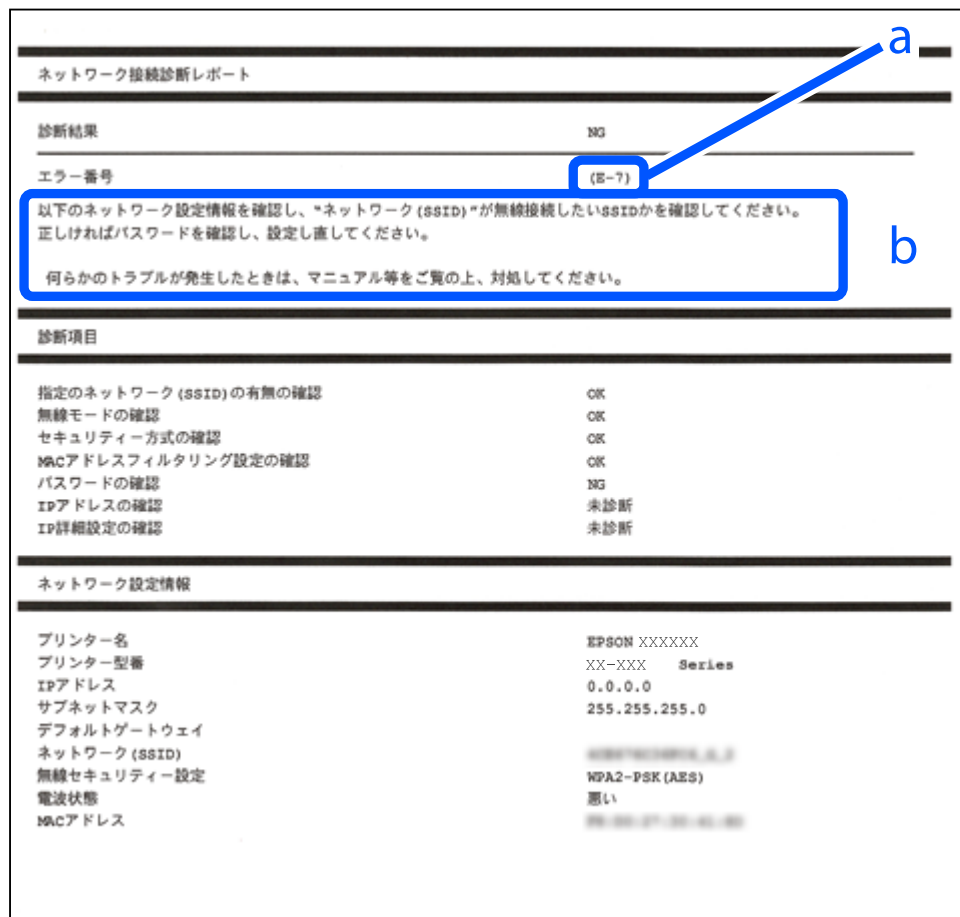
1. プリンターのホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「接続診断」を選択します。
診断が始まります。
3. 「接続診断結果を印刷する」を選択します。
4. ネットワーク接続診断レポートを印刷します。
エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。

関連情報

➔ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」32ページ](#)

ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法

ネットワーク接続診断レポートのメッセージとエラー番号を確認して対処してください。



ネットワーク接続診断レポート

診断結果 NG

エラー番号 (E-7)

以下のネットワーク設定情報を確認し、「ネットワーク (SSID)」が無線接続したいSSIDかを確認してください。
正しければパスワードを確認し、設定し直してください。

何らかのトラブルが発生したときは、マニュアル等をご覧の上、対処してください。

診断項目

指定のネットワーク (SSID) の有無の確認	OK
無線モードの確認	OK
セキュリティ方式の確認	OK
MACアドレスフィルタリング設定の確認	OK
パスワードの確認	NG
IPアドレスの確認	未診断
IP詳細設定の確認	未診断

ネットワーク設定情報

プリンター名	EPSON XXXXXX
プリンター型番	XX-XXX Series
IPアドレス	0.0.0.0
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	
ネットワーク (SSID)	XXXXXXXXXX
無線セキュリティ設定	WPA2-PSK (AES)
電波状態	悪い
MACアドレス	XX-XX-XX-XX-XX-XX

- a. エラー番号
- b. ネットワーク環境に関するメッセージ

関連情報

- ➔ [「E-1」 33ページ](#)
- ➔ [「E-2, E-3, E-7」 33ページ](#)
- ➔ [「E-5」 34ページ](#)
- ➔ [「E-6」 34ページ](#)
- ➔ [「E-8」 35ページ](#)
- ➔ [「E-9」 35ページ](#)
- ➔ [「E-10」 35ページ](#)
- ➔ [「E-11」 36ページ](#)
- ➔ [「E-12」 36ページ](#)
- ➔ [「E-13」 37ページ](#)
- ➔ [「ネットワーク環境に関するメッセージ」 37ページ](#)

E-1

対処方法：

- LAN ケーブルがプリンターやハブなどのネットワーク機器にしっかり差し込まれているか確認してください。
- ハブなどのネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
- プリンターを無線LAN（Wi-Fi）で使用したい場合は、プリンターの無線LANが有効になっていないため、無線LAN 接続設定をやり直してください。

E-2, E-3, E-7

対処方法：

- 無線LANルーターの電源が入っているか確認してください。
- コンピューターやその他の機器が無線LANルーターと正常に通信できているか確認してください。
- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- プリンターと無線LANルーターは近くに置き、間にある障害物は取り除いてください。
- SSIDを直接入力したときは、入力したSSIDが正しいかを確認してください。SSIDはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。
- 1つの無線LANルーターに複数のSSIDが存在する場合、表示されたSSIDから選択してください。SSIDが非対応の周波数を使用していると、SSIDは表示されません。
- プッシュボタンを使った自動設定をする場合は、お使いの無線LANルーターがWPSに対応しているか確認してください。WPSに対応していないときは、プッシュボタンを使った自動設定はできません。
- SSIDにASCII文字（半角英数字、記号）以外の文字列が使われていないか確認してください。プリンターは、ASCII文字以外の文字列が含まれたSSIDは表示できません。

- 無線LANルーターに接続する場合は、SSIDとパスワードを事前に確認してください。無線LANルーターをメーカー設定値のまま使用している場合は、ラベルなどに書かれているSSIDとパスワードが設定されています。SSIDとパスワードがわからない場合は無線LANルーターを設定した人に確認するか、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。
- スマートデバイスなどのテザリング機能で生成したSSIDに接続したい場合は、スマートデバイスのマニュアルなどでSSIDとパスワードを確認してください。
- 無線LAN（Wi-Fi）で突然接続できなくなった場合は、以下を確認してください。どれかに当てはまる場合は、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。
<http://epson.sn-> [セットアップ]
- お使いのネットワーク環境に、新たに別のスマートデバイスからプッシュボタン自動設定（AOSS／WPS）で設定したか
- この無線LAN（Wi-Fi）ネットワークは、プッシュボタン自動設定以外の方法で設定されたか
- 株式会社バッファロー製の無線LANルーターで、プッシュボタンで設定（AOSS）できるタイプを使っているか

関連情報

- ➡ 「コンピューターとの接続」 24ページ
- ➡ 「プリンターのネットワーク設定」 25ページ

E-5

対処方法：

無線LANルーターが以下のいずれかのセキュリティ方式になっているかを確認してください。なっていない場合は、以下のセキュリティ方式を使用するよう無線LANルーターの設定を変更し、プリンターのネットワーク設定をし直してください。

- WEP-64 bit (40 bit)
- WEP-128 bit (104 bit)
- WPA PSK (TKIP/AES) *
- WPA2 PSK (TKIP/AES) *
- WPA (TKIP/AES)
- WPA2 (TKIP/AES)

* WPA PSKはWPA Personal、WPA2 PSKはWPA2 Personalとも呼ばれます。

E-6

対処方法：

- MACアドレスフィルタリングが無効になっていることを確認してください。有効の場合は、プリンターのMACアドレスを登録して、フィルタリングされないようにしてください。詳しくは無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。プリンターのMACアドレスはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。
- 無線LANルーターのWEPセキュリティ方式でShared認証が有効になっている場合は、認証キーおよびインデックスが正しいことを確認してください。

- 無線LANルーターに設定されている同時接続可能な機器数が、接続するネットワーク機器の台数より少ない場合は、接続できる数を増やしてください。設定方法は、無線LANルーターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク詳細設定の設定項目」 30ページ](#)
- ➡ [「ネットワークステータスシートを印刷する」 38ページ](#)

E-8

対処方法：

- プリンターの TCP/IP 設定を自動にしているときは、無線LANルーターのDHCPを有効にしてください。
- プリンターの TCP/IP 設定を手動設定にしているときは、手動で設定したIPアドレスが有効範囲外（0.0.0.0 など）のため、無効になっています。有効なIPアドレスをプリンターの操作パネルから設定してください。

関連情報

- ➡ [「ネットワーク詳細設定の設定項目」 30ページ](#)

E-9

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターを利用する機器の電源が入っているか
- プリンターを利用する機器から、インターネットへのアクセスや同じネットワーク上の、他のコンピューター、ネットワーク機器にアクセスできるか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。続いて、以下のウェブサイトでインストーラーをダウンロードして、ネットワーク設定をやり直してください。

<http://epson.sn-> [セットアップ]

関連情報

- ➡ [「コンピューターとの接続」 24ページ](#)

E-10

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしているときは、ネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか

ネットワークアドレスが間違っている場合は、設定し直してください。IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。

DHCPを有効にしているときは、プリンターのTCP/IP設定でIPアドレスを**自動**にしてください。IPアドレスを手動で設定したい場合は、ネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」でプリンターのIPアドレスを確認し、プリンターのネットワーク設定画面で手動を選択して、設定してください。サブネットマスクは「255.255.255.0」に設定してください。

それでもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。

関連情報

➡ [「ネットワーク詳細設定の設定項目」30ページ](#)

E-11

対処方法：

以下を確認してください。

- プリンターのTCP/IP設定を手動設定にしたときは、プリンターに設定されたデフォルトゲートウェイのアドレスが正しいか
- デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか

デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。プリンターのデフォルトゲートウェイのアドレスはネットワーク接続診断レポートの「ネットワーク設定情報」で確認できます。

関連情報

➡ [「ネットワーク詳細設定の設定項目」30ページ](#)

E-12

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク上の他の機器の電源が入っているか
- 手動で設定したプリンターのネットワークアドレス（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が正しいか
- 他の機器のネットワークアドレス（サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ）が同一になっているか
- 他の機器のIPアドレスと重複していないか

上記を確認してもプリンターと他のネットワーク機器が接続できない場合は、以下の対処を試してみてください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- インストーラーを使って、ネットワーク設定をやり直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。

<http://epson.sn-> [セットアップ]

- セキュリティタイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

- ➡ 「ネットワーク詳細設定の設定項目」 30ページ
- ➡ 「コンピューターとの接続」 24ページ

E-13

対処方法：

以下を確認してください。

- ネットワーク機器（無線LANルーター、ハブ、ルーターなど）の電源が入っているか
- プリンター以外のネットワーク機器が手動でTCP/IP設定されていないか。（他のネットワーク機器のTCP/IP設定が手動で、プリンターのTCP/IP設定のみ自動設定になっていると、プリンターだけが異なるネットワークになってしまう可能性があります。）

問題がないときは、以下をお試してください。

- 無線LANルーターの電源を切ります。10秒くらい待ってから、電源を入れます。
- プリンターと同じネットワーク上のコンピューターで、インストーラーを使ってネットワーク設定をし直してください。インストーラーは以下のウェブサイトから起動できます。
<http://epson.sn-> [セットアップ]
- セキュリティタイプ「WEP」は、無線LANルーターに複数のセキュリティキーを登録できます。複数のキーが登録されているときは、最初（1番目）のインデックスのセキュリティキーがプリンターに設定されているかを確認してください。

関連情報

- ➡ 「ネットワーク詳細設定の設定項目」 30ページ
- ➡ 「コンピューターとの接続」 24ページ

ネットワーク環境に関するメッセージ

メッセージ	対処方法
*無線環境の改善が必要です。アクセスポイントの電源を入れ直してください。それでも解消しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。	プリンターをアクセスポイントの近くに移動し、機器間にある障害物を取り除いてからアクセスポイントの電源を入れ直します。10秒くらい待ってから、電源を入れてください。それでも接続できない場合は、アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
*無線接続が可能な機器数の上限に達しています。機器を追加したいときは、他の機器の接続を解除してください。	Wi-Fi Direct（シンプルAP）接続で同時接続できる無線機器が最大限接続されています。他のコンピューターやスマートデバイスを追加するには、プリンターを使用していないコンピューターやスマートデバイスの接続を解除してから追加してください。同時接続できる無線機器の台数と接続されている台数は、プリンターの操作パネルまたはネットワークステータスシートで確認できます。

ネットワークステータスシートを印刷する

ネットワークステータスシートを印刷すると、プリンターのネットワーク情報や状態を確認できます。

1. プリンターのホーム画面で [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] を選択します。
3. [ステータスシート印刷] を選択します。
4. メッセージを確認して、ネットワークステータスシートを印刷します。

無線LANルーター（アクセスポイント）を交換または追加したときは

無線LANルーター（アクセスポイント）を交換してSSIDが変わった場合や、新しく無線LANルーター（アクセスポイント）を設置して無線LAN（Wi-Fi）環境を構築した場合などは、再度無線LAN設定をしてください。

関連情報

➡ [「コンピューターとの接続形態の再設定」38ページ](#)

コンピューターとの接続形態の再設定

インストーラーを使って別の接続形態に設定し直します。

- ウェブサイトから設定
以下のウェブサイトアクセスして、製品名を入力します。[セットアップ] に進んで作業を開始します。
<http://epson.sn>
- ソフトウェアディスクから設定（製品にソフトウェアディスクが同梱されていて、それを使用できる場合）
ソフトウェアディスクをコンピューターにセットして、画面の指示に従って操作します。

接続方法を選択する

以下の画面が表示されるまで、画面の指示に従って操作します。

「インストールソフトウェア選択」画面で「接続方法の再設定」を選択して、「次へ」をクリックします。



操作パネルで有線LAN接続に変更する

無線LAN（Wi-Fi）接続時に操作パネルから有線LAN接続に変更するには以下の手順で操作します。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ネットワーク設定」 - 「有線LAN接続設定」を選択します。
3. 「設定を開始する」をタップします。
4. メッセージを確認して画面を閉じます。
一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。
5. プリンターとルーターをLANケーブルで接続します。

操作パネルから無線LANを無効にする

無線LAN（Wi-Fi）接続時に無線LANを無効にすると、無線接続が切断されます。

1. ホーム画面で  をタップします。

2. [無線LANルーター(推奨)] を選択します。
ネットワーク状態が表示されます。
3. [設定を変更する] をタップします。
4. [その他] - [無線LANを無効にする] の順に選択します。
5. メッセージを確認して、設定を開始します。
6. 完了メッセージが表示されたら、画面を閉じます。
一定時間経過すると自動で画面が閉じます。
7. ネットワーク接続設定画面を閉じます。

操作パネルからWi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を無効にする

参考 Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続で複数のコンピューターやスマートデバイスがプリンターと接続されていた場合、Wi-Fi Direct (シンプルAP) 接続を無効にすると、全ての接続が切断されます。特定の機器だけを切断したいときは、スマートデバイス側から接続を切断してください。

1. ホーム画面で  をタップします。
2. [Wi-Fi Direct] を選択します。
Wi-Fi Directの情報が表示されます。
3. [設定を変更する] をタップします。
4. [Wi-Fi Directを無効にする] を選択します。
5. [設定を無効にする] をタップします。
6. 完了メッセージが表示されたら、画面を閉じます。
一定時間経過すると自動で画面が閉じます。
7. [ネットワーク接続設定] 画面を閉じます。

操作パネルからネットワーク設定を初期の状態に戻す

ネットワーク設定全てを購入時の設定に戻します。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。

2. [初期設定に戻す] - [ネットワーク設定] の順に選択します。
3. メッセージを確認して、[はい] を選択します。
4. 完了メッセージが表示されたら、画面を閉じます。
 一定時間経過すると、自動で画面が閉じます。

プリンターの準備

用紙のセット

対応用紙とセット可能枚数

以下は2020年7月現在の情報です。

よりきれいに印刷するためにエプソン製専用紙（純正品）のご使用をお勧めします。

エプソン製専用紙（純正品）

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	両面印刷	フチなし印刷
ビジネス普通紙	A4	150* ¹	自動、手動	○
両面上質普通紙<再生紙>	A4	120* ¹	自動、手動	○
写真用紙クリスピー<高光沢>	A4、六切、2L判、KGサイズ、L判	20* ²	-	○
写真用紙<光沢>	A4、六切、2L判、ハイビジョン、KGサイズ、L判	20* ²	-	○
写真用紙<絹目調>	A4、2L判、L判	20* ²	-	○
写真用紙<絹目調>ハガキ	ハガキ	30	自動* ³ 、手動	○* ⁴
写真用紙ライト<薄手光沢>	A4、2L判、KGサイズ、L判	20* ²	-	○
フォトマット紙	A4	20	-	○
PMマットハガキ	ハガキ	30	自動* ³ 、手動	○* ⁴
スーパーファイン紙	A4	100	-	○
スーパーファイン専用ラベルシート	A4	1	-	-
スーパーファイン専用ハガキ	ハガキ	30	自動* ³ 、手動	○* ⁴
フォト光沢ハガキ	ハガキ	30	自動* ³ 、手動	○* ⁴

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	両面印刷	フチなし印刷
両面マット名刺用紙*5	A4	1	手動	-

*1： 手動両面印刷時に片面印刷済みの用紙をセットするときは30枚まで

*2： うまく給紙できないときや、印刷結果がこすれたりムラになったりするときは、1枚ずつセットしてください。

*3： コンピューターから自動両面印刷するときは、ハガキ自動両面印刷に対応したアプリケーションソフトが必要です。

*4： 宛名面は郵便番号が枠からずれて印刷されてしまうため、フチなし設定しないでください。

*5： 両面マット名刺用紙のレイアウトに対応したアプリケーションソフト（Windowsのみ対応）が必要です。詳しくはエプソンのウェブサイト「よくあるご質問（FAQ）」をご覧ください。

www.epson.jp/support/faq/

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「両面マット名刺」などのキーワード入力で検索できます。

参考 エプソン製専用紙（純正品）をユーザー定義サイズで印刷するときは、印刷品質は「標準」のみとなります。ただし、一部のドライバーでは高品質の印刷設定を選択できますが、その場合も「標準」の品質で印刷されます。

市販の印刷用紙

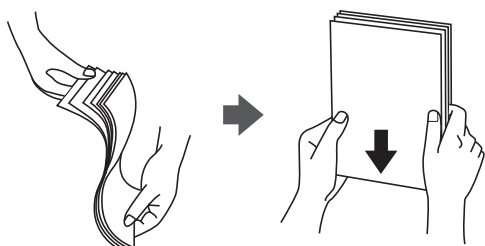
用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	両面印刷	フチなし印刷
普通紙 コピー用紙 レターヘッド*8	A4、Letter*1	150*2	自動、手動	○
	B5	150*2	自動、手動	-
	A5、A6、B6	150*2	手動	-
	Legal*1	1	手動	-
	ユーザー定義サイズ*1 (mm) 89×127～215.9× 1200	1	手動	-
	ユーザー定義サイズ*1 (mm) 182×257～215.9× 297	1	自動、手動	-
往復ハガキ*3	往復ハガキ*1	30	手動	-
郵便ハガキ*3 郵便ハガキ（インクジェット 紙）*3 郵便ハガキ（インクジェット 写真用）*3	ハガキ	30	自動*4、手動	○*5
長形封筒*6	長形3号、4号	10	-	-

用紙名称	対応サイズ	セット可能枚数	両面印刷	フチなし印刷
洋形封筒*7	洋形1号、2号、3号、4号	10	-	-

- *1: コンピューターまたはスマートデバイスからの印刷のみ対応
- *2: 手動両面時に片面印刷済みの用紙をセットするときは30枚まで
- *3: 日本郵便株式会社製
- *4: コンピューターから自動両面印刷するときは、ハガキ自動両面印刷に対応したアプリケーションソフトが必要です。
- *5: 宛名面は郵便番号が枠からずれて印刷されてしまうため、フチなし設定しないでください。
- *6: Windowsのみ対応
- *7: 宛名面のみ対応
- *8: 差出人名、会社名などの情報が、ヘッダー部分にあらかじめ印刷されている用紙。用紙の先端に5mm以上の余白が必要です。
レターヘッド紙は両面印刷とフチなし印刷はできません。

用紙取り扱い上のご注意

- 用紙のパッケージやマニュアルなどに記載されている注意事項を確認してください。
- 用紙を複数枚セットするときは、よくさばいて紙粉を落とし、上下左右の端をそろえてください。ただし、写真用紙はさばいたり、反らせたりしないでください。印刷する面に傷が付くおそれがあります。



- 用紙が3mm以上反っているときは、反りと反対に丸めるなどして平らにしてください。反った用紙は紙詰まりや印刷汚れの原因になる可能性があります。



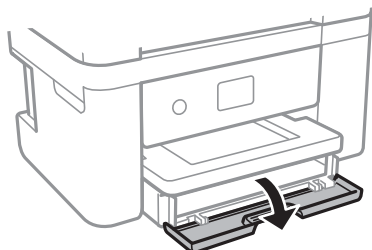
- 波打っている、破れている、切れている、折りがある、湿っている、厚過ぎる、薄過ぎる、シールなどが貼ってある用紙は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。

関連情報

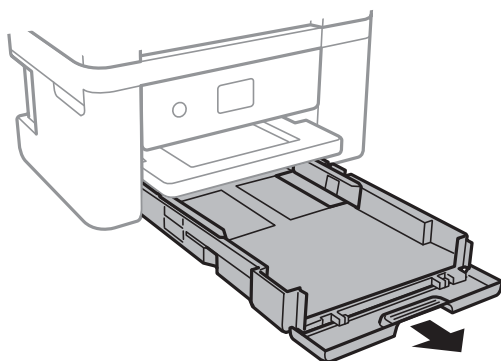
- ➡ [「プリンター部の仕様」221ページ](#)

用紙カセットに用紙をセットする

1. 前面カバーを「カチッ」と音がするまで開けます。

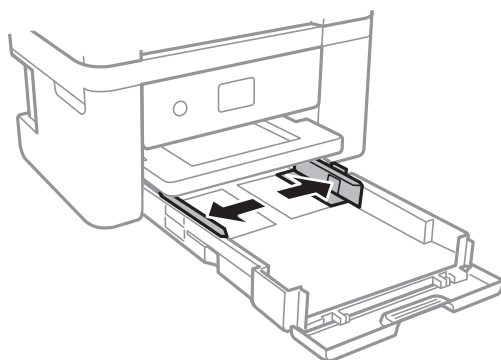


2. プリンターが動作していないことを確認して、用紙カセットを引き出します。

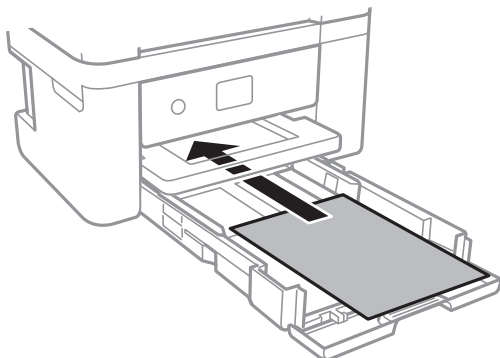


！重要 用紙カセットは取り外せません。

3. 用紙ガイドをいっぱいまで広げます。

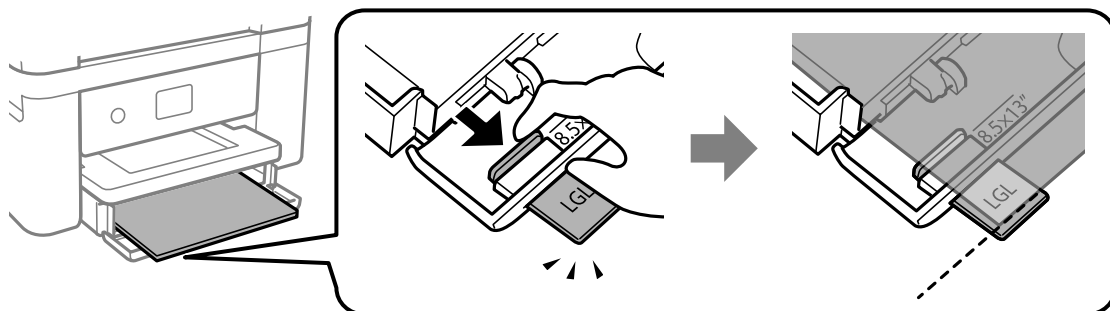


4. 印刷する面を下にして、用紙カセットの奥に突き当ててセットします。

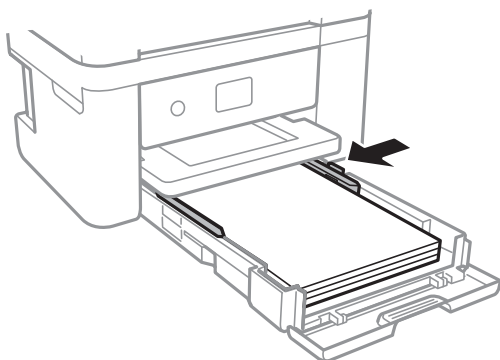


！重要 セット可能枚数を超えてセットしないでください。

- Legal
延長用紙ガイドを引き出して、線に合わせて用紙をセットします。



5. 用紙ガイドを用紙の側面に合わせます。



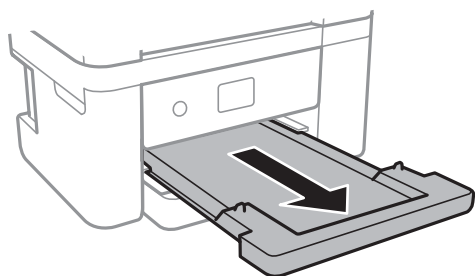
6. 用紙が崩れないように、用紙カセットをゆっくり差し込みます。

7. 用紙カセットにセットした用紙のサイズと種類を操作パネルから設定します。サイズの表示がないときは、[ユーザー定義サイズ] を選択してください。

参考

- 用紙サイズと用紙種類の設定画面は、[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [用紙設定] の順に選択しても表示できます。
- レターヘッド紙の場合、用紙種類で [レターヘッド] を選択してください。
- レターヘッド紙の場合、設定より小さい用紙に印刷すると、用紙をはみ出して印刷してプリンター内部が汚れ、用紙に付着する可能性があります。用紙サイズの設定を確認してください。
- レターヘッド紙は両面印刷とフチなし印刷はできません。また、印刷速度が遅くなります。

8. 排紙トレイを引き出します。

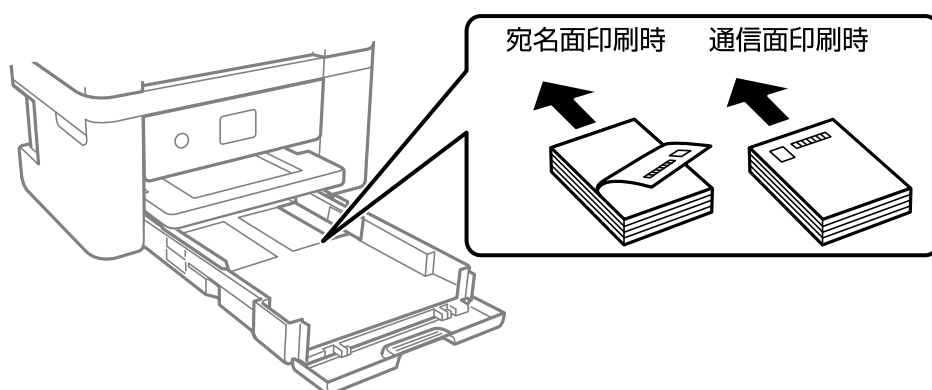


関連情報

- ➡ [「用紙取り扱い上のご注意」 44ページ](#)
- ➡ [「対应用紙とセット可能枚数」 42ページ](#)
- ➡ [「セットした用紙の種類を設定する」 49ページ](#)
- ➡ [「封筒のセット方法」 48ページ](#)

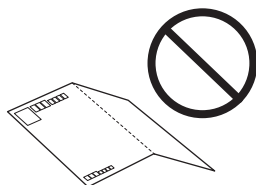
ハガキのセット方法

ハガキは、印刷する面を下にしてセットし、用紙ガイドをハガキに合わせてください。



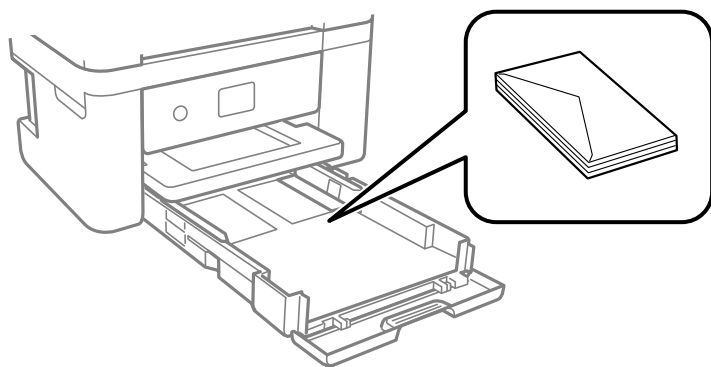
- 両面に印刷するときは、片面印刷後しばらく乾かし、反りを修正して（平らにして）からもう一方の面に印刷してください。印刷こすれや汚れを防ぐために、宛名面から先に印刷することをお勧めします。

- 折り跡のある往復ハガキや写真店などでプリントした写真ハガキや絵ハガキなど、厚いハガキは使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



封筒のセット方法

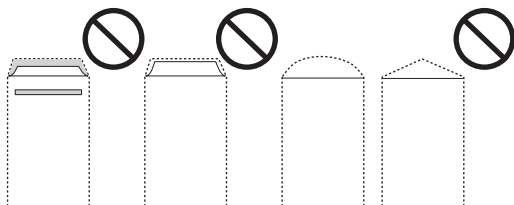
印刷する面を下にしてセットし、用紙ガイドを封筒に合わせてください。



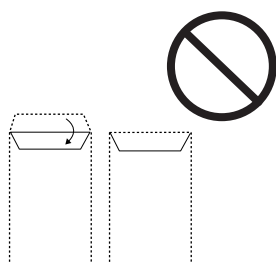
- 封筒は、よくさばいて側面を整えてください。封筒の束が膨らんでいるときは平らになるように手でならして、膨らみを取り除いてください。



- のり付けおよび接着の処理が施された封筒や二重封筒、窓付き封筒、フラップ（封を閉じる折り返しの部分）が円弧や三角形の長形封筒や角形封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



- フラップを一度折った長形封筒や折り跡のある封筒、反った封筒は使用しないでください。紙詰まりや印刷汚れの原因になります。



- 薄い封筒は使わないでください。印刷中に丸まる可能性があります。

関連情報

- ➡ [「対応用紙とセット可能枚数」42ページ](#)
- ➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」45ページ](#)

セットした用紙の種類を設定する

最適な印刷結果を得るために、印刷用紙に適した用紙種類を設定してください。
以下は2020年7月現在の情報です。

用紙名称	用紙種類	
	操作パネル	プリンタードライバー、スマートデバイス*
ビジネス普通紙	ビジネス普通紙	ビジネス普通紙
両面上質普通紙<再生紙>	普通紙	普通紙
写真用紙クリスピー<高光沢>	写真用紙クリスピー	EPSON 写真用紙クリスピー
写真用紙<光沢> 写真用紙<絹目調>	写真用紙	EPSON 写真用紙
写真用紙<絹目調>ハガキ	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：写真用紙	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：EPSON 写真用紙
写真用紙ライト<薄手光沢>	写真用紙ライト	EPSON 写真用紙ライト
フォトマット紙	フォトマット紙	EPSON フォトマット紙
PMマットハガキ	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：フォトマット紙	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：EPSON フォトマット紙
スーパーファイン紙 スーパーファイン専用ラベルシート	スーパーファイン紙	EPSON スーパーファイン紙
スーパーファイン専用ハガキ	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：スーパーファイン紙	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：EPSON スーパーファイン紙

用紙名称	用紙種類	
	操作パネル	プリンタードライバー、スマートデバイス*
フォト光沢ハガキ 郵便ハガキ（インクジェット写真用）	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：郵便光沢ハガキ	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：郵便光沢ハガキ
両面マット名刺用紙	両面マット名刺用紙	EPSON 両面マット名刺用紙
郵便ハガキ（インクジェット紙）	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：郵便ハガキ(IJ)	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：郵便ハガキ（インクジェット紙）
郵便ハガキ	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：郵便ハガキ	宛名面：ハガキ宛名面 通信面：郵便ハガキ
往復ハガキ	郵便ハガキ	郵便ハガキ

* スマートデバイスからの印刷時は、Epson iPrintを使ったときのみこれらの用紙種類が選択可能

原稿のセット

原稿は原稿台またはADFにセットします。
ADFにセットすると、複数の原稿を一度の操作でスキャンできます。

ADFにセットできる原稿

対応原稿サイズ	A4、Letter、Legal
用紙種類	普通紙
紙厚（坪量）	64～95g/m ²
セット可能枚数	A4、Letter：30枚または3.3mm(総用紙圧) Legal：10枚

ADFにセットできる原稿であっても、紙の特性や品質などによって通紙できないことがあります。また、読み取り品質に影響を及ぼすこともあります。

！重要 写真や、貴重な原稿はADFにセットしないでください。給紙エラーによって、原稿にしわが入ったり損傷したりすることがあります。原稿台を使ってスキャンしてください。

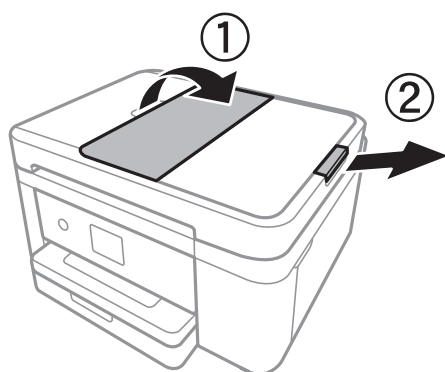
以下のような原稿をADFにセットすると紙詰まりの原因になります。これらの原稿は原稿台にセットしてください。

- 折り跡やしわがある、破れている、劣化している、反っている原稿
- ルーズリーフや穴の開いた原稿
- のりやホチキスの針、クリップなどが付いている原稿
- シールやラベルなどが貼られている原稿
- 形が不規則、裁断角度が直角でない原稿

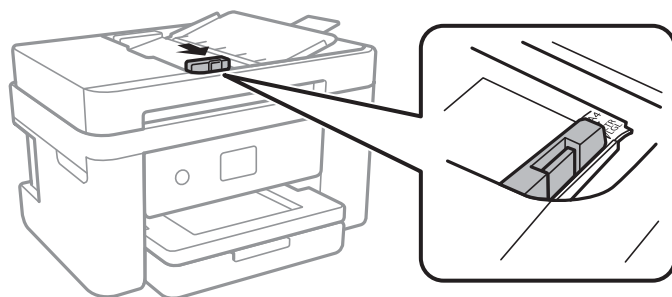
- とじられて（製本されて）いる原稿
- 透明や半透明な原稿（OHPシートなど）、感熱紙や裏カーボンのある原稿

ADFに原稿をセットする

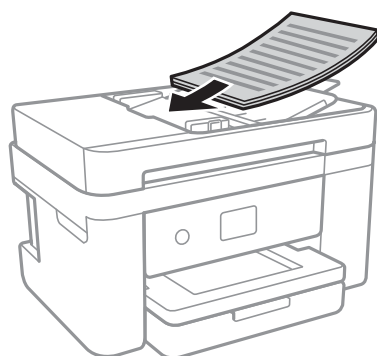
1. 原稿の側面を整えます。
2. ADF原稿サポートを開け、ADF拡張トレイを引き出します。



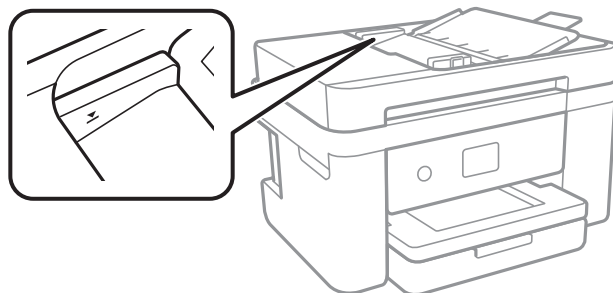
3. ADF原稿ガイドをつまんで手前に移動させます。



4. スキャンする面を上にしてセットし、ADF原稿ガイドを原稿の側面に合わせます。



- ！重要**
- ADFの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。



- スキャン中に原稿を追加しないでください。

関連情報

➔ [「ADFにセットできる原稿」50ページ](#)

2面割り付けコピー時のADFへの原稿セット方法

図の向きに原稿をセットして、向きを設定してください。

- 縦原稿：操作パネルの以下のメニューで〔縦〕を選択します。
〔コピー〕 - 〔応用設定〕 - 〔原稿の向き〕 - 〔縦〕
矢印の向きに原稿をセットします。



- 横原稿：操作パネルの以下のメニューで〔横〕を選択します。
〔コピー〕 - 〔応用設定〕 - 〔原稿の向き〕 - 〔横〕
矢印の向きに原稿をセットします。

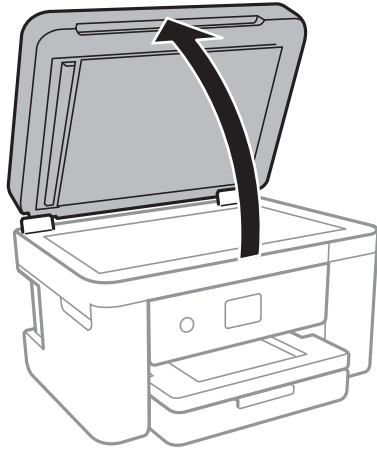


原稿台に原稿をセットする

⚠ 注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

！重要 本などの厚い原稿をセットするときは、原稿台に照明などの光が直接入らないようにしてください。

1. 原稿カバーを開けます。

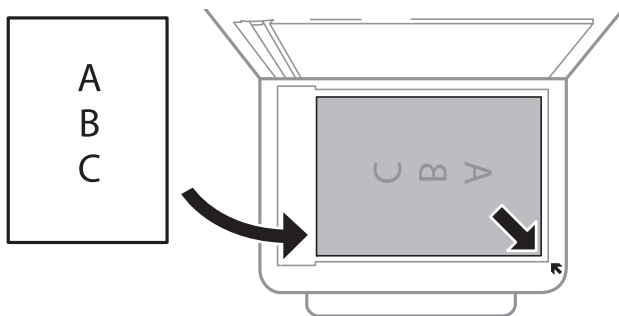


2. 柔らかい布でから拭きして、原稿台のゴミや汚れを取り除きます。

参考 原稿台にゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくずれたり画像が小さくなったりします。



3. スキャンする面を下にして、原点マークに合わせて原稿を置きます。



参考

- 原稿台の隅から約1.5mmの範囲はスキャンできません。
- ADFと原稿台の両方に原稿がセットされているときは、ADFのスキャンが優先されます。

4. 原稿カバーをゆっくり閉めます。

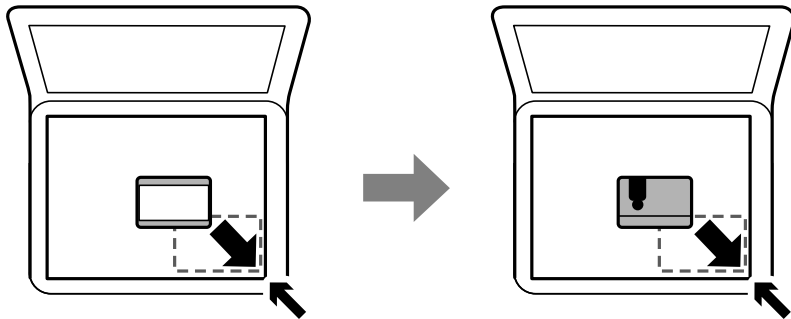
！重要 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。

5. 原稿の読み取りが終わったら、原稿を取り出します。

参考 長時間セットしたままにすると、原稿台に貼り付くことがあります。

IDカードコピー時のセット方法

原稿台の端から約5mm離して置きます。



アドレス帳の管理

アドレス帳に登録しておくと宛先入力が簡単にできます。100件まで登録でき、ファクスでの宛先入力に利用できます。

アドレスを登録または編集する

1. ホーム画面で「ファクス」を選択します。
2. 「アドレス帳」を選択します。
3. 以下のいずれかを行ってください。
 - 新しいアドレスを登録するとき：「宛先登録」を選択して、「宛先を作成」を選択します。
 - アドレスを編集するとき：対象のアドレスの > を選択して、「編集」を選択します。
 - アドレスを削除するとき：対象アドレスの > を選択し、「削除」を選択して、「はい」を選択します。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。
4. 必要な内容を入力します。

中止

宛先登録

OK

登録番号

001

登録名

登録名を入力

▼

参考 PBX（構内交換機）で外線発信番号が必要な環境では、ファクス番号の先頭に外線発信番号を入れてください。[接続回線] 設定で外線発信番号を登録してあるときは、外線発信番号の代わりにシャープ（#）を入力してください。また、ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときはハイフン（-）を入力します。

5. [OK] をタップします。

関連情報

➔ [「文字入力の仕方」20ページ](#)

アドレスをグループにする、グループを編集する

宛先をグループにすると、複数の宛先に同時にファクス送信ができます。

1. ホーム画面で [ファクス] を選択します。
2. [アドレス帳] を選択します。
3. 以下のいずれかを行ってください。
 - 新しいグループを登録するとき：[宛先登録] を選択して、[グループを作成] を選択します。
 - グループを編集するとき：対象のグループの > を選択して、[編集] を選択します。
 - グループを削除するとき：対象のグループの > を選択し、[削除] を選択して、[はい] を選択します。これで削除は完了です。以降の手順は不要です。
4. [グループ登録名] と [よみがな(検索名)] を入力または編集して、[グループに入れる宛先*] を選択します。

5. グループに登録するアドレスを選択して、[閉じる] をタップします。

参考

- 99件まで登録できます。
- 選択を解除するには、もう一度アドレスをタップします。

6. [OK] をタップします。

関連情報

➡ [「文字入力の仕方」20ページ](#)

コンピューターからのアドレス帳管理

Web Configを使うと、コンピューター上でアドレスを登録できます。

1. Web Configを起動します。
2. 画面右上のリストで、**「詳細設定」** を選択します。
3. **「アドレス帳」** を選択します。
4. 登録したい番号を選択して**「編集」** をクリックします。
5. **「登録名」**、**「検索名」**、**「ファクス番号」**、および**「ファクス通信モード」**を入力します。
6. **「適用」** をクリックします。

関連情報

➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」173ページ](#)

➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」173ページ](#)

アドレスの設定項目（Web Config）

項目	設定値と説明
登録名	アドレス帳に表示する名称を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
検索名	検索に使われる名称を、Unicode（UTF-8）で表せる30文字以内で入力します。指定しないときは空白にします。
種別	「ファクス」 を選択します。一度設定すると変更できません。
ファクス番号	0～9の数字、- * # または半角スペースを使用し、1～64文字以内で入力します。
ファクス通信モード	宛先に応じた通信速度を選択します。

アドレスをグループにする（Web Config）

1. Web Configを起動します。
2. 画面右上のリストで、**「詳細設定」** を選択します。

3. [アドレス帳] を選択します。
4. 登録したい番号を選択して [編集] をクリックします。
5. [登録名] と [検索名] を入力します。
6. [種別] でグループを選択します。
7. [グループに入れる宛先] の [選択] をクリックします。
登録できるアドレスが一覧で表示されます。
8. グループに登録するアドレスを選択して、[選択] をクリックします。
 アドレスは複数のグループに登録できます。
9. [適用] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「ブラウザ上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア \(Web Config\) 」 173ページ](#)
- ➡ [「WebブラウザからWeb Configを起動する」 173ページ](#)

設定メニューの説明

操作パネルのホーム画面で [設定] を選択すると、プリンターのいろいろな設定ができます。

本体設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定]

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [基本設定]

画面の明るさ設定：

画面の明るさを調整します。

音の設定：

音量や音の種類を設定します。

スリープ移行時間設定：

プリンターが動作しない状態が続いたときに、自動でスリープ（省電力）モードに移行する時間を設定します。設定した時間が過ぎると画面が暗くなります。

自動電源オフ：

プリンターが動作していない状態が続いたときに、自動で電源を切ります。切るまでの時間は任意に設定できます。

日付/時刻設定：

- 日付/時刻
現在の日時を入力します。
- 時差
協定世界時（UTC）との時差を設定します。

言語選択/Language：

画面に表示する言語を選択します。

無操作タイマー設定：

〔オン〕にすると、無操作状態が設定時間続いた場合にメッセージを表示して初期画面に戻ります。

関連情報

- ➡ [「省電力設定をする - 操作パネル」64ページ](#)
- ➡ [「文字入力の仕方」20ページ](#)

プリンター設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔プリンター設定〕

給紙装置設定：

用紙設定：

セットした印刷用紙のサイズと種類を設定します。よく使う用紙のサイズと種類は、〔よく使う用紙設定〕に登録できます。

A4/Letter自動切替：

有効にすると、A4サイズがないときにLetterサイズの給紙装置から給紙します。また、逆にLetterサイズがないときにA4サイズの給紙装置から給紙します。

エラー通知：

有効にすると、印刷設定で指定したサイズや用紙種類と給紙した用紙設定が合致しないときにエラーメッセージを表示します。

設定画面自動表示：

有効にすると、給紙装置に用紙をセットしたときに「用紙設定」を表示します。この設定を無効にすると、iPhoneやiPadなどからAirPrintを使った印刷ができません。

外部機器(PC)印刷設定：

外部機器からプリンタードライバーを経由せずに印刷したときの設定をします。余白の設定は、プリンタードライバーからの印刷でも有効になります。

上オフセット設定：

用紙の上側の余白を設定します。

左オフセット設定：

用紙の左側の余白を設定します。

裏面上オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の上側の余白を設定します。

裏面左オフセット設定：

両面印刷するときの用紙裏側の左側の余白を設定します。

紙幅チェック印刷：

「オン」にすると、印刷前に用紙幅をチェックします。用紙サイズ設定の間違いなどで用紙から印刷がはみ出すなどのトラブルを回避できます。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。

白紙節約モード：

印刷データ内の白紙ページを無視して印刷します。

自動エラー解除：

両面印刷やメモリー不足のエラーが発生したときの動作を選択します。

- オン
両面印刷でエラーが発生したときは、一定時間メッセージを表示してから自動で片面を印刷します。印刷中にプリンターのメモリー不足になったときは、メッセージを表示してからプリンターで処理できたところだけを印刷します。
- オフ
エラーメッセージを表示して印刷を中止します。

動作音低減モード：

有効にすると、印刷時の動作音が低減されます。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。用紙種類や印刷品質の設定によっては、動作音が変わらないことがあります。

両面印刷待ち時間：

両面印刷時の乾燥時間を設定します。両面印刷では、片面を印刷後、乾燥のための時間を少しおいてからもう一方の面を印刷します。印刷結果がこすれて汚れるときは、この時間を長めに設定してください。

コンピューターのUSB接続：

〔有効〕にすると、USB接続されたコンピューターからのアクセスを許可します。〔無効〕にすると、ネットワークを経由しない印刷やスキャンなどを禁止できます。

ネットワーク設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕

無線LAN接続設定：

無線LANでプリンターをネットワークに接続します。接続方法を選択し、画面の指示に従って設定してください。

- 無線LANルーター(推奨)
- Wi-Fi Direct

有線LAN接続設定：

LANケーブルでプリンターとハブを接続してネットワークに接続します。このとき、無線LAN接続は無効になります。

ネットワーク情報：

現在のネットワーク設定の内容を表示または印刷します。

- 有線・無線接続状態
- Wi-Fi Direct接続状態
- ステータスシート印刷

接続診断：

プリンターのネットワーク接続状況を確認して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。接続に問題があるときは診断結果に従って対処してください。

詳細設定：

設定項目は次の通りです。

- デバイス名
- TCP/IP
- プロキシサーバー
- IPv6アドレス
- Link Speed & Duplex

関連情報

- ➡ 「プリンターにSSIDとパスワードを入力して設定する」 25ページ
- ➡ 「プッシュボタンで自動設定する（AOSS/WPS）」 27ページ
- ➡ 「PINコードで設定する（WPS）」 28ページ
- ➡ 「Wi-Fi Direct（シンプルAP）で設定する」 29ページ
- ➡ 「ネットワークステータスシートを印刷する」 38ページ

- ➡ 「ネットワーク接続状態の確認」 31ページ
- ➡ 「操作パネルで有線LAN接続に変更する」 39ページ
- ➡ 「ネットワーク詳細設定をする」 29ページ

Webサービス設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [Webサービス設定]

Epson Connect設定：

Epson Connect サービスへの登録状態を表示します。

[登録する] を選択すると表示される画面の指示に従って登録します。

登録すると以下の設定ができます。

- サービスの一時停止/再開
- 登録削除

詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

Google クラウド プリント設定：

Google クラウド プリントにプリンターが登録や接続されているかを確認します。

登録すると以下の設定ができます。

- サービスの有効/無効
- 登録削除

Google サービスへの登録やサービス利用の詳細は、以下のサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

関連情報

- ➡ 「ネットワークサービスを使って印刷する」 183ページ

消耗品情報メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [消耗品情報]

インク残量やメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。

！マークは、インクの交換時期またはメンテナンスボックスの空き容量が限界に近づいていることを示します。x マークは、インク残量が限界値以下またはメンテナンスボックスの空き容量がない（交換が必要）ことを示しています。

この画面から、インクカートリッジの交換や消耗品情報シートの印刷もできます。

プリンターのお手入れメニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔プリンターのお手入れ〕

プリントヘッドのノズルチェック：

プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっているかどうかを確認するために、チェックパターンを印刷します。

プリントヘッドのクリーニング：

プリントヘッドのノズルをクリーニングして、目詰まりを解消させます。

プリントヘッドの位置調整：

プリントヘッドの位置を調整することで、以下のような印刷トラブルが改善できます。

- 基本の調整
プリントヘッドの傾きを調整します。
- 印刷のぼやけ改善
ぼやけた感じや、縦線がガタついているようなときに選択します。
- 縦罫線ずれの改善
縦線のガタつきを解消させます。
- 横スジの改善
一定の間隔で縞模様のようなものが出るときに選択します。

インクカートリッジ交換：

インクカートリッジ交換のメッセージが表示される前に交換するときに選択します。

用紙経路のクリーニング：

内部のローラーにインクが付着したときに選択します。普通紙を給紙して内部のローラーをクリーニングします。

関連情報

- ➡ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」161ページ](#)
- ➡ [「プリントヘッドの位置を調整する」162ページ](#)
- ➡ [「インクカートリッジを交換する」154ページ](#)
- ➡ [「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」165ページ](#)

本体ステータスシートの印刷メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体ステータスシートの印刷〕

プリンター情報シート：

プリンターの状態や設定を印刷します。

消耗品情報シート：

消耗品の情報を印刷します。

使用履歴シート：

プリンターの使用履歴を印刷します。

印刷ページ数の確認メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [印刷ページ数の確認]

プリンター購入時からの総印刷ページ数、モノクロ印刷ページ数、カラー印刷ページ数を表示します。

ユーザー設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [ユーザー設定]

以下のメニュー項目の初期値を用途に合わせて変更することができます。

- コピー
- ファクス
- スキャン to Event Manager 機能
- スキャン to クラウド 機能

初期設定に戻すメニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [初期設定に戻す]

以下のメニューを初期設定に戻します。

- ネットワーク設定
- コピー設定
- スキャン設定
- ファクス設定
- 全て初期化

ファームウェアのアップデートメニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔ファームウェアのアップデート〕

アップデート：

ネットワーク上に最新のファームウェアがあるか確認します。ファームウェアのアップデートが可能なきは、アップデートをするかどうか選択できます。

定期通知設定：

有効にすると、最新のファームウェアがあるかどうか定期的に確認してお知らせします。

省電力設定をする

プリンターが動作していない状態が続いたときに、指定した時間でスリープ（省電力）モードに移行するように設定できます。また、電源を切るように設定もできます。

省電力設定をする - 操作パネル

1. ホーム画面で〔設定〕を選択します。
2. 〔本体設定〕 - 〔基本設定〕の順に選択します。
3. 〔自動電源オフ〕または〔スリープ移行時間設定〕を選択して、設定値を設定します。

印刷

Windowsプリンタードライバーから印刷する

プリンタードライバーの開き方

コンピュータのコントロールパネルからプリンタードライバーを表示して設定を変更すると、その設定が全てのアプリケーションソフトに適用されます。

コントロールパネルからの表示方法

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックまたは長押しして [印刷設定] を選択します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] を選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンター] - [ハードウェアとサウンド] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] の順に選択します。お使いのプリンターを右クリックして [印刷設定] を選択します。

タスクバーのプリンターアイコンからの表示方法

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンは、プリンタードライバーに素早くアクセスするためのショートカットアイコンです。

プリンターアイコンをクリックして [プリンターのプロパティ] を選択すると、コントロールパネルから表示させたときと同じ印刷設定画面が表示できます。プリンターアイコンをダブルクリックすると、プリンタの状態を確認できます。

参考 タスクバーにプリンターアイコンが表示されていない場合は、プリンタードライバーの画面を表示させて [ユーティリティ] タブの [通知の設定] をクリックして、[呼び出しアイコンをタスクバーに登録する] をチェックしてください。

基本の印刷

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. 印刷するファイルを開きます。
プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。
2. [ファイル] メニューの [印刷] (または [プリント] など) を選択します。
3. プリンターを選択します。
4. [プロパティ] (または [詳細設定] など) をクリックして、プリンタードライバー (詳細な印刷設定) の画面を表示させます。



5. 必要に応じて設定を変更します。
各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

- 参考**
- 各項目の説明は、プリンタードライバーのヘルプでも確認できます。項目上で右クリックすると [ヘルプ] が表示されます。
 - [印刷プレビューを表示] にチェックすると、印刷を開始する前に印刷イメージを確認できます。

6. [OK] をクリックしてプリンタードライバーの画面を閉じます。
7. [印刷] をクリックします。

- 参考**
- [印刷プレビューを表示] にチェックしていると、プレビュー画面が表示されます。設定を変更する場合は、[キャンセル] をクリックして手順2からやり直してください。

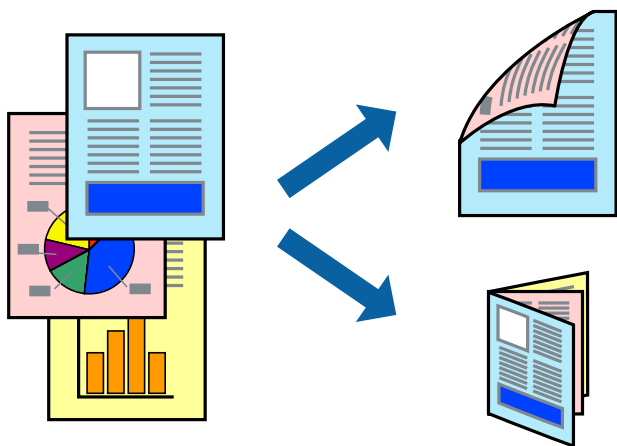
関連情報

➡ [「対応用紙とセット可能枚数」 42ページ](#)

- ➡ 「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ
- ➡ 「セットした用紙の種類を設定する」 49ページ
- ➡ 「基本設定タブ」 82ページ

両面に印刷する

用紙の両面に印刷できます。また、折り上げたときに冊子になるように、ページを並べ替えて印刷することもできます。



参考

- フチなし印刷との併用はできません。
- 両面印刷は、自動も手動もできます。手動両面印刷時は、おもて面の印刷が終了した用紙を裏返してセットしてください。
- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

- ➡ 「対応用紙とセット可能枚数」 42ページ

設定方法

手動両面印刷は、EPSON プリンターウィンドウ!3を有効にすると実行できます。ただし、プリンターをネットワーク経由で操作、または共有プリンターとして使用していると、手動両面印刷できないことがあります。

参考

EPSON プリンターウィンドウ!3を有効にするには、プリンタードライバー画面の「ユーティリティ」タブから「拡張設定」をクリックして、「EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する」にチェックしてください。

1. プリンタードライバーで、「基本設定」タブの「両面印刷」から、両面印刷の方法を選択します。
2. 「とじ方設定」をクリックし、各項目を設定して「OK」をクリックします。
必要に応じて「濃度調整」を設定してください。手動で両面印刷するときは設定できません。

参考

- 冊子を作成するには「ブックレット」にチェックします。
- 「濃度調整」では文書タイプに合わせて濃度を調整できます。
- 自動両面印刷では、濃度調整画面の「文書タイプ」と「基本設定」タブの「印刷品質」の組み合わせによっては、印刷速度が遅くなります。

3. 「印刷」をクリックします。

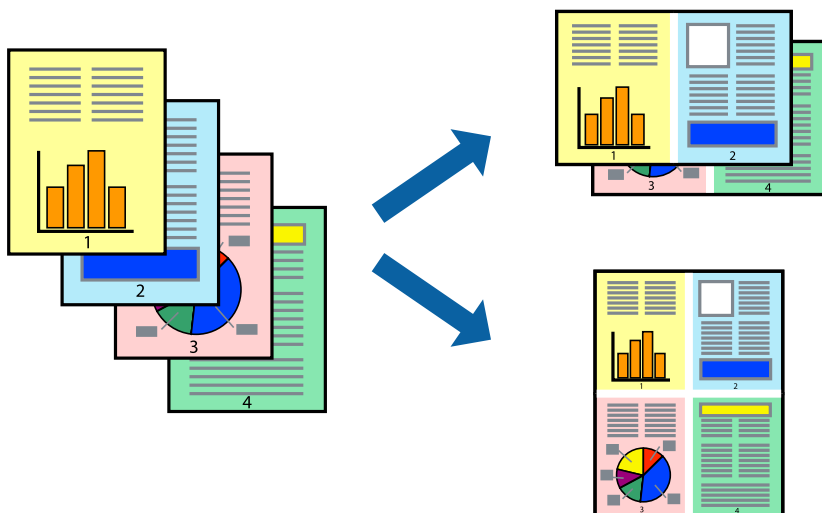
手動両面印刷では、おもて面の印刷が終了すると案内画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

関連情報

- ➡ 「基本の印刷」65ページ
- ➡ 「基本設定タブ」82ページ

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーで、「基本設定」タブの「割り付け/ポスター」から、「2 ページ割付」または「4 ページ割付」を選択します。

参考

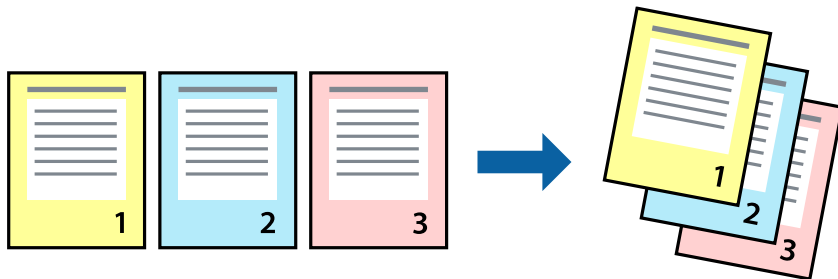
フチなし印刷との併用はできません。

関連情報

- ➡ 「基本の印刷」65ページ
- ➡ 「基本設定タブ」82ページ

ページ順に印刷する（逆順印刷）

最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーの「基本設定」タブで、「逆順印刷」にチェックします。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」65ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」82ページ](#)

拡大縮小して印刷する

任意の倍率や用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーで、「応用設定」タブの「用紙サイズ」から、印刷データのサイズを選択します。「出力用紙」で印刷したい用紙サイズを選択します。「拡大/縮小」にチェックして、「フィットページ」か「任意倍率」を選択します。

「任意倍率」を選択したときは、倍率を入力します。

「中央合わせ」にチェックすると、出力用紙に余白ができるときに用紙の中央に印刷されます。

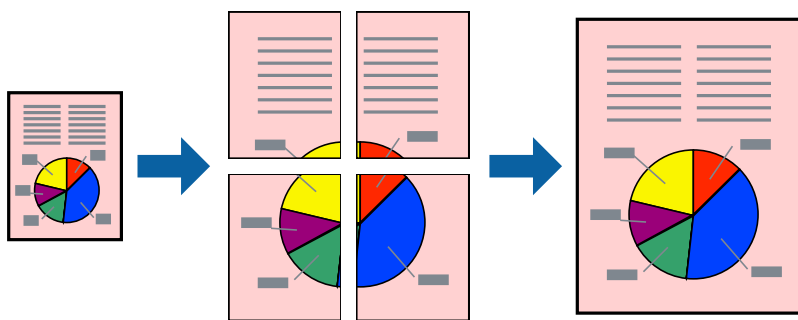
参考 フチなし印刷との併用はできません。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 65ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 82ページ](#)

複数用紙に分割して拡大印刷する（ポスター）

1 ページのデータを複数の用紙に分割して印刷します。印刷した用紙を貼り合わせるとポスターのような大きな印刷物になります。



参考 フチなし印刷との併用はできません。

設定方法

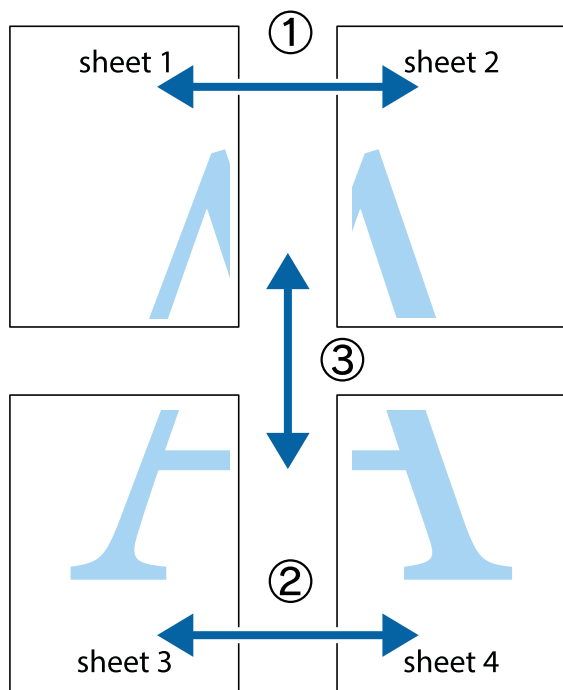
プリンタードライバーで、[基本設定] タブの [割り付け/ポスター] から [2×1 ポスター]、[2×2 ポスター]、[3×3 ポスター] または [4×4 ポスター] のいずれかを選択します。[設定] をクリックすると、印刷しないページや貼り合わせ時のガイドを印刷するかどうかを設定できます。

関連情報

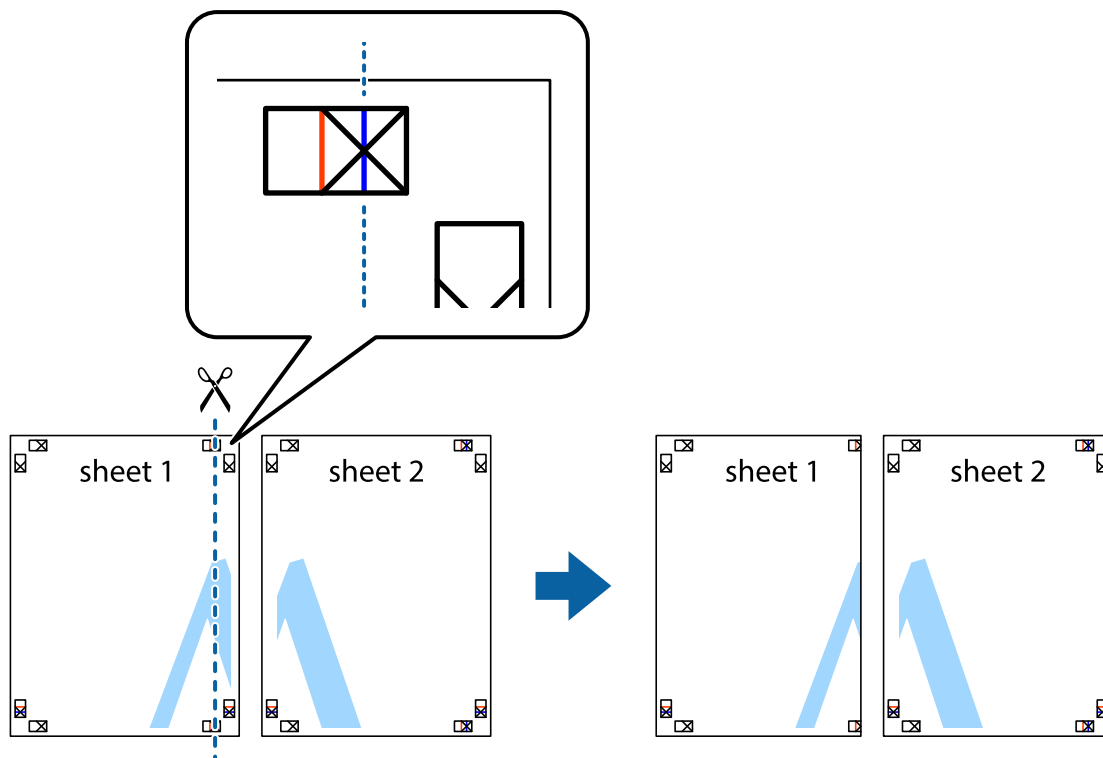
- ➡ [「基本の印刷」 65ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」 82ページ](#)

「貼り合わせガイドを印刷」を使ってポスターを作る

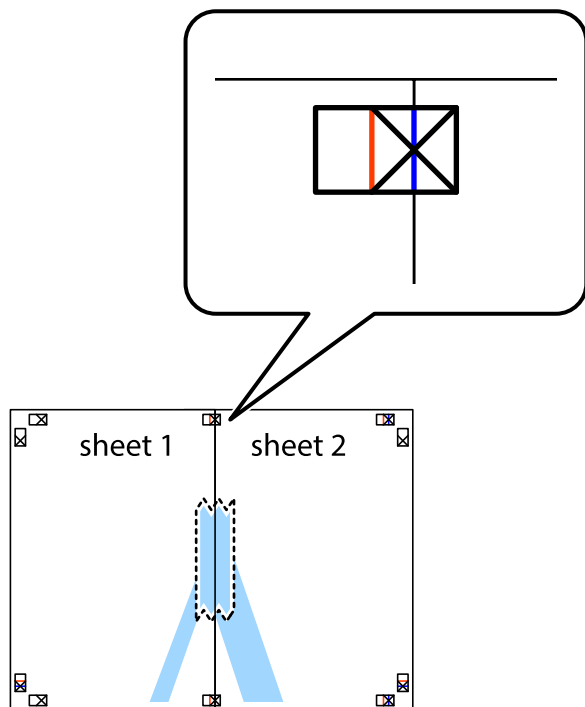
ここでは [2×2 ポスター] を選択して、[ガイド印刷] を [貼り合わせガイドを印刷] にしたときの用紙の貼り合わせ方を例に説明します。



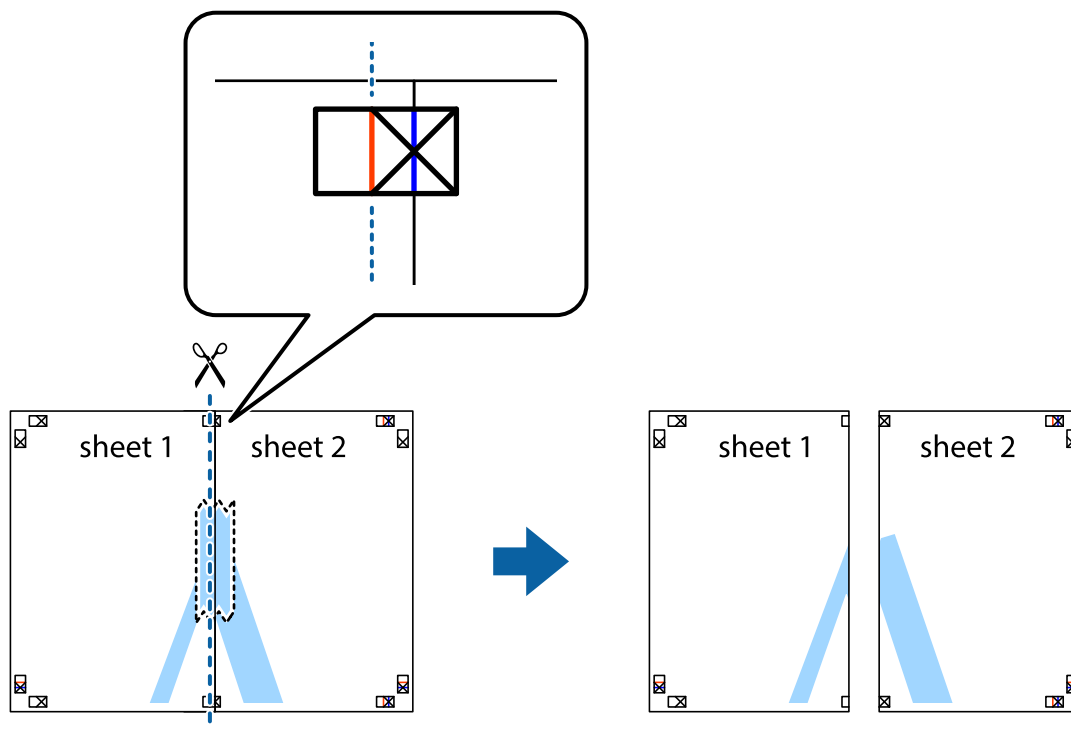
1. Sheet 1とSheet 2を用意します。Sheet 1を、×印と交わっている縦線（青色）を結ぶ線で切ります。



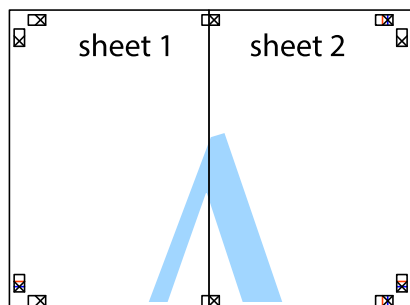
2. Sheet 1をSheet 2の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



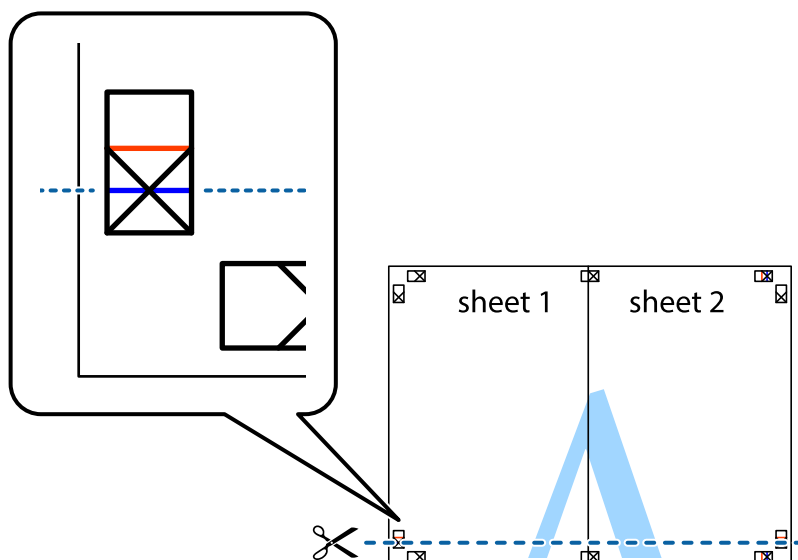
3. ×印の左側の縦線（赤色）を結ぶ線で切ります。



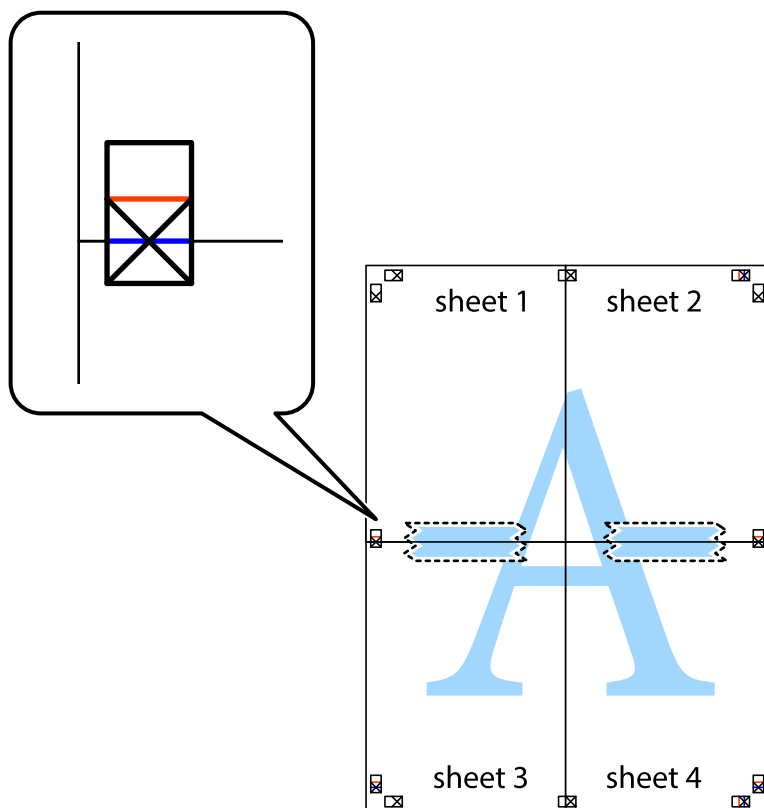
4. 裏面にテープを貼って合わせます。



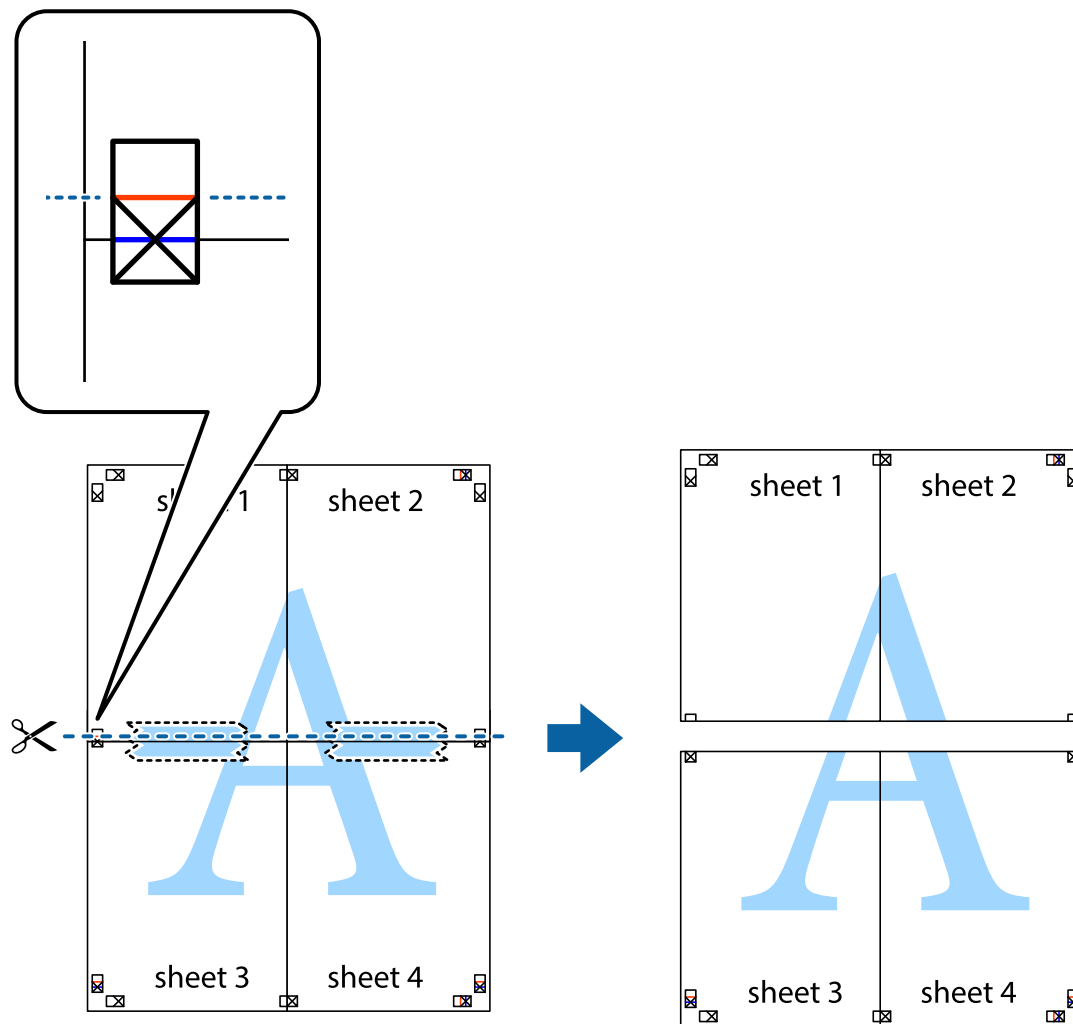
5. Sheet 3とSheet 4も手順1～4と同じように貼り合わせます。
6. Sheet 1とSheet 2を、×印に交わった横線（青色）を結ぶ線で切ります。



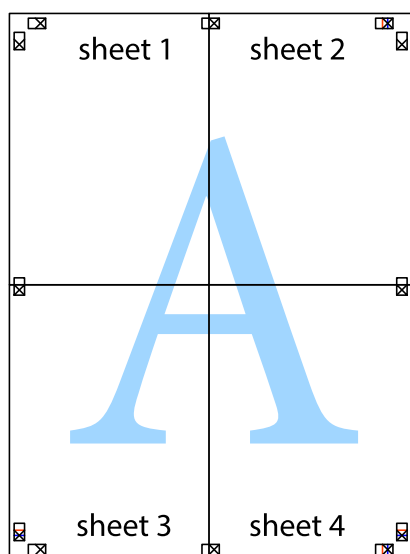
7. Sheet 1とSheet 2をSheet 3とSheet 4の上に重ね、×印が合うようにして、裏面にテープを貼って仮留めします。



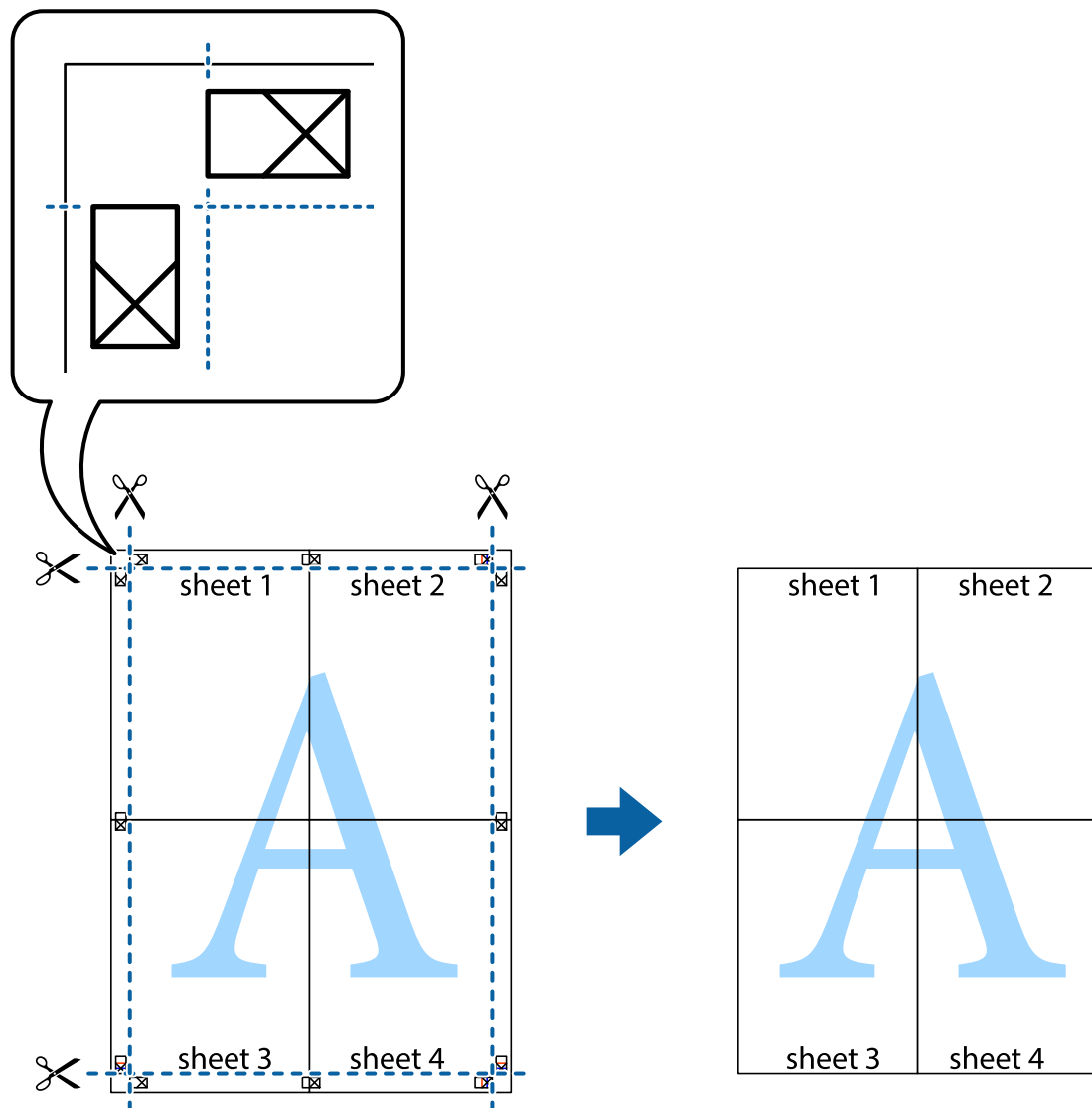
8. ×印上側の横線（赤色）を結ぶ線で切ります。



9. 裏面にテープを貼って合わせます。

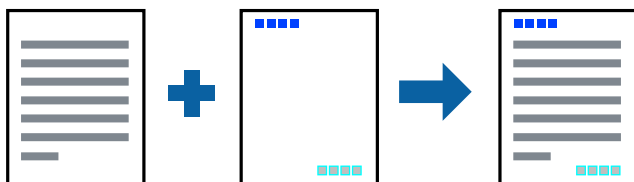


10. 外側のガイドに沿って余白を切り取ります。



ヘッダーやフッターを入れて印刷する

用紙のヘッダーやフッターにユーザー名や日付などを入れて印刷できます。



設定方法

プリンタードライバーの「応用設定」タブで「セキュリティ設定」をクリックして、「ヘッダー/フッター」にチェックします。「設定」をクリックして印刷したい項目を選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」65ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」83ページ](#)

透かしを入れて印刷する（透かし印刷）

印刷データに「マル秘」などのマークや、「コピー」などの透かし文字を入れて印刷できます。原本をコピーしたときに文字が浮き上がるように印刷されて、原本とコピーを区別できます。



透かし印刷は、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙
- フチなし：無効
- 印刷品質：標準
- 自動両面印刷：無効
- フェイスダウン：無効
- 色補正：自動

参考 任意のマークや透かし文字も登録できます。

設定方法

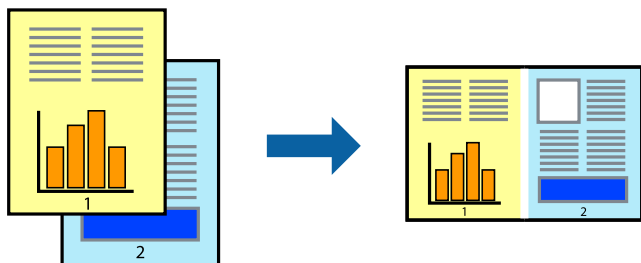
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「セキュリティ設定」をクリックして、透かし印刷やスタンプマークの種類を選択します。「設定」をクリックすると、透かしのサイズ、濃度、位置などが変更できます。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」65ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」83ページ](#)

複数ファイルを1つにまとめて印刷する（まとめてプリント）

まとめてプリントLiteを使うと、異なるアプリケーションソフトで作成したファイルを1つにまとめて割り付け印刷や両面印刷ができます。



設定方法

プリンタードライバーの「基本設定」タブで、「まとめてプリントLite」にチェックします。印刷を開始するとまとめてプリントLite画面が表示されます。まとめてプリントLite画面を表示したまま1つにまとめたい他のファイルを開き、作業を繰り返します。

まとめてプリントLite画面の印刷プロジェクトに追加された印刷データを選択すると、割り付け順序などが編集できます。

「ファイル」メニューの「印刷」をクリックして印刷を開始してください。

参考 全ての印刷データを印刷プロジェクトに追加する前にまとめてプリントLite画面を閉じると、それまでの作業が取り消されます。「ファイル」メニューの「保存」をクリックして現在の作業が保存できます。保存したファイルの拡張子は"ecf"です。

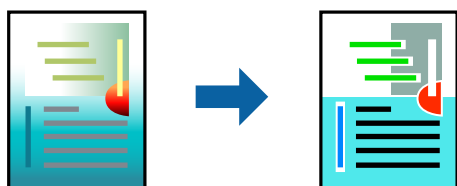
保存したファイルを開くには、プリンタードライバーの「ユーティリティ」タブで「まとめてプリントLite」をクリックして、まとめてプリントLite画面を開きます。その後「ファイル」メニューの「開く」から、対象のファイルを選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」65ページ](#)
- ➡ [「基本設定タブ」82ページ](#)

カラーユニバーサルデザイン（CUD）で印刷する

文字や画像の視認性を向上させて印刷できます。



カラーユニバーサルプリントは、以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙種類：普通紙
- 印刷品質：「標準」以上の高品位

- 印刷の色： [カラー]
- Microsoft® Office 2007以降のアプリケーションソフト
- 96ポイント以下の文字

設定方法

プリンタードライバーで[応用設定] タブの[色補正] 設定から[画像処理設定] をクリックします。[カラーユニバーサルプリント] の種類を選択します。[装飾の設定] をクリックすると、詳細な装飾の方法を設定できます。

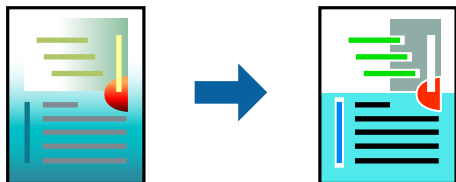
- 参考**
- 装飾すると文字の意味が変わってしまうことがあります（「+」が「±」に見えるなど）。
 - アプリケーションソフトの機能で装飾した文字やグラフなどは、正常に印刷されないことがあります。
 - 写真などの画像はカラーユニバーサルプリントで印刷すると、画質が低下することがあります。
 - カラーユニバーサルプリントを有効にすると、印刷速度が遅くなります。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」 65ページ](#)
- ➔ [「応用設定タブ」 83ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。



- 参考** 元データは補正しません。

設定方法

プリンタードライバーの[応用設定] タブの[色補正] 設定で[ユーザー設定] を選択します。[設定] をクリックして[色補正] 画面を開き、色補正の方法を選択します。

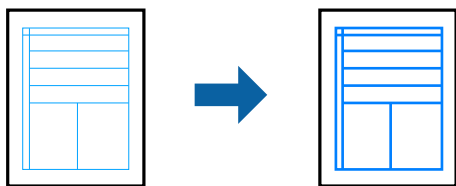
- 参考**
- 初期値は、[応用設定] タブで[自動] に設定されています。用紙種類と印刷品質の設定に合わせて、最適な色合いに自動補正されます。
 - [色補正] 画面の[オートフォトファイン!EX] は、被写体の配置などを解析して補正します。このため、被写体の配置を変えた（回転、拡大縮小、トリミングなど）画像では色合いが変わることがあります。フチなし印刷とフチあり印刷でも被写体の配置が変わるため、色合いが変わることがあります。また、画像内のピントが合っていない箇所では不自然な階調が生じることがあります。色合いが変わったり不自然な階調が発生したりするときは、[オートフォトファイン!EX] 以外のモードで印刷してください。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 65ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 83ページ](#)

細い線を鮮明に印刷する

印刷すると消えてしまう細い線を太くして印刷できます。



設定方法

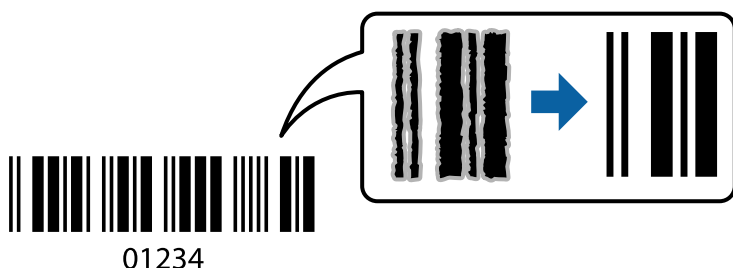
プリンタードライバーで「応用設定」タブの「色補正」から「画像処理設定」をクリックします。「細線を鮮明にする」を選択します。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 65ページ](#)
- ➡ [「応用設定タブ」 83ページ](#)

バーコードのにじみを抑えて印刷する

インクのにじみを抑えて、バーコードを読み取りやすくします。印刷したバーコードがうまく読み取れないときに設定してください。



このモードは以下の条件でのみ有効にできます。

- 用紙：普通紙、コピー用紙、郵便ハガキ、封筒
- 印刷品質：[標準]、[Standard-Vivid]

印刷品質が変わることがあるため、印刷速度が遅くなったり高濃度で印刷されたりします。

参考 お使いのアプリケーションによっては、バーコードが読み取りやすくないことがあります。

設定方法

プリンタードライバーの [ユーティリティ] タブで [拡張設定] をクリックして、[バーコードモード] にチェックします。

関連情報

- ➡ [「基本の印刷」 65ページ](#)
- ➡ [「ユーティリティタブ」 85ページ](#)

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

コンピューターの [デバイスとプリンター]（または [プリンタ]、[プリンタとファクス]）で、お使いのプリンターを右クリックします。[印刷ジョブの表示] をクリックし、中止するジョブ上で右クリックして、[キャンセル] を選択します。

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

 項目は選択した内容によって異なります。

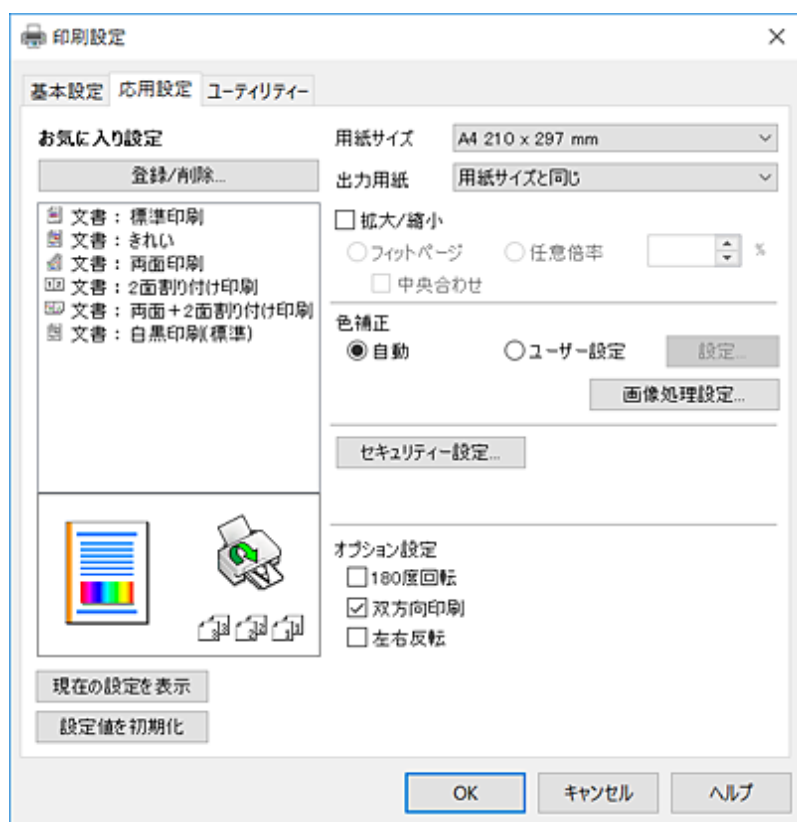
基本設定タブ



お気に入り設定	登録/削除	多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。
現在の設定を表示	〔基本設定〕タブや〔応用設定〕タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。初期化は、〔応用設定〕タブにも適用されます。	
インク残量	プリンターのインク残量を表示します。	
用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。〔ユーザー定義サイズ〕は、用紙の幅と長さを入力します。	
フチなし	画像を用紙から少しはみ出るくらいに拡大して、用紙端に余白が出ないように印刷します。〔はみ出し量設定〕をクリックすると、はみ出させる度合いを選択できます。	
印刷方向	印刷の向きを選択します。	
用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。	
印刷品質	印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。〔詳細設定〕は、任意で品質を設定できます。	
カラー	印刷する色を選択します。	

両面印刷	両面印刷やフェイスダウン排紙を有効にします。	
	とじ方設定	出力紙をとじるときの位置や、とじしろの幅を設定します。複数ページを印刷するときは、1ページ目を裏面（片面）から印刷するかを選択できます。
	濃度調整	印刷する文書のタイプを選択することで、インクの濃度を調整し裏写りを防止します。[ユーザー設定]を選択すると、任意で濃度を調整できます。
割り付け/ポスター	割り付け印刷やポスター印刷を有効にします。[設定]では、ページの配置順などが設定できます。	
部数	印刷する部数を設定します。	
	部単位で印刷	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。
	逆順印刷	複数ページのデータを最後のページから印刷して、ページ順に仕上げます。
動作音低減モード	動作音を低減します。有効にすると、印刷速度が遅くなることがあります。	
印刷プレビューを表示	印刷を開始する前に印刷イメージを表示します。	
まとめてプリントLite	まとめてプリントLite機能を使って印刷したいときに選択します。	

応用設定タブ



お気に入り設定	登録/削除	多用する設定の登録や削除ができます。登録した設定は、リストから選択することで使用できます。
---------	-------	---

現在の設定を表示	[基本設定] タブや [応用設定] タブで設定されている項目を一覧で表示します。	
設定値を初期化	設定を初期状態に戻します。初期化は、[基本設定] タブにも適用されます。	
用紙サイズ	印刷するデータのサイズを選択します。	
出力用紙	出力する用紙サイズを選択します。[用紙サイズ] と [出力用紙] のサイズが異なるときは、[拡大/縮小] が自動で選択されます。拡大、縮小印刷をしないときは、選択する必要はありません。	
拡大/縮小	拡大、縮小印刷を有効にします。	
	フィットページ	[出力用紙] のサイズに合わせて自動で拡大、縮小印刷します。
	任意倍率	任意の倍率で拡大、縮小印刷します。
	中央合わせ	用紙の中央にデータを印刷します。
色補正	自動	画像などの色を自動で補正して印刷します。
	ユーザー設定	画像などの色を手動で補正して印刷します。[設定] をクリックすると、色補正の詳細な方法が選択できます。
	画像処理設定	カラーユニバーサルプリントや赤目補正を有効にしたり、細い線を鮮明に印刷する設定をします。
セキュリティ設定	透かし印刷やスタンプマークの設定をします。	
オプション設定	180度回転	データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに有効です。
	双方向印刷	ヘッドの行きだけでなく帰りにもインクを吐出して印刷します。印刷速度は向上しますが、印刷品質は低下することがあります。
	左右反転	データの左右を反転して印刷します。

ユーティリティータブ



プリントヘッドのノズルチェック	ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドに目詰まりがないか確認します。
プリントヘッドのクリーニング	プリントヘッドをクリーニングして目詰まりを改善します。インクを消費するため、ノズルが目詰まりしているときだけ実行してください。
まとめてプリント Lite	まとめてプリント Lite の画面を表示します。作業中のデータの保存や、編集ができます。
EPSON プリンター ウィンドウ!3	EPSON プリンター ウィンドウ!3 の画面を表示します。プリンターや消耗品の状態が確認できます。
通知の設定	EPSON プリンター ウィンドウ!3 の画面に表示する項目などを設定します。
拡張設定	より詳細な印刷設定ができます。設定項目の詳細は、項目上で右クリックしてヘルプをご覧ください。
印刷待ち状態表示	印刷を待っているジョブを表示します。ジョブの状況の確認や一時停止、再開などが操作できます。
言語選択	プリンタードライバーの言語を変更します。画面を開き直すと言語が変更されます。
ソフトウェアアップデート	EPSON Software Updater を起動して、インターネット上に更新できるソフトウェアがあるかを自動で確認します。
消耗品の購入	エプソンのウェブサイトにある消耗品購入のページに接続します。
困ったときは	エプソンのウェブサイト「よくあるご質問 (FAQ)」に接続します。

Mac OSプリンタードライバーから印刷する

基本の印刷

参考 アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. 印刷するファイルを開きます。
プリンターに用紙がセットされていない場合はセットしてください。
2. [ファイル] メニューの[プリント]（または[印刷] など）を選択してプリント画面を表示させます。
詳細設定が隠れているときは、[詳細を表示]（または▼）をクリックして詳細設定画面を開いてください。
3. お使いのプリンターを選択します。
4. ポップアップメニューの[印刷設定]を選択します。



The image shows a print settings dialog box for an Epson printer. The settings are as follows:

- プリンター: EPSON XXXX
- プリセット: デフォルト設定
- 部数: 1
- ページ: ☒ すべて (with sub-options for 開始: 1 and 終了: 1)
- 用紙サイズ: A4 (210 x 297 mm)
- 方向: Portrait (indicated by an icon)
- 印刷設定 (expanded section):
 - 用紙種類: 普通紙
 - 印刷品質: 標準
 - ☐ フチなし (with sub-option: はみ出し量設定: 標準)
 - ☐ グレースケール
 - ☐ 左右反転

Buttons at the bottom: キャンセル, プリント

参考

OS X Mountain Lion以降で「印刷設定」メニューが表示されないときは、エプソンのプリンタードライバーが設定できていません。



メニューの「システム環境設定」-「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択して、一旦プリンターを削除してから、プリンターの追加をやり直してください。追加方法は以下をご覧ください。

<http://epson.sn>

5. 必要に応じて設定を変更します。

各項目の詳細は、プリンタードライバーのメニュー説明をご覧ください。

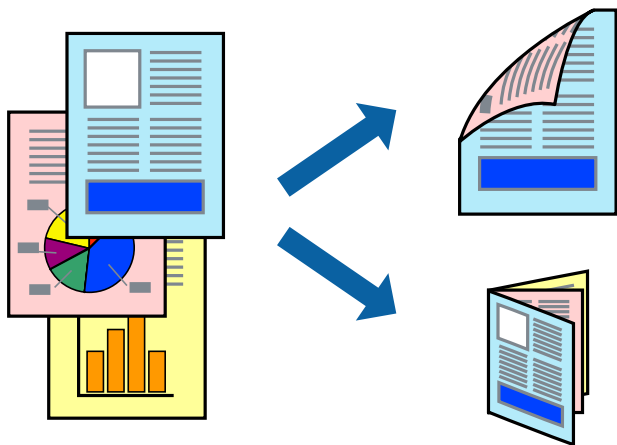
6. 「プリント」をクリックします。

関連情報

- ➡ 「対応用紙とセット可能枚数」42ページ
- ➡ 「用紙カセットに用紙をセットする」45ページ
- ➡ 「セットした用紙の種類を設定する」49ページ
- ➡ 「印刷設定メニュー」95ページ

両面に印刷する

用紙の両面に自動で印刷できます。



参考

- フチなし印刷との併用はできません。
- 両面印刷に対応していない用紙は、印刷品質の低下や紙詰まりの原因になります。
- 用紙の種類や印刷するデータによって、用紙の裏面にインクがにじむことがあります。

関連情報

- ➡ 「対応用紙とセット可能枚数」42ページ

設定方法

ポップアップメニューから「自動両面/排紙設定」を選択します。両面印刷の方法を選択して、「文書タイプ」を設定します。

参考

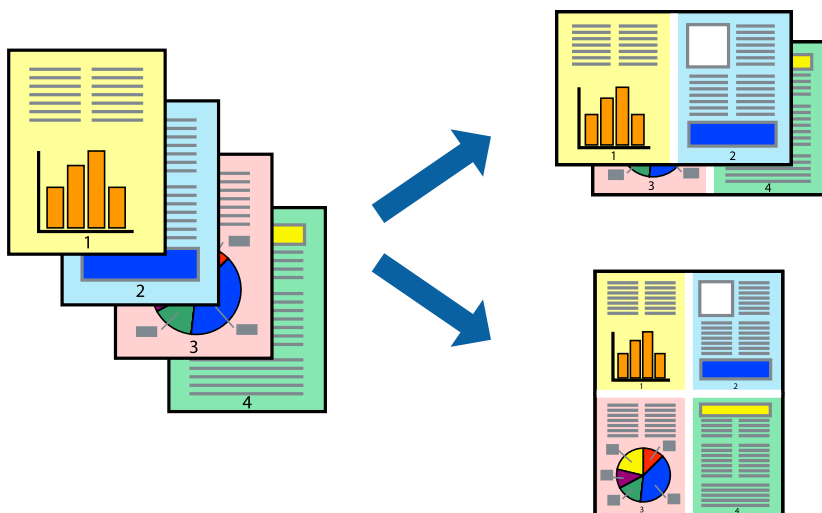
- 文書タイプによっては印刷速度が遅くなります。
- 写真やグラフなど濃度の高いデータを印刷するときは、「文書タイプ」の「テキスト/イラスト」または「テキスト/写真」を選択してください。それでも印刷結果の汚れや裏写りが気になるときは、「詳細設定」で「印刷濃度」や「追加乾燥時間」を調整してください。

関連情報

- ➡ 「基本の印刷」86ページ
- ➡ 「自動両面/排紙設定メニュー」97ページ

複数ページを1枚の用紙に印刷する

1枚の用紙に複数ページのデータを割り付けて印刷できます。



設定方法

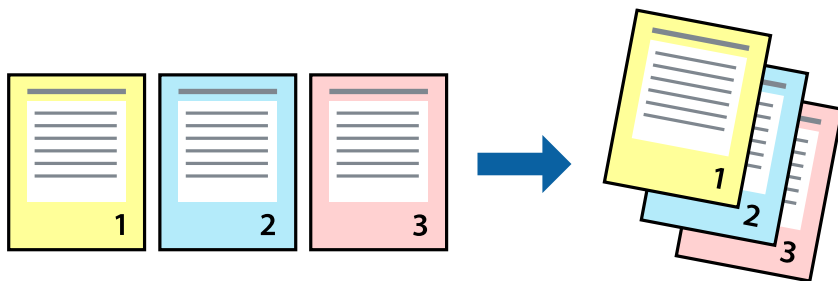
ポップアップメニューの「レイアウト」を選択します。「ページ数/枚」、「レイアウト方向」、「境界線」を設定します。

関連情報

- ➡ 「基本の印刷」86ページ
- ➡ 「レイアウトメニュー」91ページ

ページ順に印刷する（逆順印刷）

最後のページから印刷して、出来上がりがページ順になるように印刷できます。



設定方法

ポップアップメニューの「用紙処理」を選択します。「ページの順序」で「逆送り」を選択します。

関連情報

- ➡ 「基本の印刷」 86ページ
- ➡ 「用紙処理メニュー」 93ページ

拡大縮小して印刷する

任意の倍率や用紙サイズに合わせて、拡大または縮小して印刷できます。



設定方法

用紙のサイズに合わせて拡大縮小印刷するときは、ポップアップメニューから「用紙処理」を選択して、「用紙サイズに合わせる」をチェックします。「出力用紙サイズ」でプリンターにセットした用紙のサイズを選択します。縮小印刷するときは、「縮小のみ」にチェックします。

任意の倍率で印刷するときは、以下のいずれかを実行します。

- アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［プリント］を選択します。［プリンタ］を選択し、［拡大縮小］に倍率を入力して、［印刷］をクリックします。
- アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから、［ページ設定］を選択します。［フォーマット］でお使いのプリンターを選択し、［拡大縮小］に倍率を入力して、［OK］をクリックします。

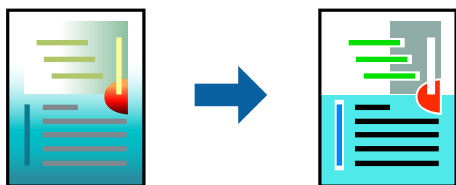
参考 「用紙サイズ」は、印刷するデータのサイズを選択します。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」86ページ](#)
- ➔ [「用紙処理メニュー」93ページ](#)

色補正をして印刷する

画質などの色を補正して印刷できます。



参考 元データは補正しません。

設定方法

ポップアップメニューの［カラー・マッチング］を選択し、［EPSON Color Controls］を選択します。ポップアップメニューの［カラーオプション］を選択して、色補正の種類を選択します。［詳細設定］横の矢印をクリックすると、さらに詳細な色補正の方法が選択できます。

関連情報

- ➔ [「基本の印刷」86ページ](#)
- ➔ [「カラー・マッチングメニュー」92ページ](#)
- ➔ [「カラーオプションメニュー」96ページ](#)

印刷を中止する

コンピューターから印刷を中止できます。ただし、送信終了した印刷ジョブはコンピューターからは中止できません。プリンターの操作パネルから中止してください。

中止方法

[Dock] 内のプリンターのアイコンをクリックします。中止するジョブを選択し、以下のいずれかを行います。

- OS X Mountain Lion以降
プログレスメーター横の  をクリックします。
- Mac OS X v10.6.8～v10.7.x
[削除] をクリックします。

プリンタードライバーのメニュー説明

アプリケーションソフトの印刷画面を開き、プリンターを選択して印刷設定画面を表示します。

参考 項目は選択した内容によって異なります。

レイアウトメニュー



プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

レイアウト

ページ数/枚： 1

レイアウト方向：    

境界線： なし

両面： 切

☐ ページの方向を反転

☐ 左右反転

キャンセル プリント

ページ数/枚	用紙1枚に対し、印刷したいページ数を選択します。
レイアウト方向	ページの並べ方を選択します。
境界線	ページを区切る境界線の設定をします。

ページの方向を反転	データを180度回転して印刷します。用紙の向きを変えられないハガキや封筒に印刷するときに設定してください。
左右反転	データの左右を反転して印刷します。

カラー・マッチングメニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

カラー・マッチング

☐ ColorSync ☒ EPSON Color Controls

キャンセル プリント

ColorSync	色補正の方法を選択します。プリンターで色の調整を行い、異なるデバイス間の色合いを近づけることができます。
EPSON Color Controls	

用紙処理メニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： ☒ すべて
☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

用紙処理

☒ 丁合い

プリントするページ： すべてのページ

ページの順序： 自動

☐ 用紙サイズに合わせる

出力用紙サイズ： 推奨用紙： A4

☐ 縮小のみ

キャンセル プリント

丁合い	部数に対して複数ページのデータをページごとでなく、部ごとに印刷します。	
プリントするページ	印刷するページを、奇数ページごとか偶数ページごとかを選択できます。	
ページの順序	複数ページのデータを、最初のページか最後のページから印刷するかを選択します。	
用紙サイズに合わせる	出力用紙サイズに合わせて自動で拡大縮小印刷します。	
	出力用紙サイズ	出力する用紙サイズを選択します。
	縮小のみ	縮小印刷時に選択します。

表紙メニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： ☒ すべて
☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

表紙

表紙をプリント： ☒ なし
☐ 書類の前
☐ 書類の後

表紙のタイプ： 標準

キャンセル プリント

表紙をプリント	表紙を印刷するかどうかを選択します。裏表紙を付けるときは、【書類の後】を選択します。
表紙のタイプ	表紙に印刷される内容を選択します。

印刷設定メニュー

プリンタ: EPSON XXXX

プリセット: デフォルト設定

部数: 1

ページ: ☒ すべて
☐ 開始: 1 終了: 1

用紙サイズ: A4 210 x 297 mm

方向:  

印刷設定

用紙種類: 普通紙

印刷品質: 標準

☐ フチなし
はみ出し量設定: 標準

☐ グレースケール

☐ 左右反転

キャンセル プリント

用紙種類	印刷する用紙の種類を選択します。	
印刷品質	印刷したい品質を選択します。用紙の種類によって選択肢が異なります。	
四辺フチなし	フチなし用の用紙サイズを選択したときにチェックが付きます。	
	はみ出し量設定	フチなしでは、画像を用紙から少しはみ出るくらいに拡大して、用紙端に余白が出ないように印刷します。はみ出させる度合いを選択してください。
グレースケール	白黒で印刷したいときに選択します。	
左右反転	データの左右を反転して印刷します。	

カラーオプションメニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： ☒ すべて
☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：  

カラーオプション

☐ 手動設定
☒ オートフォトファイン！EX
☐ 色補正なし

▶ 詳細設定:

キャンセル プリント

手動設定	画像などの色を手動で補正して印刷します。〔詳細設定〕では、色補正の詳細な方法が選択できます。
オートフォトファイン！EX	エプソン独自の画像解析、処理技術を使って自動で画像を高画質にして印刷します。
色補正なし	色補正せずに印刷します。

自動両面/排紙設定メニュー

プリンタ： EPSON XXXX

プリセット： デフォルト設定

部数： 1

ページ： ☒ すべて ☐ 開始： 1 終了： 1

用紙サイズ： A4 210 x 297 mm

方向：

自動両面/排紙設定

自動両面印刷： オフ

☐ フェイスダウン印刷

キャンセル プリント

自動両面印刷	自動で用紙の両面に印刷します。
フェイスダウン印刷	印刷した面を下にして排紙します。

Mac OSプリンタードライバーの動作を設定する

Mac OSプリンタードライバーの動作設定画面の開き方

メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。

Mac OSプリンタードライバーの動作設定メニューの説明

- 白紙節約する：印刷データの白紙ページを印刷しません。
- 動作音低減モード：印刷時の動作音が静かになります。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。
- 「黒だけでモード」を使用する：黒インクだけで一時的に印刷します。
- 双方向印刷：プリントヘッドが左右どちらに動くときも印刷します。印刷速度は速くなりますが、印刷品質は低下することがあります。

- ファイリングしやすい方向に排紙する：横向きのデータを印刷するときや両面に印刷するとき、ファイリングしやすいように印刷データを回転して排紙します。ハガキと封筒は非対応です。
- 余白を除去する：フチなし印刷時の余白を除去します。
- ワーニングを通知する：ワーニング（警告）が発生したときにメッセージなどを表示します。
- 印刷時に双方向通信をサポート：通常は［オン］のままにしてください。Windowsで共有されているプリンターなど、プリンターからの情報が取れない場合は［オフ］にします。

スマートデバイスから印刷する

Epson iPrintを使う

Epson iPrint（エプソン アイプリント）は、スマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、写真やWebページ、文書などが印刷できるアプリケーションです。プリンターと同じ無線LANに接続したスマートデバイスから印刷するローカルプリントと、インターネット経由で外出先から印刷するリモートプリントがあります。リモートプリントを使うには、プリンターをEpson Connectサービスに登録してください。



関連情報

➡ [「ネットワークサービスを使って印刷する」183ページ](#)

Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。

<http://ipr.to/c>



Epson iPrintで印刷する

スマートデバイスでEpson iPrintを起動して、ホーム画面で使いたい項目を選択します。

以下の画面は予告なく変更されることがあります。画面に表示される内容も、お使いの製品により異なる場合があります。



①	起動時に表示されるホーム画面です。
②	プリンターの設定方法やFAQなどの情報ページを表示します。
③	プリンターの選択や設定をする画面を表示します。一度プリンターを選択すれば、次回からは選択しなくても使えます。
④	写真や文書など、印刷したいものを選択します。
⑤	用紙サイズや用紙種類などの印刷設定をする画面を表示します。
⑥	用紙サイズを表示します。ボタン形状になっているときに押すとプリンターの用紙設定情報を表示します。
⑦	選択した写真や文書を表示します。
⑧	印刷を開始します。

参考 iOSで動作するiPhone、iPad、iPod touchからドキュメントメニューで印刷するときは、iTunesのファイル共有機能で印刷するドキュメントを転送してからEpson iPrintを起動してください。

Epson印刷サービスプラグインを使う

Epson印刷サービスプラグインを使うと、文書やメール、写真、ウェブページなどを、Android 4.4以降のスマートデバイスからWi-Fiで印刷できます。プリンターとデバイスが同じネットワークにつながっている場合は、このプラグインをインストールしておく便利です。

1. プリンターに印刷用紙をセットします。

2. プリンターを無線LANに接続します。
3. Google Playから、スマートデバイスにEpson印刷サービスプラグインをダウンロードします。
4. お使いのスマートデバイスをプリンターと同じ無線LANに接続します。
5. お使いのスマートデバイスの〔設定〕から〔印刷〕を選択して、Epson印刷サービスプラグインを有効にします。
6. ChromeなどのAndroidアプリケーションで、メニューアイコンをタップして印刷します。

参考 プリンターが見つからないときは、〔すべてのプリンター〕をタップして、お使いのプリンターを選択してください。

関連情報

- ➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」45ページ](#)
- ➡ [「スマートデバイスとの接続」25ページ](#)

AirPrintを使う

AirPrintを使うと、ドライバーのインストールやソフトウェアのダウンロードをしなくてもiPhone、iPad、iPod touchやMacから簡単に無線で印刷できます。



参考 操作パネルでプリンター設定メニューの給紙装置設定の情報表示を無効にしていると、AirPrintは使えません。給紙装置設定の情報表示を有効にするには以下の関連リンクをご覧ください。

1. プリンターに印刷用紙をセットします。
2. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。
<http://epson.sn>
3. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。
4. 機器からプリンターに印刷します。

参考 詳しくはアップル社ウェブサイトのAirPrintのページをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」45ページ](#)
- ➡ [「プリンター設定」58ページ](#)

Mopria Print Serviceで印刷する

Mopria Print Serviceを使うと、Androidスマートフォンやタブレットから簡単に無線で印刷できます。



1. Google PlayからMopria Print Serviceをインストールします。
2. プリンターに用紙をセットします。
3. プリンターを無線LANに接続します。以下のリンクをご覧ください。
<http://epson.sn>
4. お使いの機器をプリンターと同じ無線LANに接続します。
5. 機器からプリンターに印刷します。



詳しくは<https://mopria.org>の使い方のページをご覧ください。

関連情報

➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」45ページ](#)

印刷中のジョブを中止する

操作パネルのをタップして、印刷中のジョブを中止します。

コピー

基本のコピー

ここでは基本的なコピー手順を説明します。

1. 原稿をセットします。
複数の原稿をコピーするときは、ADFに全ての原稿をセットします。
2. ホーム画面で「コピー」を選択します。
3. 「コピー」タブの設定を確認します。
必要に応じて設定項目を選択して変更します。



- 参考**
- 「応用設定」タブを選択すると、「ページ集約」や「印刷品質」などが設定できます。
 - 設定の組み合わせが使用できないときは、が表示されます。アイコンを選択して詳細を確認し、設定を変更してください。

4. コピー部数を入力します。
5. をタップします。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」50ページ](#)
- ➡ [「コピー時の基本設定メニュー」103ページ](#)
- ➡ [「コピー時の応用設定メニュー」104ページ](#)
- ➡ [「画面の見方と使い方」17ページ](#)

用紙の両面にコピーする

複数枚の原稿を用紙の両面にコピーできます。

1. ホーム画面で【コピー】を選択します。
2. 【コピー】タブので【片面→両面】を選択します。
原稿のセット方向やコピー結果の開き方向も指定できます。
3. をタップします。

関連情報

➡ [「基本のコピー」102ページ](#)

複数枚の原稿を1枚の用紙にコピーする

2枚の原稿を、1枚の用紙に割り付けてコピーできます。

1. ホーム画面で【コピー】を選択します。
2. 【応用設定】タブの【ページ集約】で【2in1】を選択します。
原稿の割り付け順序と向きも指定できます。
3. 【コピー】タブを選択して、をタップします。

関連情報

➡ [「基本のコピー」102ページ](#)

コピー時の基本設定メニュー

 **参考** 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

モノクロ：

原稿をモノクロ（白黒）でコピーします。

カラー：

原稿をカラーでコピーします。



（両面）：

両面コピーのレイアウトを選択します。

- 片面→片面
原稿の片面を用紙の片面にコピーします。
- 片面→両面
2枚の原稿の片面を、1枚の用紙の両面にコピーします。原稿の向きと用紙の開き方向を選択します。



(濃度) :

コピー結果が薄いときは濃度を上げます。こすれが発生するときは濃度を下げます。

コピー時の応用設定メニュー



他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

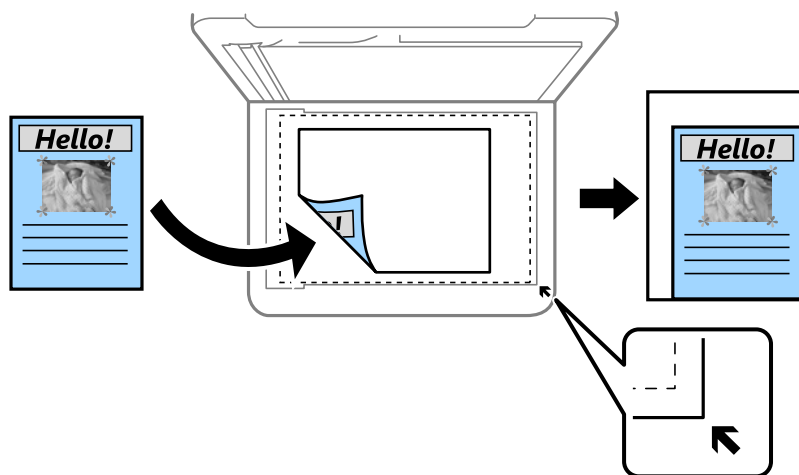
用紙設定 :

用紙サイズと用紙種類を選択します。

倍率 :

拡大または縮小コピーの倍率を設定します。原稿サイズを指定の倍率で縮小、拡大したいときは、数値を選択して25～400%の範囲で倍率を入力します。

- 等倍
100%の倍率でコピーします。
- A4→A5など
定形サイズの前稿（スキャン範囲）を、定形サイズの用紙に合わせた倍率で拡大または縮小します。
- オートフィット
原稿のスキャン範囲を自動で検出して、用紙サイズに合わせた倍率で拡大または縮小します。原稿の周囲に余白がある場合、原点からの余白部分はスキャン範囲に含まれますが、原点から反対側の余白部分は切り取られることがあります。



原稿サイズ :

原稿のサイズを選択します。非定形サイズの原稿をコピーするときは、原稿サイズに近いサイズを選択してください。

ページ集約：

- しない
1ページの原稿を1枚の用紙にコピーします。
- 2in1
2ページの原稿を、1枚の用紙に2面割り付けでコピーします。割り付け順序と原稿の向きを選択します。

印刷品質：

コピーの画質を選択します。[きれい]を選択すると、高品質で印刷できますが、印刷に時間がかかります。

原稿の向き：

原稿の向きを選択します。

影消し：

冊子をコピーしたときに中央部に出る影や、厚い原稿をコピーしたときに周りが出る影を消します。

パンチ穴消し：

パンチ穴の影を消してコピーします。

IDカードコピー：

IDカードを片面ずつスキャンして、A4サイズ紙の片面に並べてコピーします。

フチなしコピー：

周囲に余白（フチ）なしでコピーします。画像を用紙から少しはみ出るくらいに拡大して、用紙端に余白が出ないように印刷します。[フチなしはみ出し量]設定ではみ出させる度合いを選択します。

設定クリア：

コピーの設定を購入時の状態に戻します。

スキャン

操作パネルからスキャンする

プリンターの操作パネルからは、以下の項目を宛先にしてスキャンできます。

EventManager

スキャンした画像を、接続しているコンピューターに保存できます。お使いのコンピューターにEpson Scan 2 (エプソン スキャン ツー) とEpson Event Manager (エプソン イベント マネージャー) がインストールされている必要があります。

クラウド

スキャンした画像をクラウドサービスに保存できます。事前にEpson Connectの設定が必要です。

関連情報

- ➔ [「スキャンした画像をコンピューターに保存する \(Event Manager\) 」 106ページ](#)
- ➔ [「スキャンした画像をクラウドに保存する」 110ページ](#)

スキャンした画像をコンピューターに保存する (Event Manager)

 **参考** お使いのコンピューターにEpson Scan 2 (エプソン スキャン ツー) とEpson Event Manager (エプソン イベント マネージャー) がインストールされている必要があります。

1. 原稿をセットします。
2. ホーム画面で [スキャン] を選択します。
3. [EventManager] を選択します。

4.  を選択して、スキャンした画像を保存するコンピューターを選択します。



- 参考**
- プリンターがネットワークに接続されているときは、スキャンした画像を保存するコンピューターを選択できます。操作パネルには20台までのコンピューターが表示されます。Epson Event Managerで「ネットワークスキャン名(半角英数字)」を設定していると、ネットワークスキャン名が表示されます。
 - コンピューター名に半角英数字以外の文字が含まれていると、スキャンした画像を保存するコンピューターが操作パネルに正しく表示されません。Epson Event Managerで「ネットワークスキャン名(半角英数字)」を設定してください。

5.  を選択して、保存方法 (アクション) を選択します。

- JPEGで保存する：スキャンした画像をJPEG形式で保存します。
- PDFで保存する：スキャンした画像をPDF形式で保存します。
- メールに添付する：コンピューターのメールソフトを起動させ、スキャンした画像をメールに添付します。
- カスタム設定に従う：Epson Event Managerで設定した内容でスキャンします。保存するフォルダーや保存形式、画像のサイズなどを変更できます。

6.  をタップします。

関連情報

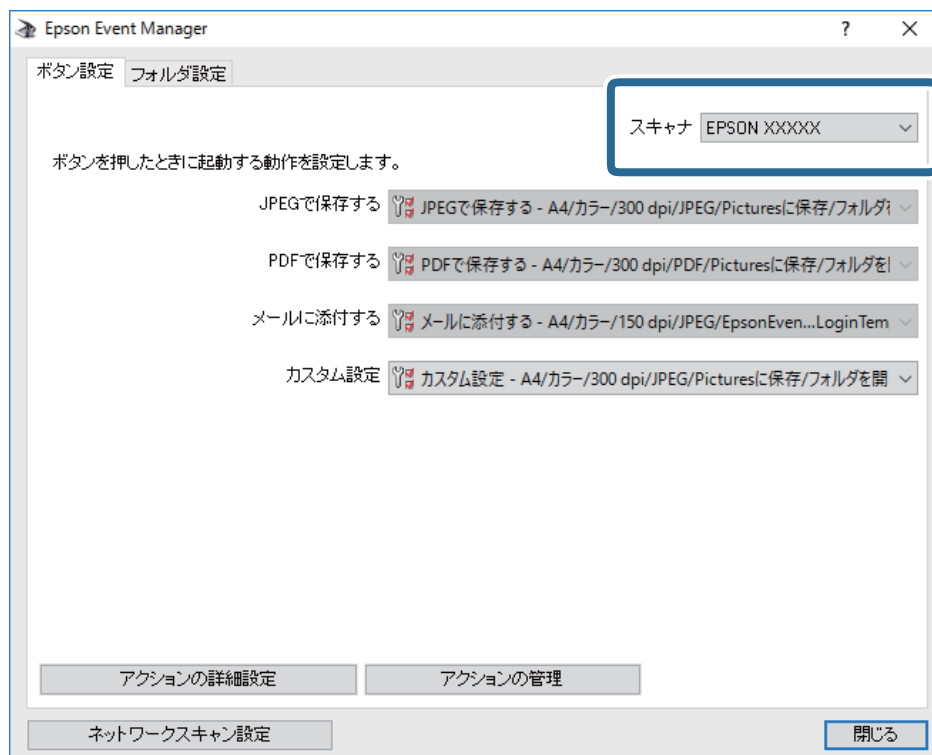
➔ [「原稿のセット」50ページ](#)

Epson Event Managerでカスタム設定をする

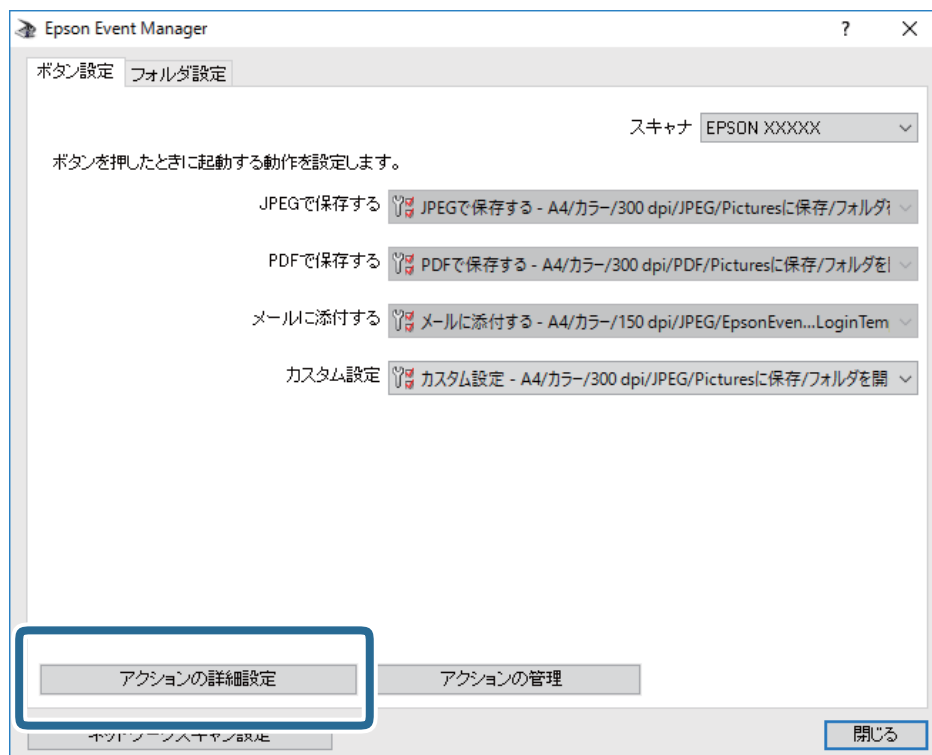
Epson Event Managerで、「カスタム設定に従う」の内容を設定できます。
詳しくはEpson Event Managerのヘルプをご覧ください。

1. Epson Event Managerを起動します。

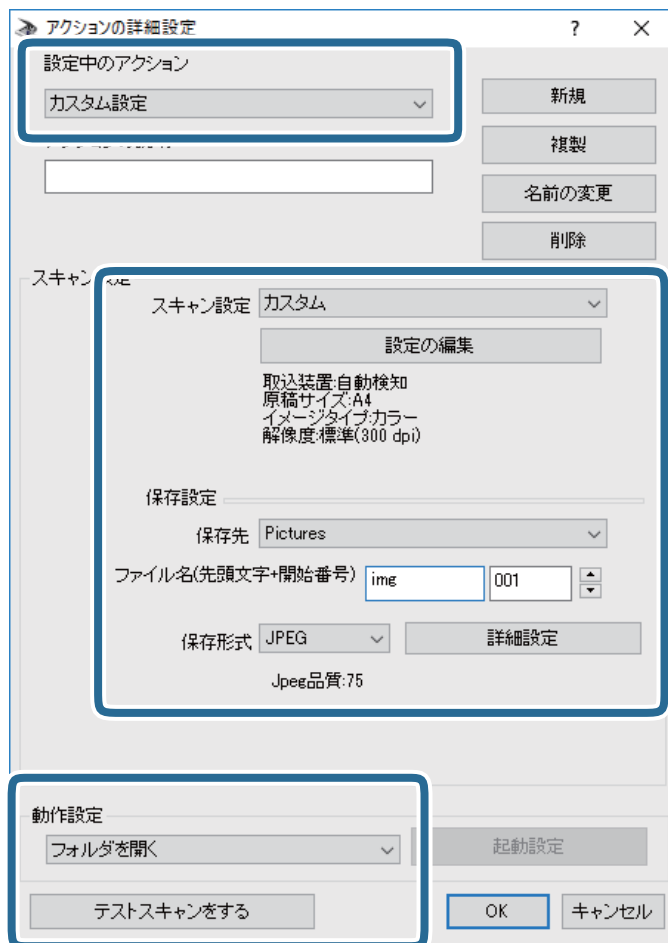
2. メイン画面の［ボタン設定］タブで、［スキャナ］にお使いのプリンターが選択されていることを確認します。



3. ［アクションの詳細設定］をクリックします。



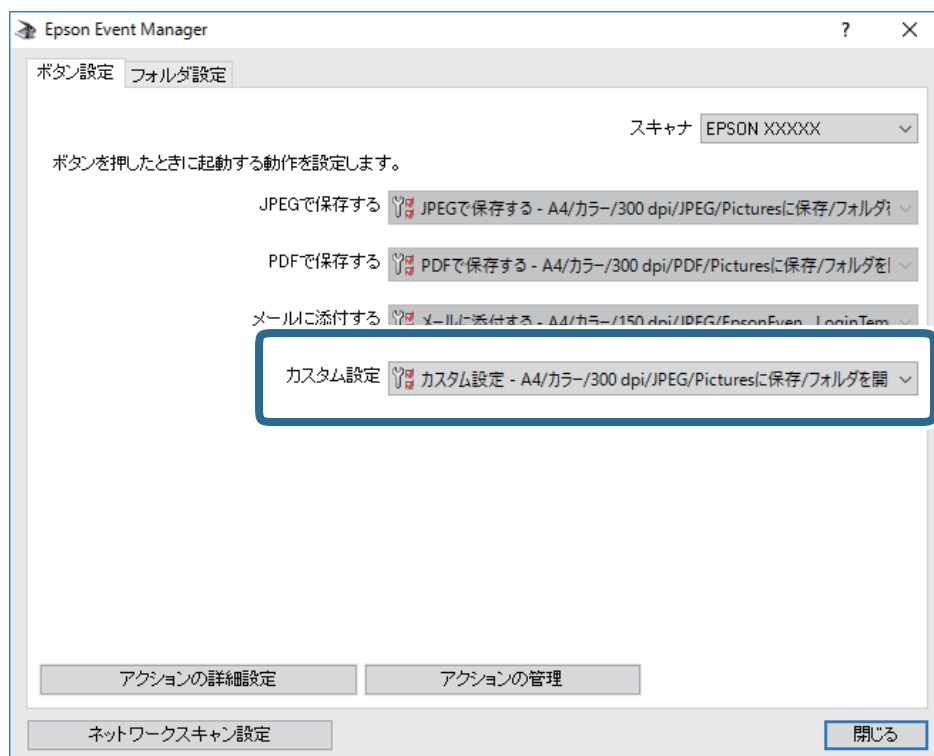
4. [アクションの詳細設定] 画面で、スキャンの設定をします。



- 設定中のアクション：[カスタム設定] を選択します。
- スキャン設定：リストから原稿の種類を選択すると、その原稿に最適な設定でスキャンできます。[設定の編集] (Windows) / [スキャンの条件の詳細設定] (Mac OS X) をクリックすると、スキャン解像度や保存時の色などを設定できます。
- 保存先：スキャンした画像の保存場所を選択します。
- ファイル名(先頭文字+開始番号)：保存ファイル名の設定を変更できます。
- 保存形式：スキャンした画像の保存形式を選択します。
- 動作設定：スキャン時の動作を設定します。
- テストスキャンをする：設定した内容でテストスキャンします。

5. [OK] をクリックして、メイン画面に戻ります。

6. 「カスタム設定」のリストに、「カスタム設定」が選択されていることを確認します。



7. 「閉じる」をクリックして、Epson Event Managerを終了します。

スキャンした画像をクラウドに保存する

スキャンした画像をクラウドサービスに保存できます。この機能を使う前に、Epson Connectの設定をしておいてください。詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

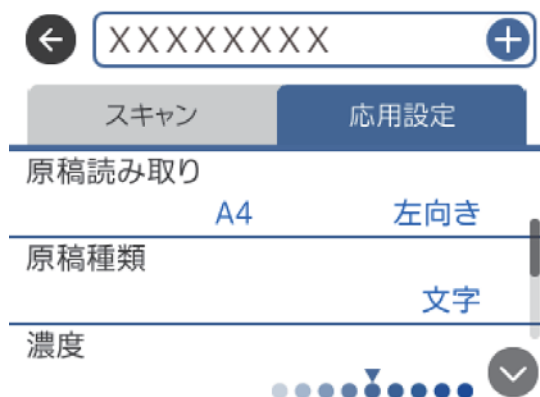
<https://www.epsonconnect.com/>

1. Epson Connectの設定が事前に完了していることを確認します。
2. 原稿をセットします。
3. ホーム画面で「スキャン」を選択します。
4. 「クラウド」を選択します。

5. 画面上部の **+** を選択して、宛先を選択します。



6. 「スキャン」タブで保存形式などを設定します。
7. 「応用設定」を選択して、必要に応じて設定を変更します。



8. 「スキャン」タブを選択して、**◇**をタップします。

関連情報

➔ [「原稿のセット」50ページ](#)

クラウド保存の基本設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

モノクロ/カラー：

原稿をカラーでスキャンするか、モノクロでスキャンするかを選択します。

JPEG/PDF：

スキャンした画像の保存形式を選択します。

クラウド保存の応用設定項目

参考 他の項目の設定内容によっては、これらの設定ができないことがあります。

原稿読み取り：

- 読み取りサイズ：
スキャンするサイズを選択します。文字や画像の周りの余白を自動的に切り取ってスキャンするときは、[自動キリトリ]を選択します。原稿台で読み取り可能な最大範囲をスキャンするときは、[最大範囲]を選択します。
- 原稿の向き：
原稿の向きを選択します。

原稿種類：

原稿の種類を選択します。

濃度：

スキャン画像の濃度を選択します。

影消し：

スキャンした画像から影を除去します。

- 枠幅：
スキャンした画像から、原稿のフチの影を除去します。
- 中央幅：
スキャンした画像から、冊子のとじしろの影を除去します。

パンチ穴消し：

スキャンした画像からパンチ穴の影を除去します。右側のテキストボックスに数値を入力すると、パンチ穴の影を消す幅を指定できます。

- 消し位置：
パンチ穴の影の位置を指定できます。
- 原稿の向き：
原稿の向きを選択します。

設定クリア

スキャン設定を購入時の状態に戻します。

コンピューターからスキャンする

スキャンソフトウェアのEpson ScanSmart（エプソン スキャンスマート）でスキャンします。
簡単なステップで、書類や写真のスキャンとデータ保存ができるソフトウェアです。

1. 原稿をセットします。

2. Epson ScanSmartを起動します。

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Epson ScanSmart] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Epson ScanSmart] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson ScanSmart] の順に選択します。

3. Epson ScanSmartの画面が表示されたら、案内に従ってスキャンを開始します。

 **参考** [ヘルプ] をクリックすると、詳しい操作方法を確認できます。

スマートデバイスからスキャンする

プリンターと同じ無線LANに接続したスマートフォンやタブレット端末などのスマートデバイスから、Epson iPrint（エプソン アイプリント）で写真や文書をスキャンできます。スキャンしたデータはスマートデバイスやクラウドサービスに保存したり、メールで送信したり、印刷したりできます。



Epson iPrintをインストールする

以下のURLまたはQRコードから、スマートデバイスにEpson iPrintをインストールできます。

<http://ipr.to/c>



Epson iPrintでスキャンする

スマートデバイスでEpson iPrintを起動して、ホーム画面で使いたい項目を選択します。

以下の画面は予告なく変更されることがあります。



①	起動時に表示されるホーム画面です。
②	プリンターの設定方法やFAQなどの情報ページを表示します。
③	プリンターの選択や設定をする画面を表示します。一度プリンターを選択すれば、次回からは選択しなくても使えます。
④	スキャン画面を表示します。
⑤	解像度などの設定画面を表示します。
⑥	スキャンした画像が表示されます。
⑦	スキャンを開始します。
⑧	スキャンしたデータをスマートデバイスやクラウドサービスに保存する画面を表示します。
⑨	スキャンしたデータをメールで送信する画面を表示します。
⑩	スキャンしたデータを印刷する画面を表示します。

ファクス

ファクスの準備

プリンターを電話回線に接続する

使用できる電話回線

一般加入電話回線（PSTN）や構内交換機（PBX）で使用できます。
以下の電話回線やシステムでは使用できないことがあります。

- ADSLや光ファイバーなどのIP電話回線
- デジタル回線（ISDN）
- 一部の構内交換機（PBX）
- キャッチホンなど各種サービスの提供を受けている電話回線
- 電話回線とプリンターとの間にターミナルアダプター、VoIPアダプター、スプリッター、ADSLモデムなどの各種アダプターを接続しているとき
- ドアホンやビジネスホン

プリンターを電話回線に接続する

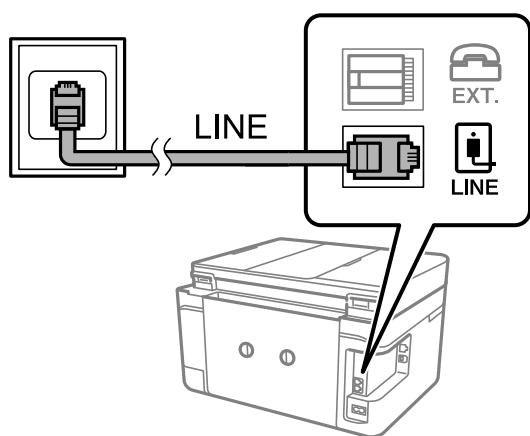
RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルで電話回線とプリンターを接続します。プリンターにお手持ちの電話機を接続するときも、RJ-11（6極2芯）のモジュラーケーブルを使います。

参考 プリンターのEXT. ポートのキャップは、お手持ちの電話機を外付け電話機として接続するときを外します。電話機を接続しないときはキャップを外さないでください。

落雷が頻繁に発生する地域では、サージプロテクターのご使用をお勧めします。

一般回線または構内交換機（PBX）に接続する

電話回線やPBXポートと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。



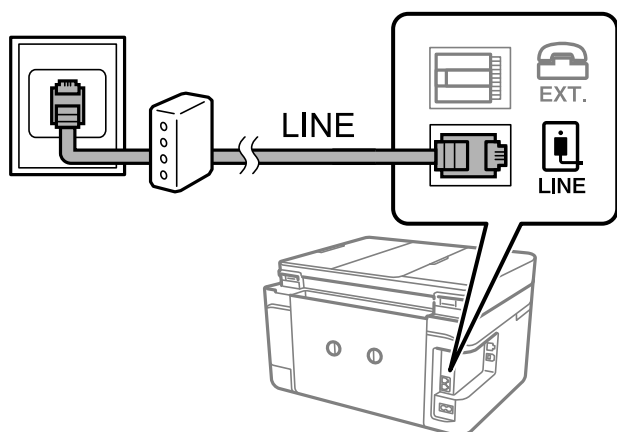
関連情報

➡ [「構内交換機（PBX）を設定する」120ページ](#)

ADSLまたはISDNに接続する

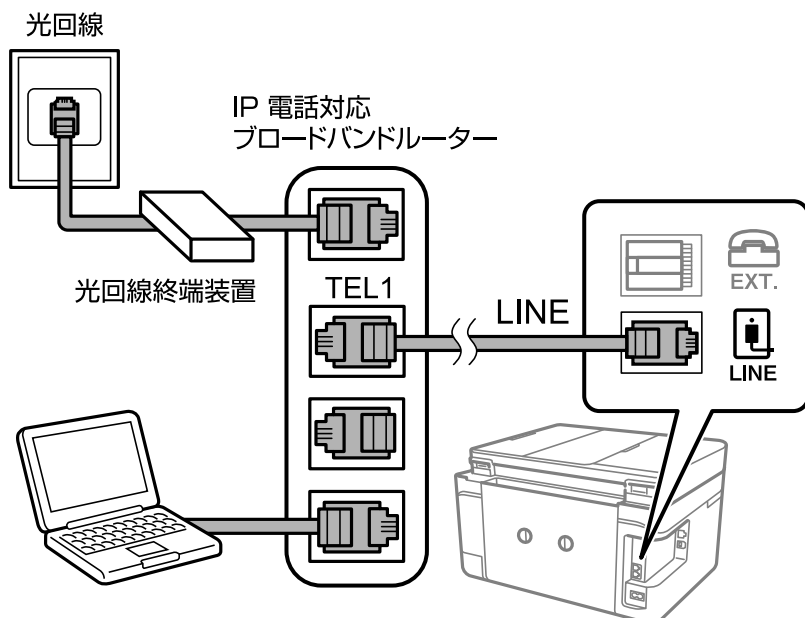
ADSLモデムまたはISDNターミナルアダプターと、プリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはモデムやターミナルアダプターのマニュアルをご覧ください。

参考 ADSLモデムにスプリッターが内蔵されていないときは、スプリッターを接続してください。



光回線に接続する

IP電話対応のブロードバンドルーターとプリンター背面部のLINEポートをモジュラーケーブルで接続します。詳しくはご契約の回線事業者にお問い合わせください。



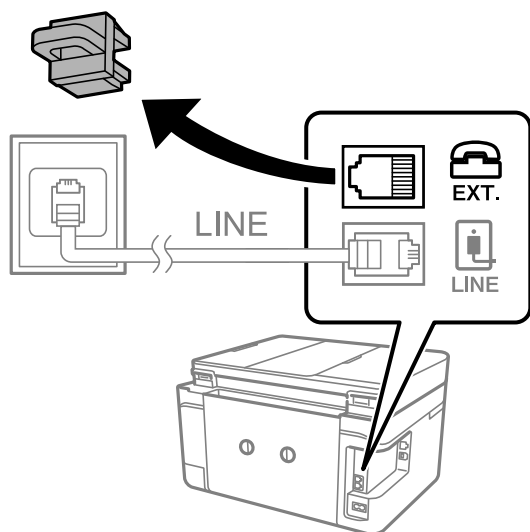
参考 2回線契約していないときは必ずルーターのTEL1（ポート名はルーターによって異なります。Aや1などの先頭の番号）に接続してください。

電話機とプリンターを接続する

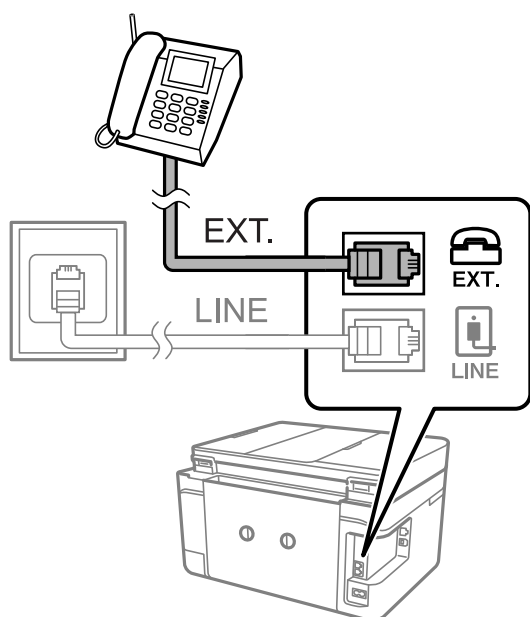
1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、お手持ちの電話機を外付け電話機としてプリンターに接続します。

- 参考**
- ファクス機能付き電話は、ファクス機能を無効にしてから接続してください。詳しくは電話機のマニュアルをご覧ください。電話機の機種によってはファクス機能を完全に無効にできないため、外付け電話機として使用できない場合があります。
 - 留守番電話機能を使うときは、ファクスを受信するまでの「呼び出し回数」を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
 - ナンバーディスプレイ機能を使うときは、プリンターの「ナンバー・ディスプレイ対応」設定を変更してください。

1. プリンター背面部のEXT.ポートからキャップを取り外します。



2. 電話機とEXT.ポートをモジュラーケーブルで接続します。



参考 1つの電話回線で、ファクスと電話の両方を使用するときは、必ず外付け電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。同回線にプリンターと並列で接続すると（ブランチ接続）、プリンターも電話機も正常な動作ができなくなります。

3. ホーム画面で「ファクス」を選択します。

4. 受話器を上げます。

以下のように送信開始（または受信開始）を促すメッセージが表示されれば、接続が成功しています。



関連情報

- ➔ [「留守番機能付き電話接続時の設定」 128ページ](#)
- ➔ [「発信元の電話番号を表示する設定にする（ナンバーディスプレイ機能）」 128ページ](#)

ファクスの基本設定

〔ファクス設定ウィザード〕で〔受信モード〕などの基本設定をしてから、その他の必要な設定をします。
 〔ファクス設定ウィザード〕は初回電源投入時に自動で表示されます。一度設定をすれば接続環境に変更がない限り、設定し直す必要はありません。

ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする

画面の指示に従って基本的な設定をします。

1. プリンターを電話回線に接続します。
参考 最後に接続状態を確認するため、必ずプリンターを電話回線に接続してから始めてください。
2. ホーム画面で〔設定〕を選択します。
3. 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス設定ウィザード〕の順に選択します。
4. 〔ファクス設定ウィザード〕画面で、〔設定開始〕をタップします。
 ウィザードが起動します。
5. 発信元名の入力画面で送信者の名前（会社名など）を入力して、〔OK〕をタップします。
参考 発信元名と発信元番号は、送信文書のヘッダー情報になります。
6. 発信元番号の入力画面で送信者のファクス番号を入力して、〔OK〕をタップします。

7. [受信モード設定] 画面で、プリンターに電話機を接続して使うかどうかを選択します。
 - 使う：[はい] を選択します。
 - 使わない：[いいえ] を選択します。[受信モード] は[自動] に設定されます。
8. [受信モード設定] 画面で、自動受信するかどうか選択します。
 - 自動受信する：[はい] を選択します。[受信モード] は[ファクス/電話自動切替] に設定されます。
 - 自動受信しない：[いいえ] を選択します。[受信モード] は[手動] に設定されます。
9. [設定確認] 画面で設定内容を確認し、[次へ] をタップします。
修正するときはをタップしてください。
10. [診断開始] を選択して、診断結果を印刷するメッセージが表示されたら[印刷開始] を選択します。
接続状態を確認できるファクス機能診断レポートが印刷されます。
 -  **参考**
 - レポートにエラーが表示されたら、レポートの指示に従って対処してください。
 - [接続回線選択] 画面が表示されたら接続回線を選択してください。
 - ー 構内交換機 (PBX) やターミナルアダプターに接続しているときは、[構内交換機 (PBX)] を選択します。
 - ー 一般加入電話回線 ([一般回線 (PSTN)]) に接続しているときは、[確認] 画面で[検出しない] を選択します。ただし、[検出しない] にするとファクス番号の先頭の番号がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

関連情報

- ➡ [「プリンターを電話回線に接続する」115ページ](#)
- ➡ [「受信モードを設定する」127ページ](#)
- ➡ [「構内交換機 \(PBX\) を設定する」120ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」145ページ](#)

項目を選んでファクスの基本設定をする

ウィザードを使わずに個別に設定もできます。また、ウィザードで設定済みの項目も変更できます。詳しくは、ファクス設定のメニューリストをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「ファクス設定メニューの説明」145ページ](#)

構内交換機 (PBX) を設定する

会社で内線や外線発信番号 (0や9などを使用した外線に発信するための番号) を使っているときは、次の設定をしてください。

1. ホーム画面で[設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] の順に選択します。
3. [接続回線] を選択して[構内交換機 (PBX)] を選択します。

4. 外線発信番号の代わりに#を利用して、外線番号にファクス送信したいときは、[外線発信番号]を選択して[使用する]に切り替えます。

ダイヤルするときに外線発信番号の代わりに#を入力すると、0や9などの外線発信番号に置き換えます。#を使うことで外線への接続時のトラブルを回避します。

参考 0や9などの外線発信番号付きで登録した宛先には外線発信できません。
この場合、[外線発信番号]を[使用しない]に設定してください。または[アドレス帳]に外線番号を#で登録し直してください。

5. [外線発信番号] ボックスをタップし、外線発信番号を入力して、[OK] をタップします。

6. [OK] を選択して設定を保存します。

外線発信番号をプリンターに記憶する手順は以上です。

受信情報の印刷設定をする

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスのフッターに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号やページ番号（P1など）が含まれます。[ページ分割設定]を有効にしているときは、分割ページ番号も含まれます。

1. ホーム画面で[設定]を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] の順に選択します。
3. [印刷設定]を選択し、[受信情報の付加]をタップして[オン]にします。

関連情報

➡ [「印刷設定」146ページ](#)

受信文書を両面印刷する

複数ページの受信文書を、両面印刷します。

1. ホーム画面で[設定]を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] の順に選択します。
3. [印刷設定]を選択して[両面設定]を選択します。
4. [両面印刷設定]をタップして[オン]にします。
5. [印刷とじ位置]で[短辺]または[長辺]を選択します。
6. [OK]を選択します。

関連情報

➡ [「印刷設定」 146ページ](#)

受信文書をページ分割して印刷する

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページ分割方法を指定します。

1. ホーム画面で〔設定〕を選択します。
2. 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔受信設定〕の順に選択します。
3. 〔印刷設定〕 - 〔ページ分割設定〕 - 〔分割後の印刷破棄〕の順に選択します。
4. ページ分割後の印刷データの削除方法を選択します。
 - 〔オフ〕を選択したときは、〔OK〕を選択して、手順6に進んでください。
 - 〔上を破棄〕または〔下を破棄〕を選択したときは、次の手順に進んでください。
5. 〔しきい値〕でしきい値を設定して、〔OK〕を選択します。
6. 〔分割時の重ねあわせ〕を選択します。
7. 〔分割時の重ねあわせ〕をタップして〔オン〕にします。
8. 〔重ね幅〕で幅を設定して、〔OK〕を選択します。

関連情報

➡ [「印刷設定」 146ページ](#)

プリンターからファクスを送信する

ファクス送信の基本操作

カラーまたはモノクロでファクスを送信します。

 **参考** モノクロ送信時は、スキャンした原稿をプリンターの画面で確認してから送信できます。

操作パネルから送信する

操作パネルを使ってファクスの宛先を入力して送信することができます。プリンターは宛先にダイヤルしてファクス送信します。

1. 原稿をセットします。

参考 一度に送信できる原稿は100ページまでです。ただし、メモリー残量によっては100ページ以下でも送信できない場合があります。

2. ホーム画面で「ファクス」を選択します。

3. 宛先を指定します。

モノクロ送信では、宛先として100件（「アドレス帳」に登録されたグループ99件を含む）まで入力できます。カラー送信は1件のみです。

- 直接入力：「直接入力」を選択し、ファクス番号を入力して、「OK」をタップします。
ダイヤル中にポーズ（約3秒の待ち時間）を入れたいときはハイフン（-）を入力してください。
「接続回線」で外線発信番号を設定したときは、外線発信番号の代わりにファクス番号の先頭に「#」を付けてください。
- アドレス帳から選択：「アドレス帳」を選択し、送りたい宛先をタップしてチェックマークを付けます。送りたい宛先が「アドレス帳」に登録されていないときは、「宛先登録」を選択して登録してください。
- 履歴から選択：「宛先履歴」を選択して、宛先を選択します。

参考 「セキュリティ設定」で「直接ダイヤル制限」が「オン」に設定されているときは、アドレス帳や履歴から宛先を指定します。直接入力はできません。

選択した宛先を解除するときは、画面のファクス番号または選択件数をタップして宛先リストを表示し、選択解除したい宛先をタップして「選択を解除」を選択します。

4. 「ファクス設定」タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。

5. 「宛先」タブを選択してから、ファクスを送信します。

- スキャンした文書をそのまま送信する：◇をタップします。
- スキャンした文書を確認してから送信する（モノクロ送信のみ）：「プレビュー」を選択します。
そのまま送信してよいときは「送信開始」を選択します。送信しないときは、「中止」を選択してプレビューをキャンセルし、手順3に戻ります。



矢印方向に画面を移動

縮小、拡大

前ページへ移動、次ページへ移動

参考

- プレビュー後のカラー送信はできません。
- [ダイレクト送信] が設定されているとプレビューできません。
- プレビュー中に無操作が20秒以上続くと、自動で送信を開始します。
- 相手先のファクス機の仕様に合わせるため、プレビューで確認した画質で送信されないことがあります。

6. 通信が完了したら原稿を取り除きます。

参考

- 相手先が話し中などでファクスが送れなかったときは、1分おきに自動でリダイヤルします。
- 送信を中止するときは、ⓧをタップします。
- カラー送信は、読み取りながら送信するため時間がかかります。また、カラー送信中は他の機能は使用できません。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」50ページ](#)
- ➡ [「ファクスメニューの説明」142ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳の管理」54ページ](#)

外付け電話機からダイヤルして送信する

ファクスを送信する前に通話したいときや、自動で切り替わらないファクス機にファクスを送信したいときに、外付け電話機を使って送信できます。

1. 原稿をセットします。
一度の通信で100ページまで送信することができます。
2. 外付け電話機の手話器を上げて相手先のファクス番号をダイヤルします。

参考

相手が電話に出たら、通話できます。

3. ホーム画面で [ファクス] を選択します。
4. [ファクス設定] タブを選択して、必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
5. ファクス信号（ピー音）が聞こえたら、ⓧをタップして電話を切ります。

参考

外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。送信中は他の機能は使用できません。

6. 通信が完了したら原稿を取り除きます。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」50ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定」143ページ](#)

便利な送信方法

大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）

モノクロ送信では、スキャンした文書をメモリーに保存します。そのため、大量の文書を読み込むとメモリーが不足して送信できなくなることがあります。外付け電話機からダイヤルしたときは、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。[ダイレクト送信] を有効にするとこのトラブルは回避できますが、原稿をスキャンしながら送信するため時間がかかります。ダイレクト送信時に指定できる宛先は1件のみです。

ホーム画面で [ファクス] を選択して、[ファクス設定] タブを選択します。[ダイレクト送信] をタップして [オン] にします。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」 50ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定」 143ページ](#)

指定した時刻に送信する（時刻指定送信）

指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。

1. ホーム画面で [ファクス] を選択します。
2. 宛先を指定します。
3. [ファクス設定] タブを選択して、[時刻指定送信] を選択します。
4. [時刻指定送信] をタップして [オン] にします。
5. [指定時刻] を選択し、送信予定時刻を入力して、[OK] を選択します。
6. [OK] を選択して設定を保存します。
必要に応じて画質や送信方法などを設定します。
7. ファクスを送信します。



指定した時間にファクスが送信されるまで、別のファクスは送信できません。別のファクスを送りたいときは、ホーム画面で [ファクス] を選択して送信予約しているファクスジョブを削除してください。

関連情報

- ➡ [「原稿のセット」 50ページ](#)
- ➡ [「操作パネルから送信する」 122ページ](#)
- ➡ [「ファクス設定」 143ページ](#)

発信元情報を選んで送信する

受信相手に合わせて発信元情報を付加してファクス送信できます。あらかじめプリンターに複数の発信元情報の登録が必要です。登録方法は以下です。

発信元情報を追加登録する

発信元情報は21件まで登録できます。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」の順に選択します。
3. 「発信元設定」を選択し、「発信元番号」をタップして、電話番号を入力して「OK」をタップします。
4. 「発信元名」の下に表示されたボタンの1つをタップし、発信元情報を入力して「OK」をタップします。

関連情報

➡ [「基本設定」147ページ](#)

発信元情報を選んで送信する

ファクス送信するときに、受信相手に合わせて発信元情報を選択できます。この機能を使用するには、あらかじめプリンターに複数のヘッダー登録が必要です。

1. ホーム画面で「ファクス」を選択します。
2. 「ファクス設定」 - 「発信元情報の付加」の順に選択します。
3. どの位置に発信元名を記載するか選択します。
 - 付加しない：発信元情報を入れずに送信します。
 - 原稿外：スキャンした画像に発信元情報が重ならないように、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形用の紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
 - 原稿内：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報がかぶって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。
4. 「発信元名」を選択し、使用したい発信元情報を選択します。
5. 必要に応じて、「追加情報」の1つをタップします。
6. 「OK」を選択して設定を保存します。

関連情報

➡ [「ファクス設定」143ページ](#)

異なるサイズの原稿をADFから送信する（ADF連続読込）

サイズが異なる原稿を混在させてセットすると、一番大きな原稿サイズで全ての原稿が送信されてしまいます。サイズごとまたは1枚ずつ原稿をセットすることで、適切なサイズで送信できます。

原稿をセットする前に、次の設定を行ってください。

ホーム画面で「ファクス」を選択して、「ファクス設定」タブを選択します。「ADF連続読込」をタップして「オン」にします。

スキャンされた文書は蓄積されて1つの文書として送信されます。

参考 次の原稿をセットする案内が表示されてから20秒以上操作がないと、蓄積を終了して送信を開始します。

プリンターでファクスを受信する

受信モードを設定する

「受信モード」は「ファクス設定ウィザード」でも設定できます。初めてファクスの設定をするときは、「ファクス設定ウィザード」を使って設定することをお勧めします。「受信モード」だけ変更したいときは以下の手順に従ってください。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 - 「受信モード」の順に選択します。
3. 使い方に応じて「受信モード」を選択します。

！重要 外付け電話機を接続しないときは、必ず「自動」に設定してください。

- 電話回線をファクス専用で使う：
「自動」を選択します。
「呼び出し回数」で設定した回数の着信音が鳴り終わると、自動でファクス受信に切り替わります。

参考 「呼び出し回数」を少なく設定するのがお勧めです。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます。（無鳴動着信）

- 1つの電話回線でファクスも電話も使う（ファクスが主）：
「ファクス/電話自動切替」を選択してください。
「呼び出し回数」で設定した回数の着信音が鳴り終わると、ファクスか音声通話かをプリンターが自動で判断します。ファクスのときは自動で受信を開始し、音声通話のときは外付け電話機を「電話呼び出し回数」で設定した回数鳴らします。

！重要

- 音声通話の呼び出し時は、通話しなくても発信者に課金されます。
- 外付け電話機のナンバーディスプレイ機能は使えません。

- 1つの電話回線でファクスも電話も使う（電話が主）：
[手動] を選択します。
外付け電話機で電話を受け、音声電話のときは相手と通話でき、ファクスのときはプリンター操作で受信を開始します。ファクスのときはプリンター操作で受信を開始します。

参考

- [リモート受信] を設定すると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。
- 外付け電話機のナンバーディスプレイ機能が使えます。

関連情報

- ➔ [「ファクス設定ウィザードでファクスの基本設定をする」119ページ](#)
- ➔ [「手動で受信する」129ページ](#)
- ➔ [「外付け電話機の操作で受信する（リモート受信）」129ページ](#)

留守番機能付き電話接続時の設定

留守番機能を使用するには設定が必要です。

- プリンターの [受信モード] を [自動] に設定してください。
- プリンターの [呼び出し回数] を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。少ないと留守番電話への録音や通話できません。留守番電話機の設定は、留守番電話機のマニュアルをご覧ください。
- 外付け電話機の留守番電話機能を使用しないときは、プリンターの [受信モード] を [ファクス/電話自動切替] に設定することをお勧めします。

関連情報

- ➔ [「基本設定」147ページ](#)

発信元の電話番号を表示する設定にする（ナンバーディスプレイ機能）

プリンターで以下を設定します。

参考

電話番号を表示するには、ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [ナンバー・ディスプレイ対応] の順に選択します。
3. 設定を選択します。
 - オン：プリンターだけに電話番号を表示します。プリンターのアドレス帳に登録されている相手先は登録名称で表示されます。
 - 外付け電話機優先：外付け電話とプリンターの両方に電話番号を表示します。

いろいろな受信方法

手動で受信する

外付け電話機を接続して、プリンターの「受信モード」を「手動」に設定しているときは、以下の手順で受信します。

1. 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。
2. ファクス信号（ポー音）が聞こえたら、プリンターのホーム画面で「ファクス」を選択します。



「リモート受信」を設定すると、外付け電話機の操作だけで受信を開始できます。

3. 「送受信切替」をタップします。
4. 「受信」を選択します。
5. ◇をタップして、受話器を置きます。

関連情報

- ➡ 「外付け電話機の操作で受信する（リモート受信）」129ページ
- ➡ 「受信文書を受信ボックスに保存する」132ページ

外付け電話機の操作で受信する（リモート受信）

手動受信では、受話器を上げた後にプリンターの操作が必要です。「リモート受信」を設定しておく、外付け電話機の操作だけでファクス受信できます。

「リモート受信」はトーン信号（ピップポップ）に対応した電話機で使用できます。

関連情報

- ➡ 「手動で受信する」129ページ

リモート受信を設定する

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 - 「リモート受信」の順に選択します。
3. 「リモート受信」をタップして「オン」にします。
4. 「起動コード」を選択し、2桁のコード（0-9、*、#の組み合わせ）を入力して「OK」をタップします。
5. 「OK」を選択して設定を保存します。

関連情報

➡ [「基本設定」147ページ](#)

リモート受信を利用する

1. 外付け電話機の呼び出し音が鳴ったら受話器を上げます。
2. ファクス信号（ポー音）が聞こえたら、設定した起動コードを外付け電話機で入力します。
3. プリンターが受信を開始するのを確認してから受話器を置きます。

ポーリング受信する

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積された文書を受信します。ファクス情報サービスなどから情報を受け取る際に使用します。ただし、音声ガイダンスに従って操作するファクス情報サービスには対応していません。

参考 音声ガイダンス付きのファクス情報サービスを利用するときは、外付け電話機からダイヤルし、音声ガイダンスに従って外付け電話機やプリンターを操作します。

1. ホーム画面で「ファクス」を選択します。
2.  をタップします。
3. 「ポーリング受信」をタップして「オン」にしたら、「閉じる」をタップします。
4. ファクス番号を入力します。

参考 「セキュリティ設定」で「直接ダイヤル制限」が「オン」に設定されているときは、アドレス帳や履歴でのみ宛先を指定できます。直接入力はできません。

5.  をタップします。

関連情報

➡ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」124ページ](#)

迷惑ファクスの着信・受信拒否の設定をする

迷惑ファクスの着信拒否、受信拒否の設定ができます。

関連情報

➡ [「迷惑ファクスの着信拒否の設定をする」131ページ](#)

➡ [「迷惑ファクスの受信拒否の設定をする」131ページ](#)

迷惑ファクスの着信拒否の設定をする

ナンバーディスプレイ機能を使った、迷惑ファクスの着信拒否の設定をします。

参考 ナンバーディスプレイ回線の契約が必要です。

1. ホーム画面から「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 - 「着信・ファクス受信拒否」の順に選択します。

参考 パスワード入力画面が表示されたらパスワードを入力してください。パスワードがわからないときは管理者に問い合わせてください。
3. 「着信拒否」をタップして、項目を設定します。
 - 「拒否番号リスト」：拒否番号リストに載っている番号の着信を拒否します。
 - 「非通知」：非通知番号の着信を拒否します。
4. 拒否番号リストを使う場合は、をタップして「拒否番号リスト編集」をタップし、拒否番号リストを編集します。

関連情報

➡ [「基本設定」147ページ](#)

迷惑ファクスの受信拒否の設定をする

迷惑ファクスの受信拒否の設定をします。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「基本設定」 - 「着信・ファクス受信拒否」の順に選択します。
3. 「ファクス受信拒否」を選択して、項目を設定します。
 - 拒否番号リスト：拒否番号リストに載っている番号の受信を拒否します。
 - 非通知：送信元情報が設定されていないファクスの受信を拒否します。
 - アドレス帳未登録：宛先帳に登録されていない番号の受信を拒否します。
4. 「拒否番号リスト」を使う場合は、をタップしてから「拒否番号リスト編集」を選択して拒否番号リストを編集します。

関連情報

➡ [「基本設定」147ページ](#)

受信文書の保存

以下の保存機能があります。

- プリンターの受信ボックスに保存する

- コンピューターに保存する

参考

- これらは全て同時に処理することもできます。その場合、それぞれの保存先に同じ文書が保存されます。
- 未読または未処理の受信文書があると、ホーム画面の  に未処理件数が表示されます。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する」 132ページ](#)
- ➡ [「コンピューターでファクスを受信する」 138ページ](#)

受信文書を受信ボックスに保存する

受信文書を受信ボックスに保存できます。最大で100件保存できます。この設定をすると受信文書は自動で印刷されません。プリンターの画面で確認して、必要なものだけ印刷できます。

参考

保存した文書のファイルサイズや他の保存機能との併用などにより、100件まで保存できないことがあります。

関連情報

- ➡ [「受信ボックスに保存する設定をする」 132ページ](#)
- ➡ [「受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する」 133ページ](#)

受信ボックスに保存する設定をする

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
2. 「本体設定」 - 「ファクス設定」 - 「受信設定」 - 「受信文書設定」の順に選択します。
3. メッセージが表示されたら確認して「OK」をタップします。
4. 「受信ボックスに保存」を選択します。
5. 「受信ボックスに保存」をタップして設定を「オン」にします。
6. 「容量限界時の動作」を選択して、受信ボックスがいっぱいになったときの動作を選択します。
 - 「受信して印刷する」：受信ボックスに保存できない受信文書を全て印刷します。
 - 「受信しない」：相手側からの呼び出しに応答しません。
7. 必要に応じて受信ボックスにパスワードを設定します。「パスワード設定」を選択して、パスワードを設定します。

参考

「受信して印刷する」を選んだときは、パスワードは設定できません。

受信ボックス内の文書をプリンターの画面で確認する

1. ホーム画面で  をタップします。



未読の受信文書があると、ホーム画面の  に未処理件数が表示されます。



2. [受信ボックスを開く(未読 XX)] をタップします。
3. 受信ボックスにパスワードを設定しているときは、受信ボックス用のパスワードを入力します。
4. 確認する文書をリストから選択します。
文書の内容が表示されます。



-     : 矢印方向に画面を移動
-   : 縮小、拡大
-  : 右に90° 回転
-   : 前ページへ移動、次ページへ移動
- 操作アイコンのない部分をタップすると、操作アイコンを消してファクスだけを表示できます。もう一度タップすると操作アイコンを表示します。

5. 確認した文書を印刷するか削除するか選択して、画面の指示に従います。

！重要

プリンターのメモリの空き容量が不足するとファクスの送受信ができなくなります。確認または印刷した文書は速やかに削除してください。

関連情報

➡ [「ファクス設定メニューの説明」 145ページ](#)

コンピューターからファクスを送信する

コンピューターからのファクス送信は、FAX UtilityとPC-FAXドライバーで行います。

- 参考**
- FAX UtilityとPC-FAX ドライバーがインストール済みかをあらかじめ確認しておいてください。
[「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\) 」 177ページ](#)
[「ファクス送信するソフトウェア \(PC-FAXドライバー\) 」 177ページ](#)
 - FAX Utilityがインストールされていない場合は、ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater (エプソン ソフトウェアアップデーター) を使用してインストールしてください。

関連情報

➡ [「ソフトウェアの更新ツール \(EPSON Software Updater\) 」 179ページ](#)

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 180ページ](#)

アプリケーションで作成した文書を送信する (Windows)

Microsoft WordやExcelなどの [印刷] メニューから、ご使用のファクス対応プリンター (PC-FAXライバー) を選択すれば、作成した文書/図/表などのデータに送付状を付けて直接送信できます。

- 参考** ここでは、Microsoft Word 2010を例に説明します。ご使用のアプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。

1. アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
2. [ファイル] メニュー内の [印刷] をクリックします。
アプリケーションソフトの [印刷] ウィンドウが表示されます。

3. プリンターから [XXXXXX (FAX)] (XXXはご使用のプリンター名) を選択して、ファクス送信のための設定を確認します。



- [印刷部数] では、[1] を入力してください。[2] 以上を入力すると正常に送信できないことがあります。
- 1度の通信で100ページまで送信できます。

4. [プリンターのプロパティ] (または [プロパティ]) をクリックして、[用紙サイズ]、[用紙方向]、[色]、[画質]、[文字の濃さ] を設定します。

詳細はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。

5. [印刷] をクリックします。

参考 お使いのコンピューターで初めて送信するとき、発信者（ご自分）の情報を登録する画面が表示されます。必要事項を入力して、[OK] をクリックしてください。

FAX Utilityの [送付先設定] 画面が表示されます。

6. 同時に他の文書を送るには、[送信文書を追加する] にチェックを付けます。

手順9で [次へ] をクリックすると、文書を追加する画面が表示されます。

7. 必要に応じて [送付状を付ける] を設定します。

8. 送付先を指定します。

- [PC-FAX電話帳] から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、以下をします。

- ① [PC-FAX電話帳] タブをクリックする
- ② 一覧から送付先を選択して [追加] をクリックする

- プリンターの電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：
送付先がプリンターの電話帳に登録されているときは、以下をします。
 - ① [プリンターのアドレス帳] タブをクリックする
 - ② 一覧から送付先を選択して [追加] をクリックする（[送付先に追加] 画面が開きます）
 - ③ 一覧から送付先を選択して [編集] をクリックする
 - ④ 必要に応じて個人データ（[会社名/団体名] や [敬称] ）を追加し、[OK] をクリックする（[送付先に追加] 画面に戻ります）
 - ⑤ 必要に応じて [PC-FAX電話帳に登録する] にチェックを付ける
 - ⑥ [OK] をクリックする
- 送付先（名前/ファクス番号など）を直接入力する場合：
送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、以下をします。
 - ① [直接入力] タブをクリックする
 - ② 情報を入力する
 - ③ [追加] をクリックするまた、[電話帳に登録] をクリックすると、[PC-FAX電話帳] タブの一覧に登録されます。

- 参考**
- プリンターで接続回線設定を [構内交換機(PBX)] にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「接続回線」内の「基本設定」をご覧ください。
 - FAX Utility（メイン画面）の [オプション設定]（PC-FAXの設定）で [送信時にファクス番号を2回入力する] を有効にしている場合は、[追加] または [次へ] をクリックした後、もう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。

画面上部の [送付先一覧] に追加されます。

9. [次へ] をクリックします。

- [送信文書を追加する] にチェックを付けた場合は、[送信文書追加] 画面で送付状の内容を設定します。
 - ① 追加する文書を開いて、[印刷] で同じプリンター名 (FAX) を選択します。文書が [結合する文書一覧] に追加されます。
 - ② [プレビュー] をクリックして結合された文書を確認します。
 - ③ [次へ] をクリックします。

- 参考** 最初の文書で選択していた [画質] と [色] が他の文書にも適用されます。

- [送付状を付ける] にチェックを付けた場合は、[送付状設定] 画面で送付状の内容を設定します。
 - ① [送付状] 一覧から送付状のデザインを選択します。デザインの追加や作成はできません。
 - ② [件名] と [コメント] を入力します。
 - ③ [次へ] をクリックします。

- 参考** [送付状設定] 画面で、必要に応じて以下を設定します。
- [送付状書式設定] をクリックすると、送付状に表示される項目の並び順を変更できます。[用紙サイズ] で送付状のサイズを選択できます。送信する文書と異なる用紙サイズを選択することもできます。
 - [フォント] をクリックして、送付状に表示される文字のフォントを変更します。
 - [発信元設定] をクリックして、発信元情報を変更します。
 - [詳細プレビュー] をクリックして、件名やコメントが反映された送付状のイメージを確認します。

10. 送信内容を確認して [送信] をクリックします。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。[プレビュー] をクリックすると、送付状と送信する文書のイメージを確認できます。
送信が始まると、送信状態を確認できる画面が表示されます。

参考

- 送信を中止するときは、送信データを選択して [中止]  をクリックしてください。プリンターのパネル操作で中止することもできます。
- 送信中にエラーになると [通信エラー] 画面が表示されます。エラー内容を確認して再送信してください。
- ファクス送信モニター（上記の送信状態を確認できる画面）が表示されないときは、FAX Utilityを起動し、オプション設定で送信時にファクス送信モニターを表示にチェックを付けてください。

関連情報

➔ [「基本設定」147ページ](#)

アプリケーションで作成した文書を送信する (Mac OS)

市販アプリケーションソフトの [印刷] メニューからファクス対応プリンター (PC-FAXドライバー) を選択すると、作成した文書や図、表などのデータを直接送信できます。

参考

ここでは、Mac OS添付のテキストエディットを例に説明します。

- アプリケーションソフトで、ファクス送信する文書を作成します。
- [ファイル] メニュー内の [印刷] をクリックします。
アプリケーションの [印刷] ウィンドウが表示されます。
- [名前] からご使用のプリンター (ファクス名) を選択し、▼をクリックして詳細設定を表示し、[OK] をクリックします。
- 次の設定をします。
 - [印刷部数] では、[1] を入力してください。[2] 以上を入力しても、実際に送信されるのは1部のみです。
 - 1度の通信で100ページまで送信できます。

参考

ファクスできる文書のページサイズは、プリンターからファクスできる用紙のサイズと同じです。

- ポップアップメニューでファクス設定を選択して、各項目を設定します。
各設定項目の説明はPC-FAXドライバーのヘルプをご覧ください。
PC-FAXドライバーのヘルプは、画面左下の  をクリックします。
- ポップアップメニューで送付先設定を選択して、送付状を設定します。
 - 送付先 (名前/ファクス番号など) を直接入力する場合：
[追加] 項目に必要な事項を入力して  をクリックしてください。画面上部の送付先一覧に追加されます。
PC-FAXのドライバー設定で「送信時にファクス番号を2回入力する」が有効になっている場合は、 をクリックするともう一度ファクス番号を入力する画面が表示されます。
ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

参考

プリンターで接続回線設定を [構内交換機(PBX)] にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

- 電話帳から送付先（名前/ファクス番号など）を選択する場合：

送付先が連絡先（またはアドレスブック）に登録されているときは、をクリックします。一覧から送付先を選択して「追加」をクリックし、「OK」をクリックしてください。

ご使用のファクス接続回線が外線発信番号を必要とするときは、外線発信番号を入力します。

- 参考** プリンターで接続回線設定を「構内交換機(PBX)」にしてある場合は、外線発信番号を「#」で登録することをお勧めします。詳しくは、関連情報にある「基本設定」内の「接続回線」を参照ください。

7. 宛先設定して、「ファクス」をクリックします。

送信が始まります。

送付先の名前とファクス番号が間違っていないか、十分に確認してから送信してください。

- 参考**
- Dock内のプリンターアイコンをクリックすると送信状況確認画面が表示されます。送信を中止するときは、送信データをクリックして「削除」をクリックしてください。
 - 送信中にエラーになると「送信失敗」というメッセージが表示されます。「ファクス送信記録」画面で送信記録を確認してください。
 - 用紙サイズの異なるページが混在するドキュメントは、正常に送信できないことがあります。

関連情報

➡ [「基本設定」147ページ](#)

コンピューターでファクスを受信する

プリンターで受信したファクス文書を、プリンターに接続したコンピューターにPDF形式で保存できます。保存はFAX Utilityで行います。保存先フォルダーの指定なども、FAX Utilityから行います。

- 参考** FAX Utilityは、以下からインストールします。

- ソフトウェア更新用のソフトウェア EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェアアップデーター）を使用
- 付属のソフトウェアディスクを使用（Windowsをお使いのときのみ）

！重要

- コンピューターで受信するときは、プリンターのファクス受信設定を「自動」または「ファクス/電話自動切替」に設定してください。
- 保存先のコンピューターは起動しておいてください。受信ファクスはプリンターのメモリーに一時保存されます。電源を切ったままにしておくと、プリンターのメモリーが不足して送受信できなくなります。
- 一時保存の文書件数はホーム画面の  に表示されます。
- 受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー（Adobe Readerなど）が必要です。

関連情報

➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」179ページ](#)

受信ファクスをコンピューターに保存する

設定はFAX Utilityで行います。事前にコンピューターにFAX Utilityをインストールしてください。

操作方法は、FAX Utilityの「オンラインヘルプ」-「基本の操作」をご覧ください。

参考 プリンターで受信すると同時に印刷もできます。

関連情報

➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\)」 177ページ](#)

コンピューターでファクスを受信してプリンターで印刷もする

プリンターで以下を設定します。事前に、受信ファクスをコンピューターに保存する設定をしておいてください。

1. [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] の順に選択します。
2. [受信文書設定] - [PC-FAXで受信] - [オン(印刷もする)] の順に選択します。

関連情報

➡ [「受信ファクスをコンピューターに保存する」 138ページ](#)

➡ [「受信設定」 146ページ](#)

コンピューターでのファクス受信をやめる

コンピューターへの保存をやめるには、プリンターから設定します。

参考 FAX Utilityからも変更できますが、コンピューターに未保存の受信ファクスがプリンターに残っていると変更できません。

1. [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定] の順に選択します。
2. [受信文書設定] - [PC-FAXで受信] - [オフ] の順に選択します。

関連情報

➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\)」 177ページ](#)

➡ [「受信設定」 146ページ](#)

新着ファクスを確認する (Windows)

受信ファクスを保存する設定をしたコンピューターでは、Windowsのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。ファクス受信を通知する設定にすると、デスクトップ画面右下に受信通知ウィンドウが表示され新着ファクスを確認できます。

- 参考**
- コンピューターに受信ファクスデータが保存されると、プリンターの内部メモリーからは削除されます。
 - PDFファイルとして保存された受信ファクスの閲覧にはPDFビューアー (Adobe Readerなど) が必要です。

タスクバーのファクスアイコンを使う (Windows)

受信ファクスを保存するコンピューターのタスクバーにファクスアイコンが表示され、処理の状況や新着ファクスの有無を確認できます。

1. アイコンを確認します。

-  : 待機中
-  : 新着ファクスの有無を確認中
-  : 新着ファクスの取り込みが完了した状態

2. アイコンを右クリックして「受信記録を見る」をクリックします。

「ファクス受信記録」画面が表示されます。

3. リストで日時と送信元を確認して受信データ (PDF) を開きます。



- 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn (年/月/日/時/分/秒_送信元番号)
- 新着ファクスを保存したフォルダーを直接開くこともできます。操作方法は、FAX Utilityの「オプション設定」とヘルプをご覧ください。

待機中のときは、「新着ファクスの確認」を選択します。新着ファクスがあるかどうかすぐに確認できます。

受信通知ウィンドウを使う (Windows)

新着ファクスをコンピューターに通知する設定にすると、新着ファクスがあるたびに画面右下に受信通知ウィンドウが表示されます。

1. 表示された受信通知ウィンドウを確認します。



何もせずに一定時間が経過すると、受信通知ウィンドウは非表示になります。受信通知ウィンドウの表示時間や通知の有無は設定できます。

2. 受信通知ウィンドウの、 ボタン以外の場所をクリックします。

「ファクス受信記録」画面が表示されます。

3. リストで日時と送信元を確認して受信データ (PDF) を開きます。



- 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_xxxxxxxxxx_nnnnn (年/月/日/時/分/秒_送信元番号)
- 新着ファクスを保存したフォルダーを直接開くこともできます。操作方法は、FAX Utilityの「オプション設定」とヘルプをご覧ください。

新着ファクスを確認する (Mac OS)

新着ファクスは、以下の方法で確認できます。["ファクス保存" (このコンピュータで保存する)] を設定したコンピューターのみ可能です。

- 保存フォルダー（[受信ファクスの出力設定] で指定）を開く
- ファクス受信モニターを開き、[新着ファクスの確認] をクリックする
- ファクスの新着通知を受け取る
FAX Utilityの[ファクス受信モニター] - [環境設定] で[ファクス受信をDockで通知する] をチェックするとDockのファクス受信モニターアイコンがジャンプして新着ファクスを知らせます。

ファクス受信モニターから保存フォルダーを開く (Mac OS)

["ファクス保存" (このコンピュータで保存する)] を設定したコンピューターでは、ファクス受信モニターから保存フォルダーを開けます。

1. Dockのファクス受信モニターアイコンをクリックして[ファクス受信モニター] を開きます。
2. プリンターを選択して[保存フォルダーを開く] をクリックするか、プリンター名をダブルクリックします。
3. ファイル名の日時と送信元を確認して目的のファクスデータ (PDF) を開きます。

参考 受信ファクスデータには以下のルールで自動的にファイル名が付けられています。
YYYYMMDDHHMMSS_XXXXXXXXX_nnnnn (年/月/日/時/分/秒_送信元番号)
送信元番号は送信元から送られた情報が表示されます。送信元によっては番号がないこともあります。

その他のファクス機能を使う

各種ファクスレポートやリストを印刷する

手動でファクスレポートを印刷する

1. ホーム画面で[ファクス] を選択します。
2.  (応用) をタップします。
3. [レポート印刷] を選択します。
4. 項目を選択して画面の指示に従います。

参考 レポート形式は変更できます。ホーム画面で[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] の順に選択して、[レポート内画像添付] または [レポート形式] を設定してください。

関連情報

- ➡ [「応用」 144ページ](#)
- ➡ [「レポート設定」 147ページ](#)

ファクスレポートの自動印刷設定をする

以下のレポートを自動で印刷できます。

通信結果レポート印刷

ホーム画面で [ファクス] - [ファクス設定] - [通信結果レポート印刷] の順に選択して、[オン] または [エラー時のみ] を選択します。

通信管理レポート

ホーム画面で [設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] - [通信管理レポート] の順に選択して、[オン(30件毎)] または [オン(指定時刻)] を選択します。

関連情報

- ➡ [「ユーザー設定メニューの説明」 149ページ](#)
- ➡ [「レポート設定」 147ページ](#)

ファクスのセキュリティーを設定する

ファクスの誤送信や受信ファクスの紛失や漏えいを防ぐためのセキュリティーが設定できます。またバックアップデータの削除方法も選択できます。

1. ホーム画面で [設定] を選択します。
2. [本体設定] - [ファクス設定] - [セキュリティー設定] の順に選択します。
3. 項目を選択して、設定します。

関連情報

- ➡ [「セキュリティー設定」 149ページ](#)

ファクスメニューの説明

宛先

操作パネルで以下の順に選択します。

[ファクス] - [宛先]

直接入力：

宛先のファクス番号を直接入力します。

アドレス帳：

アドレス帳から宛先を選択します。宛先の新規登録や変更もできます。

宛先履歴：

発着信履歴から宛先を選択します。着信履歴はナンバーディスプレイ機能を有効にしていると表示されます。履歴からアドレス帳に登録することもできます。

ファクス設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[ファクス] - [ファクス設定]

読み取り設定：

- 原稿サイズ(原稿台)
原稿台にセットした原稿の、サイズと方向を選択します。
- カラーモード
カラーまたはモノクロのどちらでスキャンするか選択します。
- 画質
送信する文書の画質を選択します。
- 濃度
送信する文書の濃度を設定します。
- 背景除去
[自動]にすると、原稿の紙の色（背景色）を検知して背景を除去または薄くします。背景色が濃い、または検出できないときは、除去または薄くしないことがあります。
- ADF連続読込
通常、ADFで複数枚の原稿をスキャンする場合、途中で原稿を追加することはできません。サイズが異なる原稿を混在させてADFにセットすると、一番大きな原稿サイズとして全ての原稿が送信されてしまうため、サイズは混在しないでください。この設定を有効にすると、セットした原稿のスキャンが終わるたびに追加原稿の有無を確認するメッセージが表示されます。サイズごとに分けて原稿をセットすれば、サイズごとにスキャンされるため、原稿と同じサイズでまとめて一度に送信できます。

送信設定：

- ダイレクト送信
宛先（1件のみ）につながってから原稿をスキャンしてモノクロで送信します。スキャンしながら同時に送信するのでメモリーを使いません。通常のモノクロ送信は、スキャンした文書をメモリーに保存してから送信するため（メモリー送信）、大量の原稿をスキャンするとメモリーが不足して送信できなくなります。この設定を有効にすると、時間はかかりますが送信可能になります。ただし、宛先が複数のときは使えません。

- 時刻指定送信
指定した時刻にファクス送信できます。時刻指定送信できるのはモノクロ送信のみです。
- 発信元情報の付加
 - 発信元情報の付加：
発信元情報（発信元の名前とファクス番号）を送信文書に入れる位置、または、入れずに送信するかを選択します。
 - ・付加しない：発信元情報を入れずに送信します。
 - ・原稿外：スキャンした画像に発信元情報が重ならないように、上部の余白に発信元情報を入れて送信します。原稿のサイズによっては、相手側で定形の用紙サイズに収まらず2ページに分かれて印刷されることがあります。
 - ・原稿内：スキャンした画像の先端（上から約7mm）部分に発信元情報を入れて送信します。画像の先端部分は発信元情報がかぶって消えることがありますが、相手側で2ページに分かれて印刷されることを防げます。
 - 発信元名：
宛先に合わせて発信元情報を選択します。あらかじめ発信元情報を複数登録しておく必要があります。
 - 追加情報：
追加したい情報を、[発信元番号] と [宛先情報] から1つ選択できます。
- 通信結果レポート印刷
ファクスを送信すると結果レポートを印刷します。[エラー時のみ] を選択すると送信でエラーが起こったときのみ自動で印刷します。[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] - [レポート内画像添付] を設定しておく、と、結果のレポートと一緒に、エラーとなったファクス文書も印刷されます。
- 設定クリア
全ての [ファクス設定] を初期値に戻します。

応用

操作パネルで以下の順に選択します。

[ファクス] -  (応用)

通信履歴表示：

ファクスの送受信履歴が確認できます。

レポート印刷：

- 通信結果レポート
最後に実行したファクス送信またはポーリング受信の通信結果を印刷します。
- 通信管理レポート
送受信結果の履歴を印刷します。以下のメニューで、この通信管理レポートを自動印刷する設定ができます。
[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [レポート設定] - [通信管理レポート]
- ファクス機能設定リスト
現状のファクス設定を印刷します。

- プロトコルログ
最後に送受信したファクスの詳細な通信レポートを印刷します。

ポーリング受信：

相手先にダイヤルして、相手先のファクス機に蓄積されたポーリング用文書を受信します。ファクス情報サービスなどからファクスで情報を入手できます。

受信ボックス：

受信ボックス（受信したファクスの保存先）を開きます。

受信文書の再印刷：

受信したファクスを再度印刷します。

ファクス設定：

〔ファクス設定〕を開きます。この画面は、ホーム画面の〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕からアクセスしたときと同じものです。詳しくは、〔ファクス設定〕の設定を説明しているページをご覧ください。

関連情報

➡ [「ファクス設定メニューの説明」145ページ](#)

ファクス設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕

ファクス診断

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス診断〕

プリンターが電話回線に接続されていて送受信ができる状態かどうかを診断し、結果をA4サイズの普通紙に印刷します。

ファクス設定ウィザード

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔ファクス設定ウィザード〕

ファクスの送受信に必要な最低限の設定を画面に従って設定をします。詳しくは、ファクスの基本設定を説明しているページをご覧ください。

受信設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [受信設定]

受信文書設定

受信文書を受信ボックスやコンピューターに保存する設定をします。操作パネルで以下の順に選択します。

受信ボックスに保存：

受信した文書をプリンターの受信ボックスに保存します。

PC-FAXで受信：

受信した文書をPDFに変換して、プリンターに接続されているコンピューターに保存します。

印刷設定

自動縮小印刷：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙のサイズより大きいときに、用紙サイズに合わせて縮小印刷します。データによっては縮小できないことがあります。無効にすると縮小されず、複数ページに印刷されたり、2枚目が白紙になったりすることがあります。

ページ分割設定：

受信文書のサイズがプリンターにセットされている用紙より大きいときのページ分割方法を指定します。

自動回転印刷：

A5サイズの横長の文書を受信したときに、自動で回転してA5サイズの用紙に印刷します。給紙装置の用紙サイズ設定がA5のときに適用されます。設定は以下で確認できます。

[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [用紙設定]

受信情報の付加：

送信元がヘッダー情報を設定しない場合でも、受信ファクスに受信情報を印刷します。受信情報には受信日時、送信元番号やページ番号（P1など）が含まれます。[ページ分割設定]を有効にしているときは、分割ページ番号も含まれます。

両面印刷設定：

複数ページの受信文書を、両面印刷します。

印刷開始設定：

受信文書の印刷を開始するタイミングを設定します。

全ページ受信後：全ページを受信後に、1ページ目から印刷を開始します。

最初のページ受信後：1ページ目を受信したところで印刷を開始します。他のジョブを印刷中などで印刷を開始できないときは、印刷可能になったところでまとめて印刷を開始します。

正順印刷：

受信文書を最後のページから印刷して、正しいページ順に並べます。メモリーの空き容量が少ないときはこの設定が適用されないことがあります。

印刷停止時間の設定：

指定の時間帯に受信した文書を印刷せずにメモリーに保存します。再開時刻になると自動で印刷されます。夜間の騒音防止や不在時の機密漏洩防止などに活用できます。メモリーに十分な空き容量があることを確認してからお使いください。

動作音低減モード：

ファクス印刷時の動作音が静かになります。ただし、印刷速度は遅くなることがあります。

レポート設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔レポート設定〕

通信管理レポート：

通信管理レポートを自動で印刷します。〔オン(30件毎)〕を選択すると、通信履歴が30件に達したときに印刷されます。〔オン(指定時刻)〕を選択すると、指定の時刻に印刷されます。ただし、通信履歴が30件に達すると指定時刻の前でも印刷されます。

レポート内画像添付：

〔通信結果レポート印刷〕に、送信文書の1ページ目のイメージ画像を入れて印刷します。〔添付する(画像大)〕を選択すると、ページの一部(冒頭部分)を縮小せずに印刷します。〔添付する(画像小)〕を選択すると、ページ全体を縮小して印刷します。

レポート形式：

レポートの形式を選択します。〔詳細情報〕にするとエラーコードも印刷されます。

基本設定

操作パネルで以下の順に選択します。

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ファクス設定〕 - 〔基本設定〕

通信モード：

通信速度を設定します。通信エラーが頻繁に起きるときや海外と通信するとき、またはIP電話環境で通信するときは〔9.6kbps(G3)〕をお勧めします。

エラー訂正(ECM)：

回線トラブルによるデータ抜けなどのエラーを自動で修復します（ECM機能）。無効にすると、カラー文書の送受信はできません。

ダイヤルトーン検出：

ダイヤルする前にダイヤルトーンを検出します。PBX（構内交換機）やIP電話などの環境ではダイヤルできないことがあります。その場合は「接続回線」を「構内交換機(PBX)」にしてください。それでも接続できないときは本機能を無効にしてください。ただし、無効にすると電話番号の先頭の数字がダイヤルされず、誤った番号にダイヤルされてしまう可能性があります。

ダイヤル種別：

接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。「ダイヤル(10PPS)」に設定しているときに、ファクス番号入力画面で*を押すと「T」と入力され、そこから一時的にトーン信号に切り替えることができます。お住まいの国や地域によってはこの設定がないことがあります。

接続した電話回線のダイヤル種別を選択します。ダイヤルしたとき受話器から「ピッポッパ」と音がするときは、プッシュ回線です。「ジージージ」または「カタカタカタ」と音がするときは、ダイヤル回線です。回線がわからないときは「プッシュ」→「ダイヤル(20PPS)」→「ダイヤル(10PPS)」の順に設定を変えてダイヤルできるかどうか試してください。

ナンバー・ディスプレイ対応：

ナンバーディスプレイサービスの契約をしている回線の使用時に、プリンターや外付け電話機に相手の電話番号を表示します。詳しくは、ナンバーディスプレイ電話機接続時の設定を説明しているページをご覧ください。

接続回線：

プリンターを接続した回線を選択します。内線電話を利用しているオフィスなどで、「0」や「9」などの外線発信番号が必要な環境では、「構内交換機(PBX)」を選択して外線発信番号を登録します。登録後に外線番号にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#を入力します。ADSLモデムやターミナルアダプターなどを使用している環境でも「構内交換機(PBX)」に設定することをお勧めします。

発信元設定：

発信元名と発信元番号を設定します。ここで設定した内容が送信文書のヘッダーに表示されます。発信元名は40文字、発信元番号は20文字まで入力できます。

受信モード：

受信モードを選択します。

呼び出し回数：

着信してからファクスを受信するまでの呼び出し回数を選択します。0回に設定すると、着信音を鳴らさずに受信できます（無鳴動着信）。

電話呼び出し回数：

「受信モード」が「ファクス/電話自動切替」になっている場合、電話がかかってきたときに外付け電話機を何回呼び出すかを選択します。

リモート受信：

外付け電話機で応答した相手がファクスの場合は、電話機で開始コードを入力するだけでファクス受信を開始します。

着信・ファクス受信拒否：

迷惑ファクス拒否の設定をします。

セキュリティ設定

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [セキュリティ設定]

直接ダイヤル制限：

- オフ
ファクス番号を直接入力できます。
- オン
ファクス番号の直接入力ができなくなります。宛先は、アドレス帳かワンタッチダイヤル、または履歴から選択できます。
- 2回入力
ファクス番号を直接入力したときに確認のための再入力が必要になります。誤送信のリスクを軽減させられます。

宛先一覧確認：

送信開始前に宛先確認画面を表示します。

バックアップデータ自動消去：

停電や誤操作による電源オフに備えて、送受信文書のバックアップデータがメモリー内に一時保存されています。この設定を有効にすると、送受信文書の処理が完了してバックアップが不要になったときに、自動でバックアップデータが消去されます。

バックアップデータを消去：

メモリー内に一時保存されたバックアップデータを全て消去します。プリンターを譲渡または廃棄するときに実行してください。

ユーザー設定メニューの説明

操作パネルで以下の順に選択します。

[設定] - [ユーザー設定] - [ファクス]

ここでの設定をファクス送信時のユーザー設定値として表示します。設定項目の説明は、[ファクス] メニューの [ファクス設定] をご覧ください。

関連情報

➡ [「ファクス設定」143ページ](#)

受信ボックスメニューの説明



(受信ボックス) :

受信ボックス（受信したファクスの保存先）を開きます。未読の受信文書があると、に未処理件数が表示されます。

インクカートリッジなど消耗品の交換

消耗品の状態を確認する

操作パネルまたはコンピューターからインク残量の目安とメンテナンスボックス空き容量の目安が確認できます。

参考 インクが少なくなっても、交換の案内が表示されるまで印刷できます。必要に応じてインクカートリッジの交換をください。

インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - 操作パネル

ホーム画面でを選択します。

インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Windows

1. プリンタードライバーの画面を表示します。
2. [ユーティリティ] タブの [EPSON プリンターウィンドウ!3] をクリックします。

参考 [EPSON プリンターウィンドウ!3] が無効になっているときは、[ユーティリティ] タブの [拡張設定] をクリックして [EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する] をチェックしてください。

関連情報

➡ [「プリンタードライバーの開き方」65ページ](#)

インク残量とメンテナンスボックスの状態を確認する - Mac OS

1.  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。
3. [EPSONプリンターウィンドウ] をクリックします。

純正インクカートリッジのご案内

純正インクカートリッジは以下の通りです。

アイコン	シリーズ名	画面の表示	色	型番
	カードケース	BK	ブラック	IB10KA
		C	シアン	IB10CA
		M	マゼンタ	IB10MA
		Y	イエロー	IB10YA
		4色パック		IB10CL4A

「カードケース」はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
 プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品以外のものでご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

エプソン製品以外のインクカートリッジ使用による不具合事例は、以下のURLからご覧ください。

<http://www.epson.jp/support/shuri/tyui/ink.htm>

- 参考**
- インクカートリッジに再生材を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。
 - インクカートリッジの外観や仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

インクカートリッジ取り扱い上のご注意

インクカートリッジを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

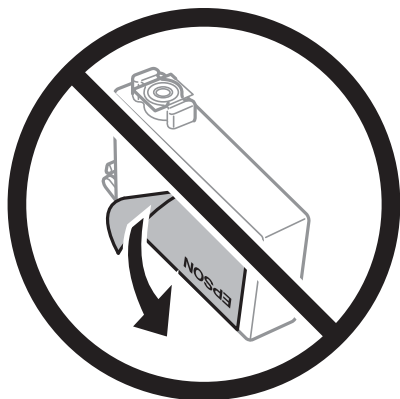
インクカートリッジ保管時のご注意

- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。
- 良好な印刷品質を得るために、インクカートリッジは個装箱に印刷されている推奨使用期限または開封後6ヵ月以内のいずれか早い期限までに使い切ることをお勧めします。
- 良好な印刷品質を得るために、箱の底面を下にして保管してください。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3時間以上室温で放置してからお使いください。
- インクカートリッジの袋は、本体に装着する直前まで開封しないでください。品質保持のため、真空パックにしています。開封後、長時間使用しないと、正常に印刷できなくなるおそれがあります。

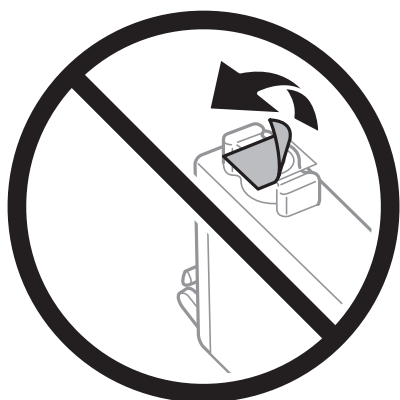
インクカートリッジ交換時のご注意

- インクカートリッジを袋から取り出すときにフックを壊さないよう注意してください。
- 袋から出したインクカートリッジは振らないでください。インクが漏れるおそれがあります。

- テープ（黄色）を必ず剥がしてからセットしてください。剥がさないままセットすると、印刷品質が低下したり、正常に印刷できなくなったりするおそれがあります。なお、その他のフィルムやラベルは絶対に剥がさないでください。インクが漏れるおそれがあります。



- インクカートリッジ底面の透明シールを剥がさないでください。カートリッジが使えるなくなるおそれがあります。



- イラストで示した部分には触らないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。



- インクカートリッジは全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 電源を切った状態でインクカートリッジを交換しないでください。また、プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。故障の原因になります。
- インク充填中は電源を切らないでください。充填が不十分で印刷できなくなるおそれがあります。

- インクカートリッジを取り外した状態でプリンターを放置したり、カートリッジ交換中に電源を切ったりしないでください。プリントヘッド（ノズル）が乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。
- 使用途中に取り外したインクカートリッジは、インク供給孔部にホコリが付かないように、プリンターと同じ環境で、インク供給孔部を下にするか横にして保管してください。インク供給孔部を上にして保管しないでください。なお、インク供給孔内には弁があるため、ふたや栓をする必要はありません。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。
- インクカートリッジはICチップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても再装着して使用できます。ただし、再装着時には、プリンターの信頼性を確保するためにインクが消費されることがあります。
- インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使用できないことがあります。新しいカートリッジを入手してから取り外してください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

インクの消費

- プrintヘッドを良好な状態に保つため、ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。また、インクカートリッジ交換時や電源投入時にも消費されることがあります。
- モノクロやグレースケール印刷の場合でも、用紙種類や印刷品質の設定によっては、カラーインクを使った混色の黒で印刷します。
- 購入直後のインク初期充填では、プリントヘッドノズル（インクの吐出孔）の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。

インクカートリッジを交換する

インクカートリッジ交換のメッセージが表示されたら、[操作方法を見る]を選択して操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。

インクカートリッジ交換のメッセージが表示される前に交換するときは、ホーム画面で[プリンターのお手入れ] - [インクカートリッジ交換]の順に選択して、画面の指示に従ってください。[操作方法を見る]を選択すると詳細が確認できます。

⚠ 注意 スキャナーユニットを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

関連情報

- ➡ [「純正インクカートリッジのご案内」 151ページ](#)
- ➡ [「インクカートリッジ取り扱い上のご注意」 152ページ](#)
- ➡ [「消耗品の回収と廃棄」 156ページ](#)

メンテナンスボックスの型番

エプソン純正品のメンテナンスボックスを使用することをお勧めします。

純正品の型番：EWMB2

！重要 一度装着されたメンテナンスボックスは、他のプリンターでは使用できません。

メンテナンスボックス取り扱い上のご注意

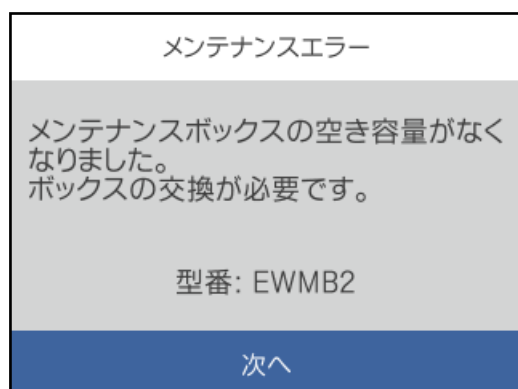
メンテナンスボックスを交換する前に以下の注意事項を確認してください。

- メンテナンスボックスのICチップに触らないでください。正常な動作や印刷ができなくなるおそれがあります。
- メンテナンスボックスを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。
- 印刷中は交換しないでください。廃インクが漏れることがあります。
- 交換時以外はカバーやメンテナンスボックスを取り外さないでください。インクが漏れるおそれがあります。
- メンテナンスボックスカバーが閉まらないときは、メンテナンスボックスが正しくセットされていない可能性があります。セットし直してください。
- メンテナンスボックスは密封するまで傾けないでください。インクが漏れることがあります。
- 開口部は汚れることがあるため触らないでください。
- 取り外して長期間放置したメンテナンスボックスは、再使用しないでください。内部のインクが固化し、インクを吸収できません。
- 直射日光を避けて保管してください。
- 高温や凍結するような環境で保管しないでください。

メンテナンスボックスを交換する

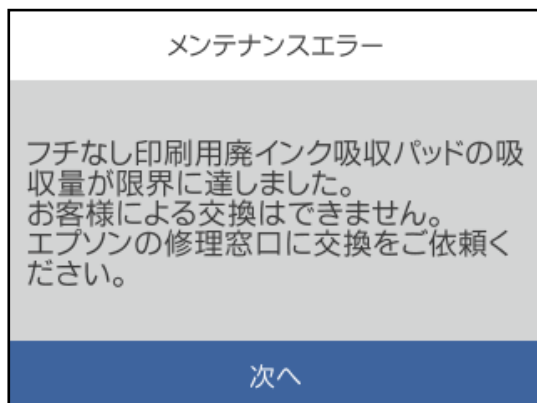
メンテナンスボックスは、クリーニング時や印刷時に排出される廃インクを溜める容器です。

メンテナンスボックス交換のメッセージが表示されたら、操作パネルに表示される動画を見ながら交換できます。



参考

- ・ インクあふれ防止のため、いっぱいになるとボックスを交換するまで印刷やクリーニングはできませんが、スキャンなどのインクを使わない操作はできます。
- ・ 以下の画面が表示されたときは、お客様による交換はできません。エプソンの修理窓口に交換をご依頼ください。



関連情報

- ➡ 「メンテナンスボックスの型番」 154ページ
- ➡ 「メンテナンスボックス取り扱い上のご注意」 155ページ
- ➡ 「消耗品の回収と廃棄」 156ページ

消耗品の回収と廃棄

資源の有効活用と地球環境保全のため、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。

インクカートリッジの回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも郵便局での回収や、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/recycle/



インクカートリッジ



里帰リプロジェクト

学校へ持っていこう！

郵便局へ持っていこう！

メンテナンスボックスの回収

使用済みメンテナンスボックスは、「引取回収サービス」をご利用ください。回収サービスの詳細は、エプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/recycle/

インクカートリッジやメンテナンスボックスの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

黒インクだけで一時的に印刷する

カラーインクの残量が限界値を下回っても、黒インクが十分残っていれば、以下の設定にすることで一時的に黒インクだけの印刷ができます（黒だけでモード）。

- 用紙種類：普通紙、郵便ハガキ、ハガキ宛名面、封筒
- カラー：モノクロまたはグレースケール
- フチなし：設定しない
- EPSON プリンターウィンドウ!3：有効（Windowsでプリンタードライバーから印刷する場合）

約5日間の一時的な機能のため、できるだけ早くインクカートリッジを交換してください。

- 参考**
- [EPSON プリンターウィンドウ!3] が無効になっているときは、プリンタードライバーの画面を表示させ、[ユーティリティ] タブの [拡張設定] をクリックして [EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する] をチェックしてください。
 - 使える期間は使用状況によって異なります。

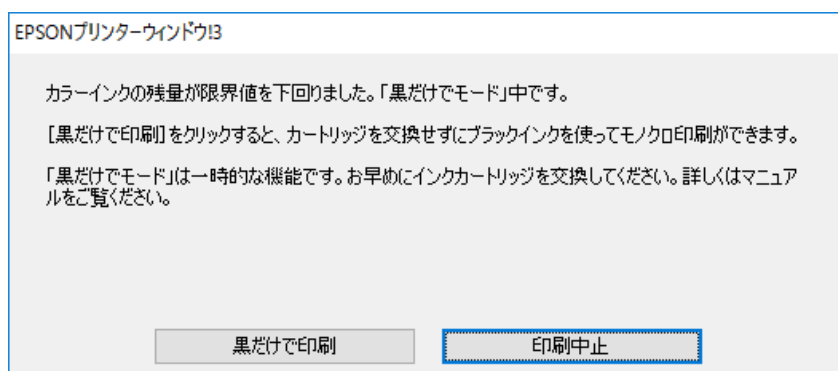
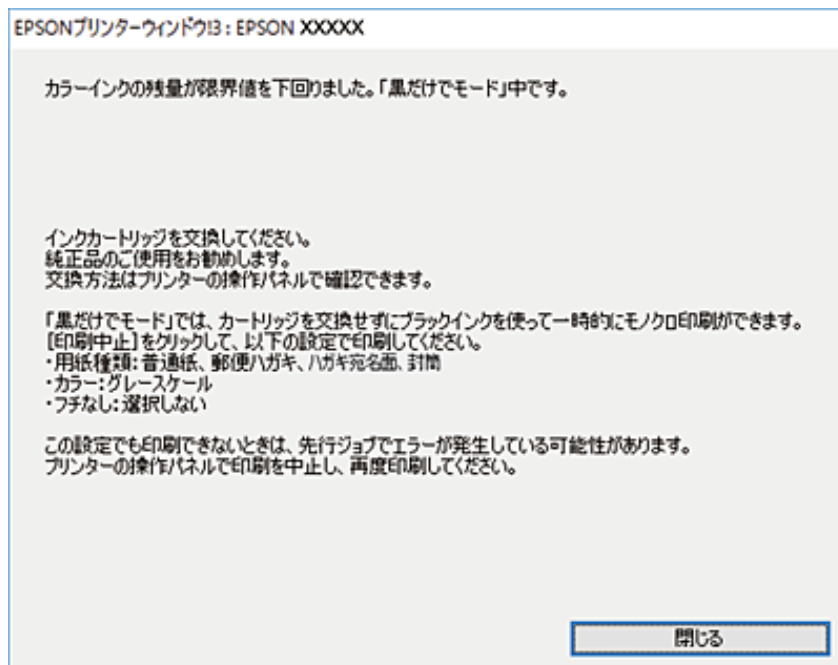
黒インクだけで一時的に印刷を続ける（操作パネル）

1. インクカートリッジ交換のメッセージが表示されたら、[次へ] を選択します。
期間限定で黒インクのみで印刷できることをお知らせするメッセージが表示されます。
2. メッセージを確認して [次へ] を選択します。
3. モノクロで印刷したい場合は、[後で交換] を選択します。
実行中のジョブがキャンセルされます。
4. 普通紙にモノクロで、コピーや受信ファクスの印刷ができます。ホーム画面で使いたい機能を選択してください。

参考 フチなしコピーはできません。

黒インクだけで一時的に印刷を続ける（Windows）

1. 以下の画面が表示されたら印刷を中止します。



参考 コンピューターから印刷を中止できないときは、プリンターの操作パネルで中止してください。

2. プリンタードライバーの画面を表示します。
3. [基本設定] タブの [フチなし] のチェックを外します。
4. [基本設定] タブの [用紙種類] で以下のいずれかを選択します。
 - [普通紙]
 - [[郵便ハガキ]]
 - [[ハガキ宛名面]]
 - [封筒]
5. [グレースケール] をチェックします。

6. [基本設定] タブと [応用設定] タブの各項目を必要に応じて設定して [OK] をクリックします。
7. [印刷] をクリックします。
8. 表示された画面で [黒だけで印刷] をクリックします。

関連情報

- ➡ [「中止方法」 81ページ](#)
- ➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ](#)
- ➡ [「基本の印刷」 65ページ](#)

黒インクだけで一時的に印刷を続ける (Mac OS)

参考 ネットワーク環境下でこの機能を使用するには、[Bonjour] で接続してください。

1. [Dock] 内のプリンターのアイコンをクリックします。
2. 印刷を中止します。
参考 コンピューターから印刷を中止できないときは、プリンターの操作パネルで中止してください。
3. アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサブライ] - [オプション] (または [ドライバ]) の順にクリックします。
4. [「黒だけでモード」を使用する] で [オン] を選択します。
5. プリント画面を表示します。
6. ポップアップメニューの [印刷設定] を選択します。
7. [用紙サイズ] ではフチなし以外のサイズを選択します。
8. [用紙種類] で以下のいずれかを選択します。
 - [普通紙]
 - [郵便ハガキ]
 - [ハガキ宛名面]
 - [封筒]
9. [グレースケール] をチェックします。
10. 必要に応じてその他の項目を設定します。
11. [プリント] をクリックします。

関連情報

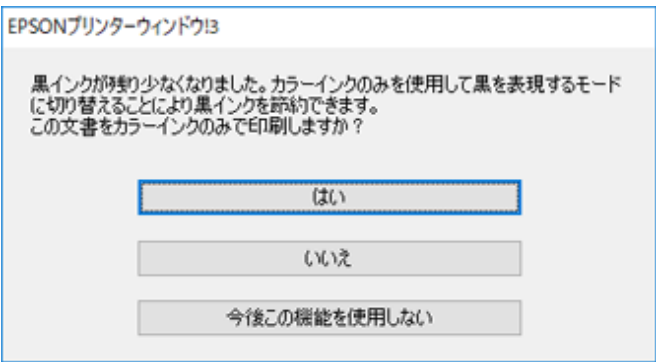
- ➡ 「印刷を中止する」 81ページ
- ➡ 「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ
- ➡ 「基本の印刷」 86ページ

黒インクが少なくなったときに黒インクを節約する (Windowsのみ)

黒インクの残量が少なくなっても、カラーインクの残量が十分あるときは、カラーインクで黒を表現して印刷できます。交換用の黒インクカートリッジをすぐに準備できなくても印刷が続けられます。以下の設定でプリンタードライバーから印刷したときに有効です。

- 用紙種類：[普通紙]
- 印刷品質：[標準]
- EPSON プリンターウィンドウ!3：有効

- 参考**
- [EPSON プリンターウィンドウ!3] が無効になっているときは、プリンタードライバーの画面を表示させ、[ユーザーティリー] タブの[拡張設定] をクリックして、[EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する] をチェックしてください。
 - カラーインクで黒を表現するため、黒インクで印刷した黒とは色味が異なります。また、印刷速度も低下します。
 - プリントヘッドの品質を維持するため、黒インクも消費されます。



項目	説明
はい	カラーインクで黒を表現して印刷します。次に印刷するときもこの画面が表示されます。
いいえ	黒インクで黒を印刷します。次に印刷するときもこの画面が表示されます。
今後この機能を使用しない	黒インクで黒を印刷します。以降、黒インクカートリッジを交換し、再び残量が少なくなるまでこの画面は表示されません。

プリンターのメンテナンス

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする

ノズルが目詰まりしていると、印刷がかすれたり、スジが入ったり、意図しない色で印刷されたりします。印刷品質に問題があるときは、ノズルチェック機能を使用してノズルの目詰まりを確認してください。ノズルが目詰まりしているときはヘッドクリーニングをしてください。

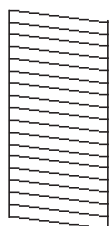
！重要

- ヘッドクリーニング中は、電源を切ったり、スキャナーユニットを開けたりしないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- ヘッドクリーニングはインクを消費するため、必要以上に行わないでください。
- インク残量が少ないと、ヘッドクリーニングできないことがあります。
- ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に3回程度繰り返しても目詰まりが解消されないときは、印刷しない状態で12時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。電源を切って放置することをお勧めします。それでも改善されないときは、エプソンの修理窓口にご連絡ください。
- プリントヘッドが乾燥して目詰まりすることを防ぐため、電源が入ったまま電源プラグを抜かないでください。

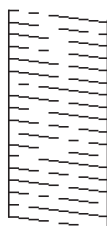
ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - 操作パネル

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で「プリンターのお手入れ」を選択します。
3. 「プリントヘッドのノズルチェック」を選択します。
4. 画面の指示に従ってノズルチェックパターンを印刷します。
5. 印刷したパターンを見てノズルに目詰まりがあるかないかを確認します。下の「あり」の図のように部分的に印刷されていなかったり、線が欠けたりしているときは目詰まりしています。次の手順に進んでください。「なし」の図のように全ての線が印刷されているときは目詰まりしていません。  を選択してノズルチェックを終了します。

なし



あり(ヘッドクリーニング必要)



6.  を選択して画面の指示に従ってヘッドクリーニングを実行します。

7. クリーニングが終わったら、再度ノズルチェックパターンを印刷します。ノズルチェックパターンの全ての線が印刷されるまで、ノズルチェックとヘッドクリーニングを繰り返します。

関連情報

➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ](#)

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Windows

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. プリンタードライバーの画面を表示させます。
3. [ユーティリティ] タブの [プリントヘッドのノズルチェック] をクリックします。
4. 画面の指示に従って操作します。

関連情報

➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ](#)

➡ [「プリンタードライバーの開き方」 65ページ](#)

ノズルチェックとヘッドクリーニングをする - Mac OS

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. アップルメニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
3. [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く] の順にクリックします。
4. [プリントヘッドのノズルチェック] をクリックします。
5. 画面の指示に従って操作します。

関連情報

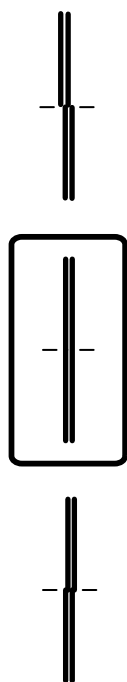
➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ](#)

プリントヘッドの位置を調整する

印刷位置がずれて、縦の罫線がずれたりぼやけたような印刷結果になったりするときは、プリントヘッドの位置を調整してください。

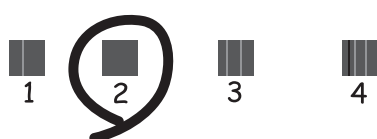
プリントヘッドの位置を調整する - 操作パネル

1. プリンターにA4サイズの普通紙をセットします。
2. ホーム画面で [プリンターのお手入れ] を選択します。
3. [プリントヘッドの位置調整] を選択します。
4. 縦線がガタついて見えるようなときや、印刷結果がぼやけているようなときは、手順5に進みます。一定間隔で横縞模様のようなものが出るときは、手順11に進みます。
5. [基本の調整] を選択して、画面の指示に従って調整パターンを印刷します。
6. 画面の指示に従ってプリントヘッドの位置を調整します。
上下の線にズレがなく、直線に見えるパターンの番号を選択します。

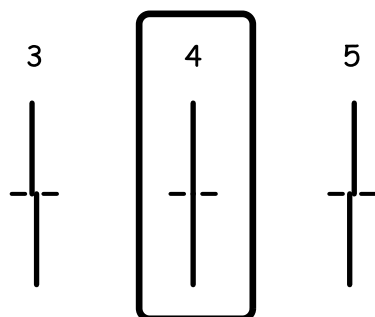


7. [印刷のぼやけ改善] を選択して、調整パターンを印刷します。
8. それぞれのグループで最も縦スジのないパターンの番号を選択します。

#1



9. 「縦罫線ずれの改善」を選択して、調整パターンを印刷します。
10. 上下の線にズレがなく、直線に見えるパターンの番号を選択します。



以上で調整は終了です。

11. 「横スジの改善」を選択して、画面の指示に従って調整パターンを印刷します。
12. 画面の指示に従ってプリントヘッドの位置を調整します。
隙間や重なりにより少ないパターンの番号を選択します。



関連情報

➔ [「用紙カセットに用紙をセットする」45ページ](#)

給紙経路をクリーニングする

印刷物に汚れがあるときや、印刷用紙が正しく給紙されないときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

！重要 プリンター内部はティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）

印刷物に汚れやこすれがあるときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

！重要 プリンター内部はティッシュペーパーなどで拭かないでください。繊維くすなどでプリントヘッドが目詰まりすることがあります。

1. A4サイズの普通紙をプリンターにセットします。
2. ホーム画面で「プリンターのお手入れ」を選択します。
3. 「用紙経路のクリーニング」を選択します。
4. 画面の指示に従って給紙経路をクリーニングします。

参考 印刷物に汚れがなくなるまでこの作業を繰り返してください。

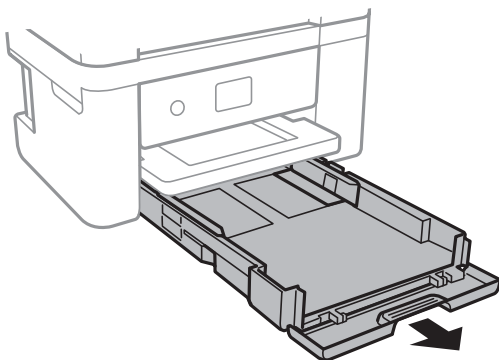
関連情報

➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」45ページ](#)

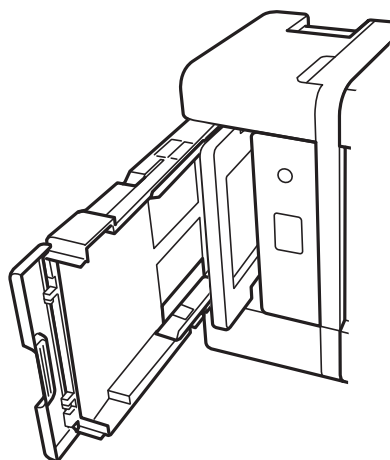
給紙経路をクリーニングする（正しく給紙されないとき）

用紙カセットから印刷用紙が正しく給紙されないときは、プリンター内部（ローラー）をクリーニングしてください。

1. 電源ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
2. 電源プラグをコンセントから抜いて電源コードを取り外します。
3. 用紙カセットを引き抜きます。

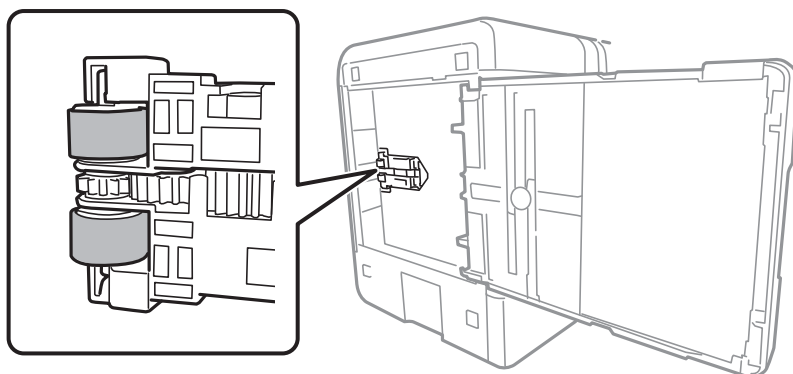


4. 操作パネルの⏻ボタン側を上に向けて、プリンターを立てます。



⚠ 注意 プリンターを立てるときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

5. 水で濡らし、固く絞って水気を切った布で、ローラーを回転させながら拭きます。



6. プリンターを元に戻して、用紙カセットを差し込みます。

！重要 プリンターは長時間立てたままにしないでください。

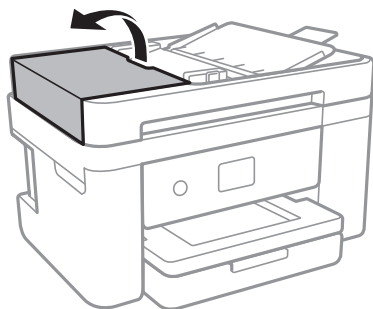
7. 電源コードを接続します。

ADFをクリーニングする

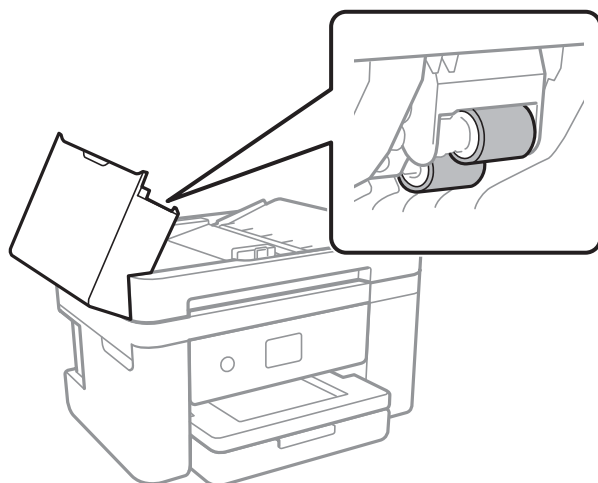
ADFからコピーやスキャンなどをすると汚れが出たり、原稿の給紙不良が発生したりするときは、ADFをクリーニングしてください。

！重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. ADFカバーを開けます。

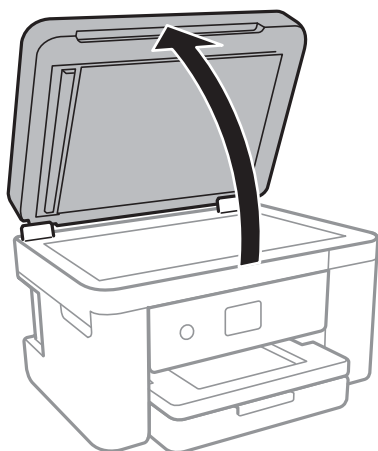


2. 水を含ませた柔らかい布を固く絞って、ローラー部など内部に付着している紙粉やゴミ、ホコリなどを拭きます。

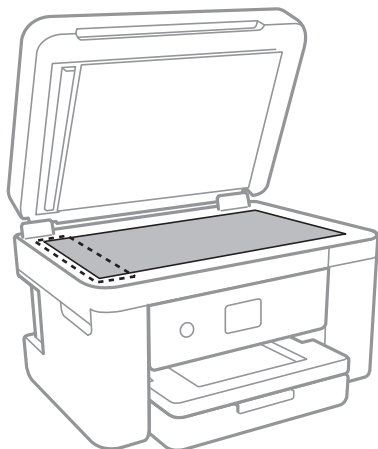


！重要 乾いた布で拭くと、表面に傷が付くおそれがあります。ローラーが乾いてからお使いください。

3. ADFカバーを閉めてから、原稿カバーを開けます。



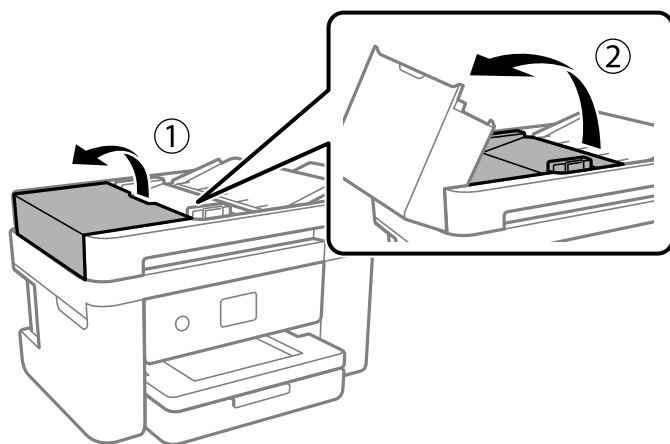
4. イラストで示した部分を拭きます。



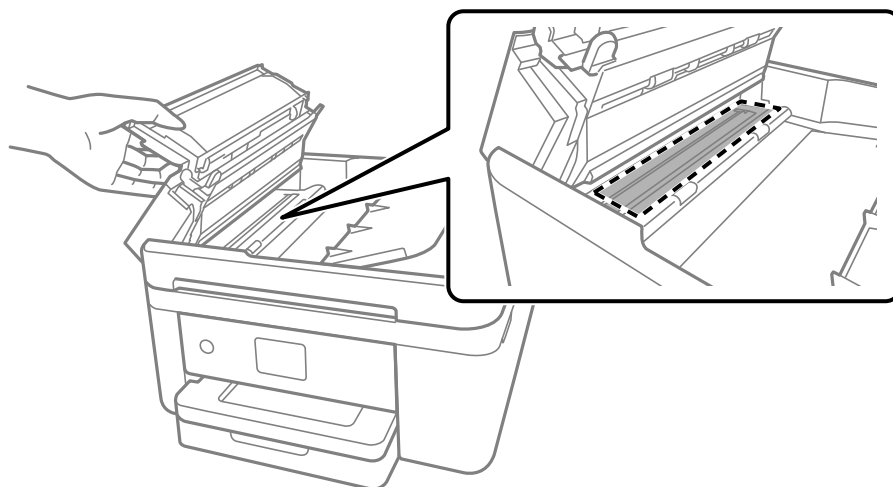
！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

5. それでも解決できないときは  ボタンを押してプリンターの電源を切り、ADFカバーを開けて、ADFトレイを持ち上げます。



6. イラストで示した部分を拭きます。



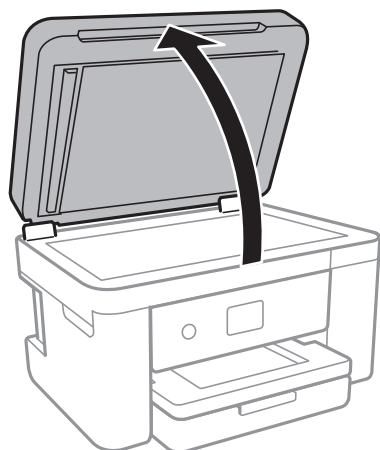
原稿台の汚れを拭き取る

印刷物に汚れがあるときや、スキャンしたデータにムラやシミなどがあるときは、原稿台をクリーニングしてください。

⚠ 注意 原稿カバーを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

！重要 アルコールやシンナーなどでプリンターを拭かないでください。プリンターを損傷するおそれがあります。

1. 原稿カバーを開けます。



2. 原稿台のガラス面を、柔らかい布でから拭きします。

！重要

- ガラス面に油脂や頑固な汚れが付いたときは、柔らかい布に少量のガラスクリーナーを付けて拭いてください。汚れを落とした後は水分が残らないようによく拭き取ってください。
- ガラス面を強く押さないでください。
- ガラス面をこすったり、傷を付けたりしないようにご注意ください。傷が付くとスキャン品質が低下するおそれがあります。

半透明フィルムの汚れを拭き取る

プリントヘッドの位置調整や用紙経路のクリーニングを実行しても印刷結果が改善されない場合は、プリンター内部の半透明フィルムが汚れている可能性があります。

作業に必要なもの：

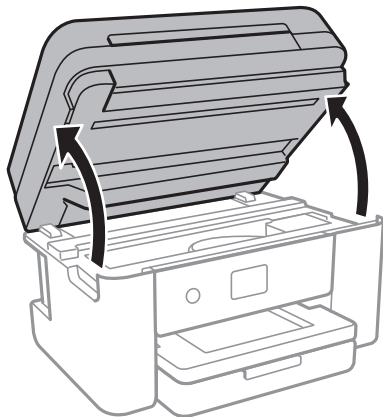
- 綿棒（数本）
- 水で薄めた中性洗剤（コップ1/4杯の水道水に中性洗剤2～3滴程度）
- 懐中電灯（汚れを確認するため）

！重要

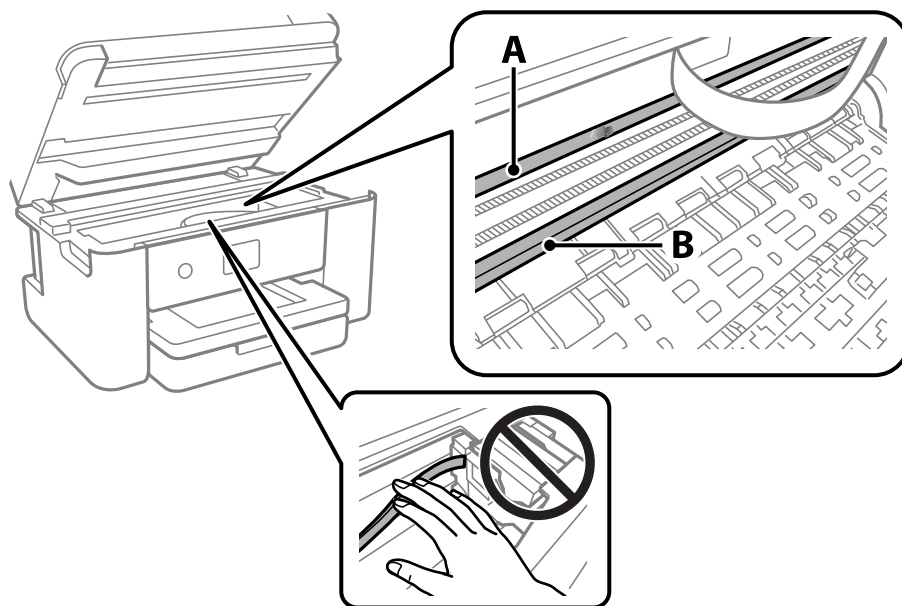
水で薄めた中性洗剤以外のクリーニング溶液は使用しないでください。

1. ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

2. スキャナーユニットを開けます。



3. 半透明フィルム（A）に汚れが付いていないか確認します。光を当てると見やすくなります。
汚れ（指紋、潤滑油など）が付着している場合は次の手順に進みます。

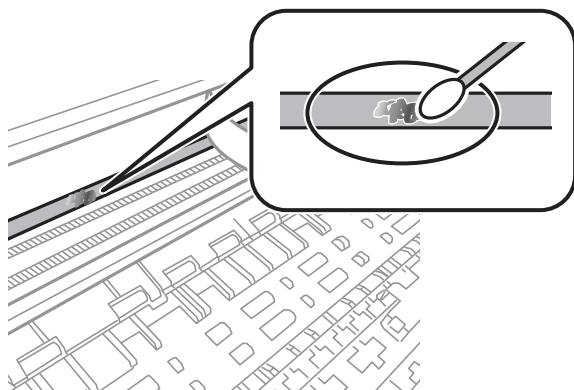


A：半透明フィルム

B：レール部

！重要 レール部（B）に触れないように注意してください。印刷できなくなることがあります。潤滑油が付いていますが、構造上必要なので拭き取らないでください。

4. 水で薄めた中性洗剤を垂れない程度に綿棒に付けて、汚れている箇所を拭きます。



！重要 汚れは優しく拭き取ってください。綿棒を強く押し付けると、フィルムの固定バネが外れて、プリンターが故障することがあります。

5. 綿棒を取り換えて、から拭きをします。

！重要 繊維が残らないようにしてください。



汚れを広げないように、こまめに綿棒を交換してください。

6. 汚れが落ちるまで綿棒を換えながら手順4、5を繰り返します。
7. 汚れが落ちたことを目視確認します。

ネットワークサービスとソフトウェアのご案内

プリンターが対応しているネットワークサービスとソフトウェアを紹介します。ソフトウェアはエプソンのウェブサイトまたは付属のソフトウェアディスクからインストールできます。

ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア (Web Config)

Web Config (ウェブ コンフィグ) は、コンピューターやスマートデバイスなどの機器からInternet ExplorerやSafariなどのWebブラウザー上で起動できるソフトウェアです。プリンターの状態の確認やネットワークサービスの設定、プリンターの設定変更などができます。Web Configを使うには、プリンターと機器を同じネットワークに接続してください。

以下のブラウザーに対応しています。

Microsoft Edge、Internet Explorer 8以降、Firefox*、Chrome*、Safari*

*： 最新バージョンでお使いください。

参考 Web Configにアクセスした際に管理者パスワードが未設定の場合は、管理者パスワードの設定ページでパスワードの設定が必要です。
ユーザー名とパスワードを忘れないでください。忘れた場合はエプソンのサービスサポートに連絡する必要があります。

WebブラウザーからWeb Configを起動する

1. プリンターのIPアドレスを確認します。

ホーム画面のネットワークアイコンから接続済みのネットワークを選択し、IPアドレスを確認します。

参考 IPアドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。

2. コンピューターやスマートデバイスでWebブラウザーを起動し、プリンターのIPアドレスを入力します。

書式：

IPv4： http://プリンターのIPアドレス/

IPv6： http://[プリンターのIPアドレス]/

例：

IPv4： http://192.168.100.201/

IPv6： http://[2001:db8::1000:1]/

参考 スマートデバイスでは、Epson iPrintのプリンターのメンテナンス画面からもWeb Configを起動できます。

関連情報

➡ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 32ページ](#)

➡ [「Epson iPrintを使う」 98ページ](#)

WindowsからWeb Configを起動する

プリンターとWSDで接続しているときは、以下の方法でWeb Configを起動できます。

1. Windowsのデバイスとプリンターの画面を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] (または [ハードウェア]) の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [デバイスとプリンターの表示] の順に選択します。
 - Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] の [プリンタ] の順に選択します。
2. プリンターのアイコンを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
3. [Webサービス] タブを選択して、URLをクリックします。

Mac OSからWeb Configを起動する

1.  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ] (または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]) の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. [オプションとサプライ] - [プリンターのWebページを表示] をクリックします。

コンピューターからスキャンするソフトウェア (Epson ScanSmart)

簡単なステップで、書類や写真のスキャンとデータ保存ができるソフトウェアです。
操作方法は、Epson ScanSmartのヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Epson ScanSmart] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Epson ScanSmart] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson ScanSmart] の順に選択します。

操作パネルのカスタム設定をするソフトウェア (Epson Event Manager)

Epson Event Manager (エプソン イベント マネージャー) は、操作パネルからスキャンしてコンピューターに保存するときの設定を管理するソフトウェアです。原稿種などのスキャン設定、保存するフォルダーや保存形式などを、よく使う設定に登録できます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

 参考 Windows ServerOSは非対応です。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Event Manager] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [Event Manager] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Event Manager] の順に選択します。

スキャナーを制御するソフトウェア (Epson Scan 2)

Epson Scan 2は、スキャナーを制御するソフトウェア (スキャナードライバー) です。画像のサイズや解像度の設定、画質などを調整してスキャンできます。TWAIN対応のアプリケーションソフトから起動することもできます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

 参考 Windows Server OSをお使いの場合、[デスクトップエクスペリエンス] がインストールされていることを確認してください。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

ネットワークスキャナーの追加方法

ネットワークスキャナーを使用するときは、スキャナードライバー（Epson Scan 2）でスキャナーを追加します。

1. Epson Scan 2を起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EPSON] - [Epson Scan 2] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2] の順に選択します。

2. [スキャナーの設定] 画面で [追加] をクリックします。



- [追加] がグレースアウトされているときは、[編集を許可] をクリックします。
- Epson Scan 2のメイン画面が表示されたときは、すでにスキャナーと接続されています。別のネットワークスキャナーと接続するときは、[スキャナー] - [設定] の順に選択して、[スキャナーの設定] 画面を表示します。

3. ネットワークスキャナーを追加します。以下の項目を入力、確認して、[追加] をクリックします。

- [機種] : 接続したいスキャナーを選択します。
- [名前] : スキャナー名を入力します。32文字まで入力できます。
- [ネットワークを検索] : お使いのコンピューターとスキャナーが同じネットワーク内にあればIPアドレスが表示されます。表示されない場合、 ボタンをクリックします。IPアドレスが見つからなかったときは [アドレスを入力] を選択し、アドレス欄にIPアドレスを直接入力します。

4. [スキャナーの設定] 画面で追加されたスキャナー名を選択し、[OK] をクリックします。

ファクスの送受信や設定をするソフトウェア（FAX Utility）

FAX Utility（ファクス ユーティリティ）は、コンピューターを使ってファクスの送受信をするための設定をするソフトウェアです。送信時に使うアドレス帳の作成や管理、プリンターが受信した文書をPDFにしてコンピューターに保存する設定などができます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考

- Windows Server OSは非対応です。
- FAX Utilityをインストールする前に、プリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- お使いのコンピューターにFAX Utilityがインストールされているか確認してください。確認の仕方は、下の「Windowsでの起動方法」か「Mac OSでの起動方法」をご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [Epson Software] - [FAX Utility] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

アップルメニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサブライ」 - 「ユーティリティ」 - 「プリンタユーティリティを開く」の順にクリックします。

関連情報

- ➔ [「コンピューターでファクスを受信する」138ページ](#)
- ➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

ファクス送信するソフトウェア（PC-FAXドライバー）

PC-FAXはアプリケーションソフトで作成した文書を、コンピューターからそのままファクス送信するソフトウェアです。FAX Utilityをインストールすると、一緒にインストールされます。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考

- Windows Server OSは非対応です。
- PC-FAXがインストールされているか確認してください。下の「Windowsでの表示方法」か「Mac OSでの表示方法」をご覧ください。
- アプリケーションソフトによって操作が異なります。詳しくはアプリケーションソフトのヘルプをご覧ください。詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

Windowsでの表示方法

アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューの [印刷] (または [印刷設定] など) を選択します。お使いのプリンター (FAX) を選択して [詳細設定] (または [プロパティ]) をクリックします。

Mac OSでの表示方法

アプリケーションソフトで、[ファイル] メニューの [プリント] (または [印刷] など) を選択します。[プリンタ] でお使いのプリンター (FAX) を選択して、ポップアップメニューから [ファクス設定] または [送付先設定] を選択します。

関連情報

- ➡ [「コンピューターからファクスを送信する」134ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送受信や設定をするソフトウェア \(FAX Utility\) 」177ページ](#)

写真を印刷するソフトウェア (Epson Photo+)

Epson Photo+ (エプソン フォトプラス) は、写真をいろいろなレイアウトで簡単に印刷できるソフトウェアです。印刷イメージを見ながら画像補正や位置調整ができます。さらに、写真の上にテキストや楽しいスタンプを自由に配置するなど、思い通りのアレンジができます。エプソン純正の写真用紙に印刷すると、インク性能が最大限に引き出されて、発色の良い美しい仕上がりになります。

詳しい使い方はソフトウェアのヘルプをご覧ください。

参考

- Windows Server OSは非対応です。
- このソフトウェアを使用するには、プリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- 写真の印刷はE-Photo (イーフォト) でもできます。詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Epson Photo+] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [Epson Photo+] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Photo+] の順に選択します。

関連情報

- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）

EPSON Software Updater（エプソン ソフトウェア アップデーター）は、インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認して、インストールするソフトウェアです。プリンターのファームウェアやマニュアルも更新できます。

参考 Windows Server OSは非対応です。

インストール方法

エプソンのウェブサイトからEPSON Software Updaterをダウンロードしてください。

Windowsコンピュータを使っていてウェブサイトからダウンロードができないときは、付属のソフトウェアディスクからインストールしてください。

<http://www.epson.jp/support/>

Windowsでの起動方法

- Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]）- [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考 EPSON Software Updaterはデスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

複数のデバイスを設定できるソフトウェア（EpsonNet Config）

EpsonNet Config（エプソンネット コンフィグ）は、ネットワークインターフェイスの各種アドレスやプロトコルなどが設定できるソフトウェアです。詳しくはEpsonNet Configのマニュアルやヘルプをご覧ください。

Windowsでの起動方法

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EpsonNet] - [EpsonNet Config] の順に選択します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]） - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

Mac OSでの起動方法

[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EpsonNet] - [EpsonNet Config SE] - [EpsonNet Config] の順に選択します。

最新のソフトウェアをインストールする

参考 再インストール時は、インストール済みの古いソフトウェアをアンインストールしてから行ってください。

1. プリンターとコンピューターが通信可能な状態で、コンピューターがインターネットに接続されていることを確認します。
2. Software Updaterを起動します。
画面はWindowsでの一例です。



3. Windowsの場合は、お使いのプリンターを選択し、をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。
4. インストールや更新が必要なソフトウェアにチェックを入れて、画面右下のインストールをクリックします。

！重要 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。



- 最新版のソフトウェアはエプソンのウェブサイトからもダウンロードできます。
www.epson.jp/support/
- Windows Server OSをお使いの場合、Epson Software Updaterではインストールができません。エプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。

関連情報

- ➔ 「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」179ページ
- ➔ 「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」181ページ

操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する

プリンターがインターネットに接続されていると、操作パネルでプリンターのファームウェアが更新できます。新しいファームウェアがあるかどうかを定期的に確認して、ある場合には通知するようにも設定できます。

1. ホーム画面で「設定」を選択します。
 2. 「ファームウェアのアップデート」 - 「アップデート」の順に選択します。
-
- 新しいファームウェアがあるかどうか定期的に確認したいときは、「定期通知設定」を有効にします。
3. 画面の指示を確認し、「確認開始」をタップして、最新のファームウェアの有無を調べます。
 4. 新しいファームウェアが見つかったというメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってファームウェアを更新します。

！重要

- 更新中はプリンターの電源を切ったり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。プリンターが故障するおそれがあります。
- ファームウェアの更新に失敗すると、次回電源を入れたときに「Recovery Mode」（リカバリーモード）と表示され、プリンターが動かなくなります。コンピューターでファームウェアの更新をし直してください。
リカバリーモードになるとネットワーク接続での更新ができないため、以下の手順で作業してください。
 1. エプソンのウェブサイトからファームウェアをダウンロードする
 2. コンピューターとプリンターをUSBケーブルで接続する
 3. ファームウェアを更新する<http://www.epson.jp/support/>
詳しくはダウンロードページの「ファームウェアのアップデート方法」をご覧ください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する

管理者権限のあるアカウント（ユーザー）でコンピューターにログインしてください。また、管理者のパスワードが求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する - Windows

1. 電源ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
2. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。
3. [コントロールパネル] を表示します。
 - Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンを右クリックまたは長押しして、[コントロールパネル] を選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順に選択します。
 - Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[コントロールパネル] を選択します。
4. [プログラムのアンインストール]（または[プログラムの追加と削除]）を表示させます。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2016/
Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server
2008
[プログラム] の [プログラムのアンインストール] を選択します。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[プログラムの追加と削除] をクリックします。
5. 削除するソフトウェアを選択します
印刷ジョブが残っていると、プリンタードライバーをアンインストールできません。印刷ジョブを削除するか、印刷が終わるのを待ってからアンインストールをしてください。
6. ソフトウェアをアンインストールします。
 - Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Vista/Windows Server 2016/
Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2/Windows Server
2008
[アンインストールと変更] または [アンインストール] をクリックします。
 - Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
[変更と削除] または [削除] をクリックします。

 [ユーザーアカウント制御画面] が表示されたら、[続行] をクリックします。
7. 画面の指示に従って操作します。

ソフトウェアをアンインストール（削除）する -Mac OS

1. EPSON Software Updaterを使ってUninstallerをダウンロードします。
一度ダウンロードすれば、アンインストールのたびにダウンロードする必要はありません。
2. 電源ボタンを押してプリンターの電源を切ります。

3. プリンタードライバー、またはPC-FAXドライバーを削除するときは、メニューの[システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、使用できるプリンターのリストからプリンターを削除します。
4. 起動している全てのアプリケーションソフトを終了します。
5. [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Uninstaller] の順に選択します。
6. 削除するソフトウェアをチェックして、[アンインストール] をクリックします。

！重要

Uninstallerは、コンピューターにインストールされているエプソン製インクジェットプリンターのドライバーを全て削除します。複数のエプソン製インクジェットプリンターをご使用の方で、一部のプリンタードライバーのみを削除したい場合は、一旦全てのプリンタードライバーを削除した後、使いたいプリンターのドライバーを再インストールしてください。

参考

一覧に表示されないソフトウェアはUninstallerでは削除できません。[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] の順に選択し、削除するソフトウェアを選択して、ゴミ箱アイコンにドラッグ&ドロップしてください。

関連情報

➔ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」179ページ](#)

ネットワークサービスを使って印刷する

インターネットを利用したEpson Connect（エプソン コネクト）サービスを使うと、コンピューターやスマートデバイスからいつでもどこからでも印刷できます。このサービスの利用には、Epson Connectのセットアップ（ユーザー登録、プリンター登録）が必要です。

インターネットを利用したサービスは以下の通りです。

- メールプリント
プリンターに割り当てられたメールアドレスに、印刷したい写真や文書を添付してメールを送ると、メールの本文や添付ファイルの印刷ができます。離れた場所から、自宅やオフィスのプリンターに印刷できます。
- Epson iPrint
スマートフォンやタブレット端末から印刷、またはスキャンするためのiOS、Android専用のアプリケーションです。同じ無線LAN内にあるプリンターに写真や文書、ウェブサイトなどを直接印刷できます。
- スキャン to クラウド機能（スキャンしてクラウドへ）
プリンターのパネル操作でスキャンしたデータを別のプリンターに送信して印刷できます。また、スキャンしたデータを対応するクラウドサービスにアップロードして共有ができます。
- リモートプリントドライバー
リモートプリントドライバー対応の共有ドライバーです。いつものアプリケーションの印刷画面からプリンターを切り替えるだけで、離れたプリンターに印刷できます。

詳しくはEpson Connectのポータルサイトをご覧ください。

<https://www.epsonconnect.com/>

困ったときは

プリンターの状態を確認する

プリンター画面のメッセージを確認する

プリンターの画面にメッセージが表示されたら、画面の指示または以下の対処方法に従ってトラブルを解決してください。

メッセージ	対処方法
プリンターエラー 電源を入れ直してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。 エラーコード：XXXXXX	プリンター内部に用紙や保護材が入っていたら取り除いてください。電源を入れ直しても同じメッセージが表示される場合は、エラーコードを控えてから、エプソンの修理窓口にご連絡ください。
XXの用紙がなくなりました。	用紙を補充して、用紙カセットを奥までセットしてください。
インク量が限界値以下のためカートリッジ交換が必要です。	プリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されています。新しいインクカートリッジと交換してください。
フチなし印刷用廃インク吸収パッドの吸収量が限界に近付いています。お客様による交換はできません。お早めにエプソンの修理窓口へ交換をご依頼ください。 OK：印刷継続	フチなし印刷用廃インク吸収パッド*は、お客様による交換ができないため、エプソンの修理窓口に依頼してください。このメッセージは、交換するまで定期的に表示されます。 [OK] をタップすると印刷を続行できます。
フチなし印刷用廃インク吸収パッドの吸収量が限界に達しました。お客様による交換はできません。エプソンの修理窓口へ交換をご依頼ください。	フチなし印刷用廃インク吸収パッド*は、お客様による交換ができないため、エプソンの修理窓口に依頼してください。 ただし、スキャンなど、印刷以外の機能は使用できます。
設定画面自動表示をオフにします。一部の機能が使えなくなります。詳しくはマニュアルをご覧ください。	[設定画面自動表示] を無効にすると、AirPrintが使用できません。
ダイヤルトーンが検出できません。	[設定] - [本体設定] - [ファクス設定] - [基本設定] - [接続回線] の順に選択して、[構内交換機(PBX)] を選択すると問題が解決することがあります。外線発信番号が必要な環境では、[構内交換機(PBX)] を選択した後に、外線発信番号を登録してください。登録後に外線の宛先にファクス送信するときは、外線発信番号の代わりに#（シャープ）を入力します。これにより通信がより確実になります。 それでも同じメッセージが表示される場合は、[ダイヤルトーン検出] を無効にしてください。ただし、ファクス番号の最初の番号が抜けるなど、間違った番号にダイヤルしてしまう可能性があります。
アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。詳しくはマニュアルをご覧ください。	IPアドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。正しい値が分からない場合は、ネットワーク設定をした方に確認してください。

メッセージ	対処方法
このサービスを利用するには、ルート証明書のアップデートが必要です。	Web Configを起動してルート証明書を更新してください。
コンピューターでプリンターのポート設定(IPアドレスなど)やドライバーの状態が正しいか確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	プリンタードライバーの「ユーティリティ」タブで「印刷待ち状態表示」をクリックします。「プリンター」メニューの「プロパティ」-「ポート」で、以下の正しいポートが選択されていることを確認してください。 USB接続：「USBXXX」、ネットワーク接続：「EpsonNet Print Port」
コンピューターで、印刷ポートの設定や、ドライバーの状態などを確認してください。詳しくはマニュアルをご覧ください。	
Recovery Mode	ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。 1.コンピューターとプリンターをUSB接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 2.エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「アップデート方法」をご覧ください。

*フチなし印刷時に排出される廃インクを吸収する部品です。吸収量が限界に達する時期は使用状況によって異なります。限界に達すると、パッドを交換するまで印刷できません（インクあふれ防止のため）。保証期間経過後の交換は有償です。

関連情報

- ➡ [「アフターサポート・サービスのご案内」 236ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」 180ページ](#)
- ➡ [「操作パネルを使ってプリンターのファームウェアを更新する」 181ページ](#)

プリンターの状態を確認する - Windows

1. プリンタードライバーの画面を表示させます。
2. 「ユーティリティ」タブの「EPSON プリンターウィンドウ!3」をクリックして、「詳細表示」をクリックします。
プリンターの状態、インク残量、エラーの状況を確認できます。

参考 「EPSON プリンターウィンドウ!3」が無効になっているときは、「ユーティリティ」タブの「拡張設定」をクリックして「EPSON プリンターウィンドウ!3 を使用する」をチェックしてください。

関連情報

- ➡ [「プリンタードライバーの開き方」 65ページ](#)

プリンターの状態を確認する - Mac OS

1. メニューの[システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。
2. [オプションとサプライ] - [ユーティリティ] - [プリンタユーティリティを開く]の順にクリックします。
3. [EPSONプリンターウィンドウ]をクリックします。
プリンターの状態、インク残量、エラーの状況を確認できます。

ソフトウェアの状態を確認する

ソフトウェアを最新のバージョンに更新すると、問題が解決することがあります。ソフトウェアの状態を確認するには、ソフトウェア更新ツールを使用してください。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアの更新ツール（EPSON Software Updater）」179ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

詰まった用紙を取り除く

プリンターの画面の指示に従い、用紙が詰まっている（ちぎれた紙片が残っている）箇所を順番に確認して取り除いてください。プリンターの画面に、詰まった用紙を取り除く方法の動画が表示されます。

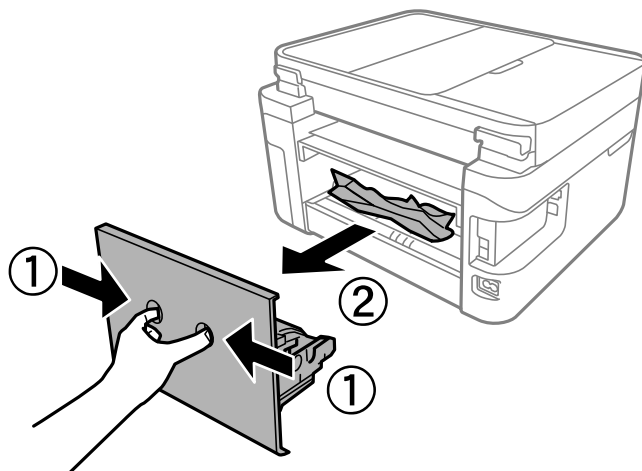
⚠ 注意 内部に手を入れるときは、操作パネルのボタンには触らないでください。プリンターが動作してけがをするおそれがあります。また、突起などでけがをしないように注意してください。

❗ 重要 用紙はゆっくりと引き抜いてください。勢いよく引っ張るとプリンターが故障することがあります。

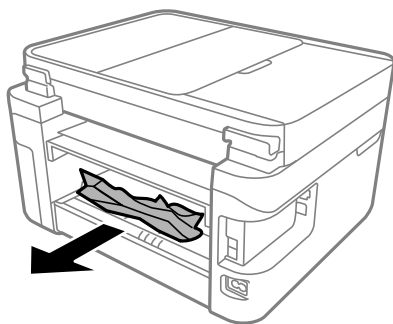
詰まった用紙を取り除く

- ⚠ 注意**
- スキャナーユニットを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。
 - 内部に手を入れるときは、操作パネルのボタンには触らないでください。プリンターが動作してけがをするおそれがあります。また、突起などでけがをしないように注意してください。

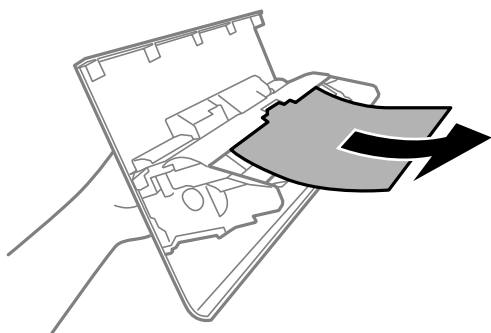
1. 背面ユニットを引き出します。



2. 詰まっている用紙を取り除きます。

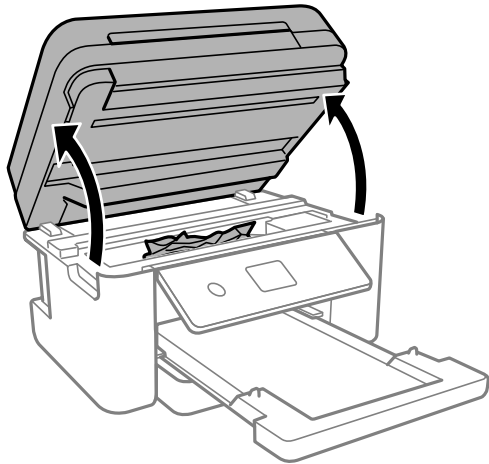


3. 背面ユニットから詰まっている用紙を取り除きます。

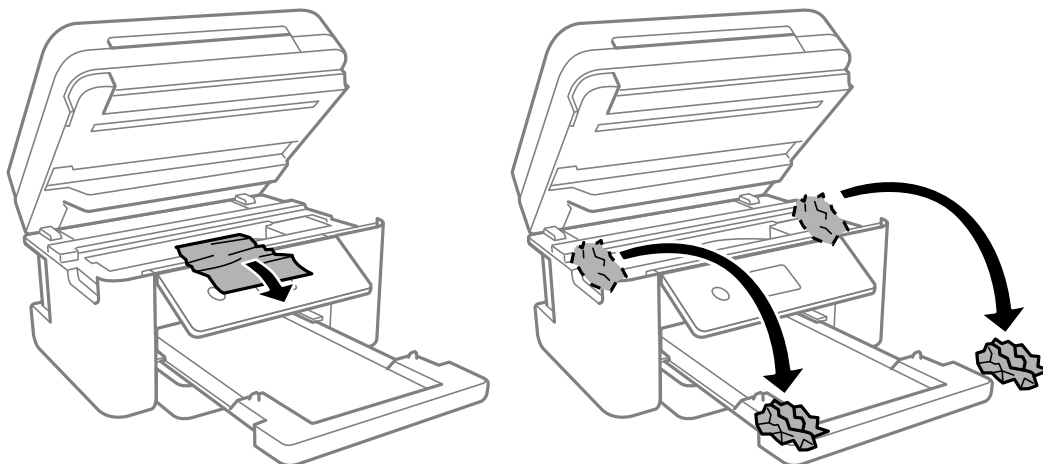


4. 背面ユニットをプリンターに取り付けます。

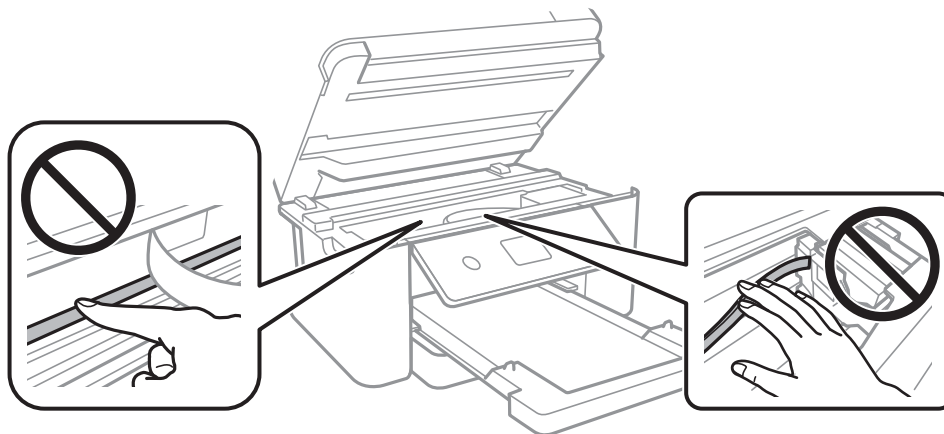
5. 原稿カバーを閉めた状態で、スキャナーユニットを開けます。



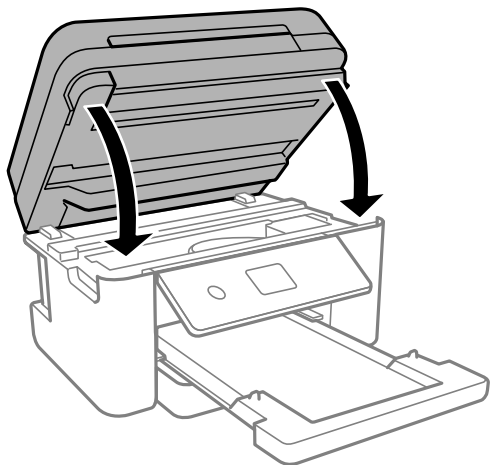
6. 詰まっている用紙を取り除きます。



！重要 プリンター内部のケーブル（白色）や半透明フィルムには触らないでください。動作不良の原因となるおそれがあります。



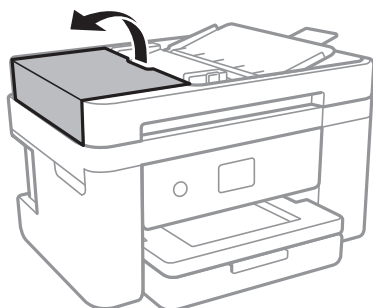
7. スキャナーユニットを閉めます。



参考 指などを挟まないように若干の抵抗を持たせ、ゆっくり閉まるように設計されています。抵抗感があってもそのまま閉めてください。

ADFから詰まった用紙を取り除く

1. ADFカバーを開けます。

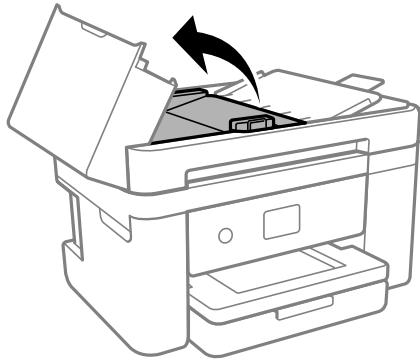


2. 詰まっている用紙を取り除きます。

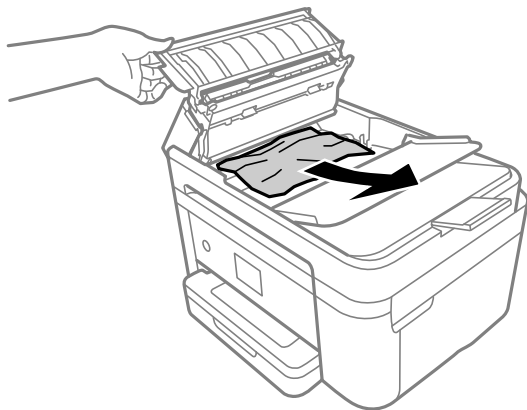


3. ADFトレイを上げます。

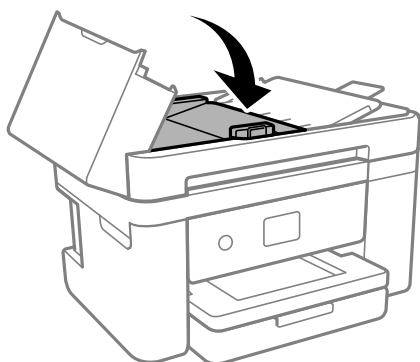
！重要 ADFカバーを開けてからADFトレイを上げてください。ADFが故障する可能性があります。



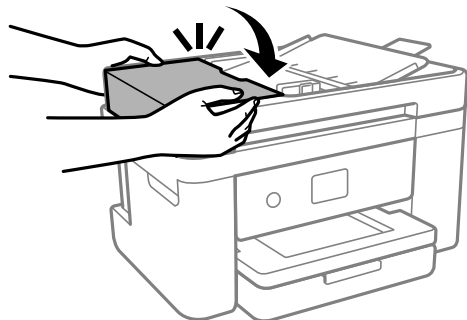
4. 詰まっている用紙を取り除きます。



5. ADFトレイを下げます。



6. ADFカバーを「カチッ」と音がするまで閉めます。



正しく給紙ができない

以下を確認してから、現象に応じた対処方法をお試してください。

- プリンターを水平な場所に設置して、適切な環境で使用してください。
- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
- 印刷用紙取り扱い上のご注意に従ってください。
- 印刷用紙はセット可能枚数を超えてセットしないでください。
- プリンターの用紙サイズと用紙種類の設定を、実際にセットした用紙に合わせてください。
- プリンター内部のローラーをクリーニングしてください。

関連情報

- ➡ [「動作時と保管時の環境仕様」 228ページ](#)
- ➡ [「用紙取り扱い上のご注意」 44ページ](#)
- ➡ [「対应用紙とセット可能枚数」 42ページ](#)
- ➡ [「セットした用紙の種類を設定する」 49ページ](#)

印刷用紙が詰まる

印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

関連情報

- ➡ [「詰まった用紙を取り除く」 186ページ](#)
- ➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ](#)

斜めに給紙される

印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。

関連情報

➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」45ページ](#)

重なって給紙される

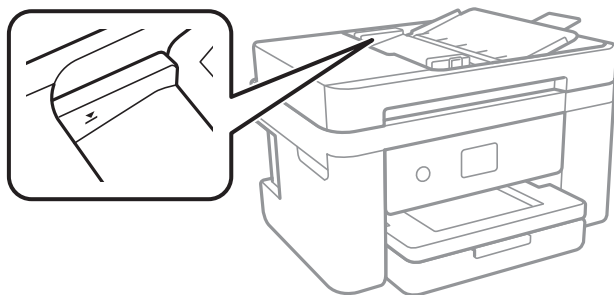
手動両面印刷で用紙が重なって給紙されるときは、給紙装置内にセットしてある印刷用紙を取り除いてから、裏面をセットしてください。

印刷途中で排紙される

レターヘッド紙（差出人名、会社名などの情報が、ヘッダー部分にあらかじめ印刷されている用紙）をセットした場合は、用紙種類の設定で「レターヘッド」を選択してください。

ADFから給紙できない

- ADFに対応している原稿を使用してください。
- 原稿を正しい方向でセットして、原稿の側面にADF原稿ガイドを合わせてください。
- ADFの内部をクリーニングしてください。
- ADFの三角マークが示す線を越えてセットしないでください。



- プリンターの画面下のADFアイコンが点灯しているか確認してください。点灯していないときは、原稿をセットし直してください。

関連情報

➡ [「ADFにセットできる原稿」50ページ](#)
➡ [「ADFに原稿をセットする」51ページ](#)
➡ [「ADFをクリーニングする」166ページ](#)

電源、操作パネルのトラブル

電源が入らない

- 電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
- 電源ボタンを少し長めに押してください。

電源が切れない

電源ボタンを少し長めに押してください。それでも切れないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。プリントヘッドの乾燥を防ぐため、その後に電源を入れ直して、電源ボタンで切ってください。

プリンターの画面が暗くなった

スリープモードになっています。画面をタップすると元の明るさに戻ります。

コンピューターから印刷できない

接続状態をチェック (USB)

- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。
- USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。
- USBケーブルの差し込み口を変えてみてください。それでも解決しないときはUSBケーブルを変えてみてください。

- USB接続で印刷できないときは、以下をお試しください。
USBケーブルを取り外します。コンピューターに表示されているプリンターのアイコンを右クリックして、[デバイスの削除] を選択します。その後、USBケーブルを接続して印刷してください。
コンピューターとの接続形態を再設定する手順に従ってUSB接続を再設定してください。詳細は以下の関連情報をご覧ください。



関連情報

- ➡ [「コンピューターとの接続形態の再設定」 38ページ](#)

接続状態を確認する（Windows ネットワーク）

Epson 接続診断ツールを使って、コンピューターとプリンターの接続状態を確認してください。診断内容によっては、このツールで解決できる場合があります。

1. デスクトップの [Epson 接続診断ツール] アイコンをダブルクリックします。
Epson 接続診断ツールが起動します。
デスクトップにアイコンがない場合は、以下の方法で起動してください。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックして、[Epson Software] - [Epson 接続診断ツール] の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
 - Windows 7
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Epson 接続診断ツール] の順に選択します。
2. 画面の指示に従って診断します。

参考 プリンター名が表示されないときは、エプソン純正プリンタードライバーを確認してください。

問題が見つかったら、[Epson 接続診断ツール] の解決方法に従って操作します。

関連情報

- ➡ [「エプソン純正プリンタードライバーを確認する」 195ページ](#)

接続状態をチェック（ネットワーク）

- アクセスポイントやプロバイダーを変更したときは、プリンターのネットワーク設定をやり直してください。コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。
- ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってからアクセスポイント、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器をアクセスポイントに近づけて、設定し直してください。
- ネットワーク接続診断レポートを印刷します。詳細は以下の関連情報をご覧ください。ネットワーク接続診断レポートの結果が不合格だった場合は、接続診断の内容を確認して対処方法をお試しください。
- プリンターに割り当てられているIPアドレスが169.254.XXX.XXX、サブネットマスクが255.255.0.0のときは、IPアドレスが正しく割り当てられていない可能性があります。アクセスポイントを再起動するか、プリンターのネットワークを再設定してください。それでも解決しないときはアクセスポイントのマニュアルをご覧ください。
- コンピューターからWebサイトが閲覧できるか試してください。閲覧できない場合はコンピューターのネットワーク設定に問題があります。コンピューターのネットワーク接続をご確認ください。
- 上記の対処方法を試してもうまくいかない場合は、セキュリティソフトなどの影響が考えられます。エプソンのウェブサイトでFAQをご覧ください。
<http://www.epson.jp/support/faq/>
製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LAN 接続」などのキーワード入力で検索できます。

関連情報

- ➡ [「コンピューターとの接続」24ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」32ページ](#)

ソフトウェアやデータをチェック

- エプソン純正プリンタードライバーがインストールされているか確認してください。インストールされていないと使用できる機能が限られるため、インストールすることをお勧めします。詳細は以下の関連情報をご覧ください。
- データサイズが大きい画像を印刷しようとする、コンピューターのメモリーが足りなくなることがあります。解像度を下げたり、サイズを小さくしたりして印刷してください。

関連情報

- ➡ [「エプソン純正プリンタードライバーを確認する」195ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

エプソン純正プリンタードライバーを確認する

エプソン純正プリンタードライバーがコンピューターにインストールされているか、以下の方法で確認できます。

Windows

［コントロールパネル］ - ［デバイスとプリンターの表示］（［プリンタ］、［プリンタとFAX］）を選択して、以下の方法でプリントサーバーのプロパティ画面を表示します。

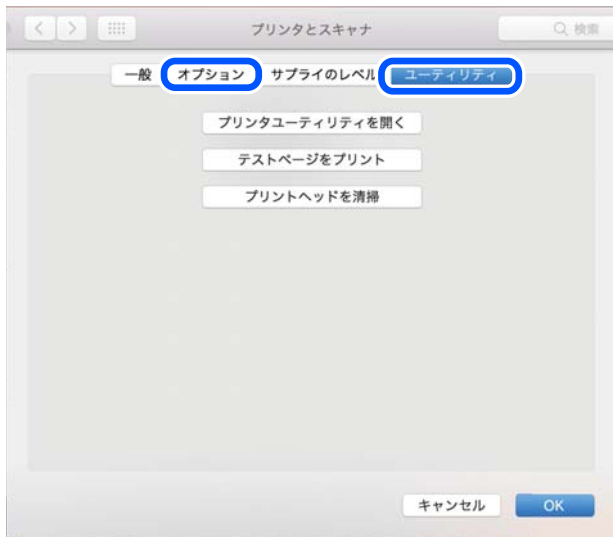
- Windows 10/Windows 8.1/Windows 8/Windows 7/Windows Server 2016/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012/Windows Server 2008 R2
プリンターアイコンをクリックして、画面上部の「プリントサーバープロパティ」をクリックします。
- Windows Vista/Windows Server 2008
「プリンタ」フォルダー上で右クリックして、「管理者として実行」 - 「サーバーのプロパティ」の順にクリックします。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
「ファイル」メニューから「サーバーのプロパティ」を選択します。

「ドライバー」タブをクリックします。お使いのプリンター名が一覧に表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。



Mac OS

メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] をクリックして [オプション] タブと [ユーティリティ] タブが表示された場合、エプソン純正プリンタードライバーがインストールされています。

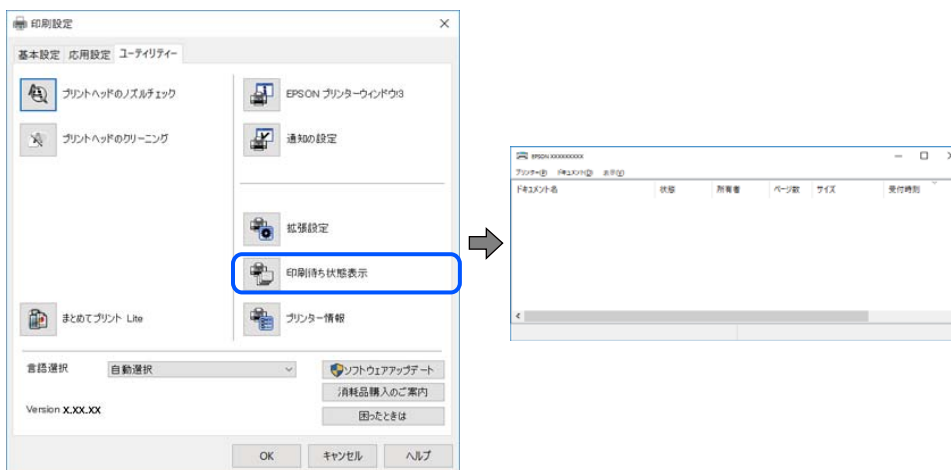


関連情報

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

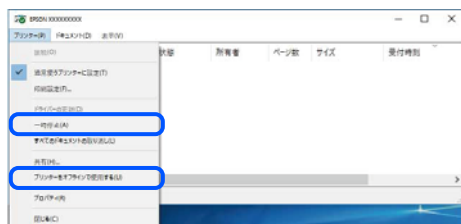
コンピューターでプリンターの状態をチェック (Windows)

プリンタードライバーで [ユーティリティ] タブの [印刷待ち状態表示] をクリックして以下を確認してください。



- 印刷待ちのジョブがないこと
不要な印刷データが残っている場合は、[プリンター] メニューで [すべてのドキュメントの取り消し] を選択してください。

- 一時停止やオフラインになっていないこと
一時停止またはオフラインになっているときは、[プリンター] メニューで一時停止またはオフラインのチェックを外してください。



- [プリンター] メニューでお使いのプリンターが通常使うプリンターに設定されている（チェックが付いている）こと
設定されていないときは、通常使うプリンターに設定してください。[コントロールパネル] - [デバイスとプリンター]（または[プリンタ]、[プリンタとFAX]）にアイコンが複数ある場合は、以下を参考にして選んでください。

例)

USB ケーブルで接続：EPSON XXXX Series

ネットワークで接続：EPSON XXXX Series（ネットワーク）

何度もプリンタードライバーをインストールするとプリンタードライバーのコピーが作成されることがあります。

「EPSON XXXX Series（コピー1）」などのコピーができている場合は、コピーされたドライバーのアイコン上で右クリックし、[デバイスの削除] をクリックしてください。

- [プリンター] メニューの[プロパティ] - [ポート] で、以下の正しいポートが選択されていること
USB接続：[USBXXX]、ネットワーク接続：[EpsonNet Print Port]

コンピューターでプリンターの状態をチェック（Mac OS）

プリンターのステータスが[一時停止] になっていないか確認してください。

 メニューの[システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または[プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターをダブルクリックします。[一時停止] になっているときは、[再開] をクリックしてください。

ネットワークの接続設定ができない

- ネットワークに接続する全ての機器の電源を切ります。約10秒待ってから無線LANルーター（アクセスポイント）、コンピューターまたはスマートデバイス、プリンターの順に電源を入れます。電波が届きやすいように機器を無線LANルーター（アクセスポイント）に近づけて、設定し直してください。
- プリンターの操作パネルで[設定] - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [接続診断] の順に選択して、ネットワーク接続診断レポートを印刷します。エラーがある場合はネットワーク接続診断レポートの内容を確認して対処してください。

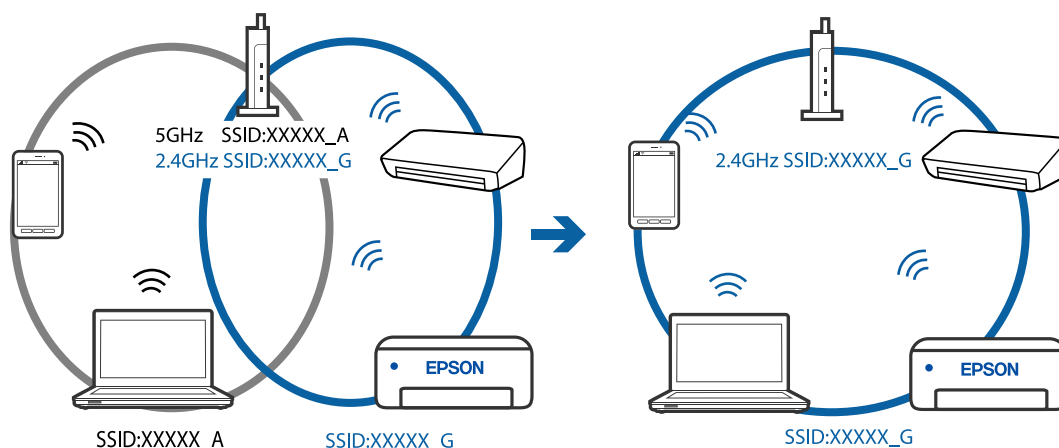
関連情報

- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートを印刷する」 32ページ](#)
- ➡ [「ネットワーク接続診断レポートの見方と対処方法」 32ページ](#)

ネットワーク接続に問題がないのに機器から接続できない

ネットワーク接続診断レポートでは問題がないのに、コンピューターやスマートデバイスから接続できない場合は以下を確認してください。

- IEEE802.11aとIEEE802.11gの両規格に準拠した無線LANルーター（アクセスポイント）は、2.4GHz帯と5GHz帯それぞれのSSIDを持っています。プリンターは2.4GHz帯での通信にのみ対応しているため、コンピューターやスマートデバイスを5GHz帯のSSIDに接続していると、プリンターと通信できないことがあります。コンピューターやスマートデバイスをプリンターと同じSSIDに接続してください。



関連情報

- ➡ 「プリンターが接続している SSID の確認方法」 199ページ
- ➡ 「コンピューターが接続しているSSIDの確認方法」 199ページ

プリンターが接続している SSID の確認方法

〔設定〕 - 〔本体設定〕 - 〔ネットワーク設定〕 - 〔ネットワーク情報〕 の順に選択します。
Wi-FiまたはWi-Fi Direct（シンプルAP）のSSIDが各項目から確認できます。

コンピューターが接続しているSSIDの確認方法

各OSでSSIDやパスワードを調べる方法は、エプソンのホームページでFAQをご覧ください。

www.epson.jp/support/faq/

製品カテゴリーからお使いの製品を選択して、「無線LANのSSID」などのキーワード入力で検索できます。

Windows

デスクトップのタスクトレイ上の  をクリックします。ネットワーク一覧が表示されるので、接続済みのSSIDを確認します。



Mac OS

コンピューター画面上部にあるWi-Fiアイコンをクリックします。SSIDのリストが表示されるので、チェックマークが付いた（接続済み）SSIDを確認します。



iPhone、iPad、iPod touchから印刷できない

- iPhone、iPad、iPod touchをプリンターと同じネットワーク（SSID）に接続してください。

- 操作パネルの以下のメニューで「設定画面自動表示」を有効にしてください。
[設定] - [本体設定] - [プリンター設定] - [給紙装置設定] - [設定画面自動表示]
- Web ConfigでAirPrintの設定を有効にしてください。

関連情報

- ➡ [「スマートデバイスとの接続」25ページ](#)
- ➡ [「ブラウザー上でプリンターの設定や変更をするソフトウェア（Web Config）」173ページ](#)

印刷結果のトラブル

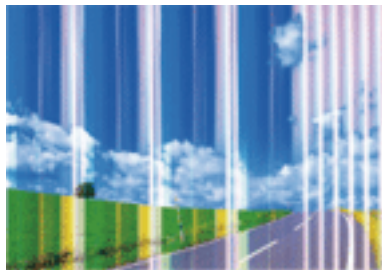
印刷結果がかすれる、出ない色がある

長期間プリンターを使用していないと、プリントヘッドのノズルが目詰まりしてインクが出ないことがあります。ノズルチェックして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

関連情報

- ➡ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」161ページ](#)

印刷結果にスジ（線）が入る、色合いがおかしい



プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックをすると目詰まりしているかどうかわかります。目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。

関連情報

- ➡ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」161ページ](#)

約3.3cm間隔で色の付いたスジが入る



- 用紙種類の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。
- 「横スジの改善」でプリントヘッドの位置を調整してください。
- 普通紙に印刷しているときは、きれいモードで印刷してください。

関連情報

- ➡ [「セットした用紙の種類を設定する」49ページ](#)
- ➡ [「プリントヘッドの位置を調整する」162ページ](#)

印刷結果がぼやける、文字や罫線がガタガタになる



enthalten alle
Aufdruck. W
↓ 5008 "Regel

「印刷のぼやけ改善」でプリントヘッドの位置を調整してください。

関連情報

- ➡ [「プリントヘッドの位置を調整する」162ページ](#)

プリントヘッドの位置を調整しても印刷品質が改善されない

双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷位置が左右で異なると罫線がずれたりぼやけたりすることがあります。印刷品質が悪いときは、双方向印刷設定を無効にしてください。ただし、この設定を無効にすると、印刷速度が遅くなります。

- Windows
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「双方向印刷」のチェックを外します。

- Mac OS



メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンターを選択します。[オプションとサプライ] - [オプション]（または [ドライバ]）の順にクリックします。[双方向印刷] で [オフ] を選択します。

印刷品質が悪い

印刷結果がかすれる、スジや線が入る、色合いがおかしい、ぼやける、文字や罫線がガタガタになるなど、印刷品質が悪いときは以下を確認してください。

プリンターをチェック

- ノズルチェックして、目詰まりしているときはヘッドクリーニングしてください。
- プリントヘッドの位置を調整してください。

用紙をチェック

- 本製品で印刷できる用紙を使用してください。
- 湿ったり、傷んだり、古過ぎたりする用紙に印刷しないでください。
- 印刷用紙が反っていたり、封筒が膨らんでいたるときは、平らにしてください。
- 印刷後すぐに用紙を重ねないでください。
- 十分に乾燥させてから保管、展示してください。乾燥させるときは、直射日光に当てたり、ドライヤーを使ったり、印刷した面を触ったりしないでください。
- 写真などの印刷は、普通紙ではなくエプソン製専用紙（純正品）に印刷することをお勧めします。エプソン製専用紙のおもて面に印刷してください。

印刷設定をチェック

- 用紙種類の設定は、セットした印刷用紙に合わせてください。
- 印刷設定で印刷品質を上げて印刷してください。

インクカートリッジをチェック

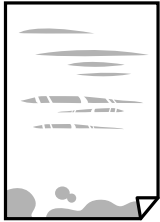
- インクカートリッジは個装箱に印刷されている期限までに使用することをお勧めします。
- 良好な印刷品質を得るために、インクカートリッジ開封後は6カ月以内に使い切ることをお勧めします。
- インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。本製品は純正インクカートリッジを前提に色調整されているため、純正品以外を使用すると印刷品質が低下することがあります。

関連情報

- ➔ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」 161ページ](#)
- ➔ [「プリントヘッドの位置を調整する」 162ページ](#)
- ➔ [「対応用紙とセット可能枚数」 42ページ](#)
- ➔ [「セットした用紙の種類を設定する」 49ページ](#)
- ➔ [「用紙取り扱い上のご注意」 44ページ](#)

印刷用紙が汚れる、こすれる

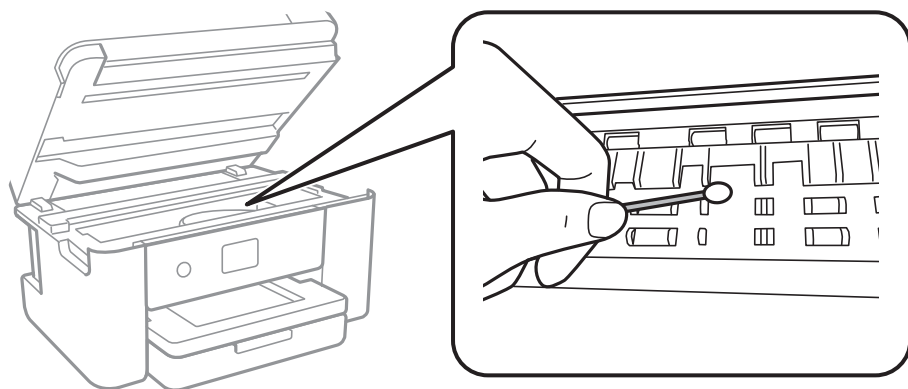
- 横方向にスジが入ったり、印刷用紙の上下が汚れたりするときは、用紙を正しい方向でセットして、用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。



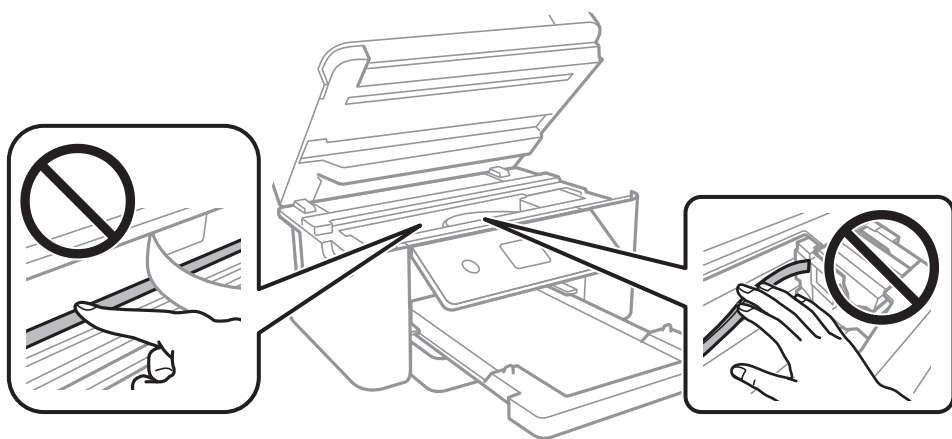
- 縦方向にスジが入ったり、印刷用紙が汚れたりするときは、給紙経路をクリーニングしてください。



- 給紙経路をクリーニングしても解決しないときは、プリンター内部の図で示した部分が汚れていることがあります。綿棒などでインクを拭き取ってください。



プリンター内部のケーブル（白色）や半透明フィルムには触らないでください。動作不良の原因となるおそれがあります。



- 平らな場所に用紙を置いて、反りがあれば平らにしてください。
- 手動で両面に印刷するときは、印刷した面を十分に乾かしてから裏面に印刷してください。
- ハガキの両面に印刷するときは、宛名面を先に印刷してください。

関連情報

- ➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ](#)
- ➡ [「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」 165ページ](#)

自動両面印刷すると印刷用紙が汚れる

画像やグラフなど高密度のデータを自動両面印刷するときは、印刷濃度を薄く、乾燥待ち時間を長く設定してください。

関連情報

- ➡ [「プリンター設定」 58ページ](#)

写真印刷するとインクがベタベタする

写真用紙の裏面に印刷した可能性があります。用紙のセット向きを確認し、おもて面に印刷し直してください。
裏面に印刷した場合は、給紙経路をクリーニングしてください。

関連情報

➡ [「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」165ページ](#)

画像や写真が意図しない色合いになる

Windowsプリンタードライバーの初期設定では、用紙種類によってはエプソンの自動画質補正が有効になっています。
設定を変更してから印刷してみてください。

〔基本設定〕タブの〔色補正〕で〔ユーザー設定〕を選択して〔設定〕をクリックします。〔補正モード〕で〔標準（自動）〕以外を選択します。効果がない場合は、〔カラー調整〕で〔オートフォトファイン!EX〕以外の補正方法を選択してください。

関連情報

➡ [「色補正をして印刷する」79ページ](#)

ハガキに縦長の写真を印刷すると宛名面と上下が逆になる

縦長写真のデータは撮影時の条件（カメラの向きや仕様）によって上下（天地）が異なります。セットの向きを上下逆にしてください。

フチなし印刷できない

印刷設定でフチなしの設定をしてください。フチなし印刷に対応していない用紙種類を選択すると〔フチなし〕の設定はできません。フチなし印刷対応用紙を選択してください。

関連情報

➡ [「コピー時の応用設定メニュー」104ページ](#)

➡ [「基本の印刷」65ページ](#)

➡ [「基本の印刷」86ページ](#)

フチなし印刷で画像の周囲が欠ける

フチなし印刷では印刷データを少し拡大して印刷するため、用紙からはみ出した部分が欠けてしまいます。はみ出す度合いが少ない設定に変更してください。

- 操作パネル
〔フチなしはみ出し量〕で設定を変更します。

- Windows
プリンタードライバーの「基本設定」タブで「はみ出し量設定」をクリックして設定を変更します。
- Mac OS
プリント画面の「印刷設定」メニューにある「はみ出し量設定」で設定を変更します。

関連情報

➡ [「コピー時の応用設定メニュー」 104ページ](#)

印刷位置、サイズ、余白が思い通りにならない

- 印刷用紙を正しい方向でセットして、印刷用紙の側面に用紙ガイドを合わせてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。コピー結果の端が切れたときは、原稿を原点マークから少し離してセットしてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、それを含めた範囲がスキャンされるため、位置が大きくなりずれたり画像が小さくなったりします。
- コピー設定の「原稿サイズ」を正しく設定してください。
- 印刷用紙のサイズを正しく設定してください。
- アプリケーションソフトの余白設定を印刷領域内にしてください。

関連情報

➡ [「用紙カセットに用紙をセットする」 45ページ](#)
➡ [「原稿台に原稿をセットする」 52ページ](#)
➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」 169ページ](#)
➡ [「印刷可能領域」 221ページ](#)

文字が正しく印刷されない、文字化けする

- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルをしっかりと差し込んでください。
- 待機中のジョブを削除してください。
- 印刷中はコンピューターを手動で「休止状態」または「スリープ」にしないでください。次回コンピューター起動時に、文字化けしたデータが印刷されることがあります。
- 以前使用していたプリンタードライバーを使うと、文字化けすることがあります。お使いのプリンタードライバーがこのプリンター用のものか確認してください。プリンタードライバー画面上部のプリンター名を確認してください。

画像が反転する

プリンタードライバーやアプリケーションソフトで、左右反転設定を解除してください。

- Windows
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「左右反転」のチェックを外します。

- Mac OS
プリント画面の「印刷設定」メニューで「左右反転」のチェックを外します。

モザイクがかかったように印刷される

画像や写真は、解像度の高いデータで印刷してください。Webページの画像は解像度の低いことが多く、ディスプレイ上できれいに見えても、印刷すると期待した印刷品質が得られないことがあります。

コピー結果にムラやシミ、斑点、線が出る

- 通紙（給排紙）をして、給紙経路をクリーニングしてください。
- 原稿台をクリーニングしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
- 原稿台からコピーするときは、原稿や原稿カバーを強く押さえ付けないでください。
- 印刷用紙が汚れるときは、コピー濃度を下げてください。

関連情報

- ➡ [「給紙経路をクリーニングする（印刷結果が汚れるとき）」 165ページ](#)
- ➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」 169ページ](#)
- ➡ [「ADFをクリーニングする」 166ページ](#)
- ➡ [「コピー時の基本設定メニュー」 103ページ](#)

コピー結果にモアレ（網目状の陰影）が出る

拡大縮小の設定を変えるか、原稿の角度を少し変えてセットしてください。

関連情報

- ➡ [「コピー時の基本設定メニュー」 103ページ](#)

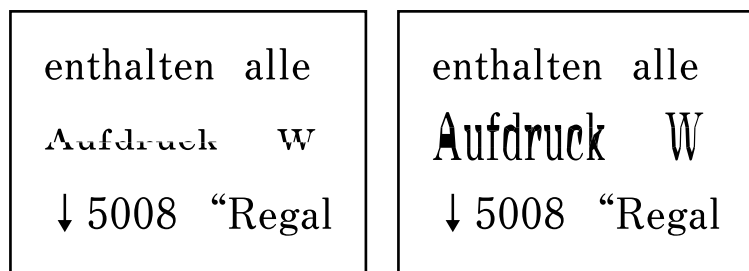
コピーすると裏写りする

- 薄手の原稿は、原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねて原稿台にセットしてください。
- 操作パネルでコピー濃度を薄くしてください。

関連情報

- ➡ [「コピー時の基本設定メニュー」 103ページ](#)

ADFからコピーした図や文字が潰れる、伸びる



原稿によっては、ADFからきれいに読み取れない場合があります。原稿台に原稿をセットしてください。

関連情報

➡ [「原稿台に原稿をセットする」52ページ](#)

印刷結果のトラブルが解決しない

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、プリンタードライバーをアンインストールして、再インストールしてみてください。

関連情報

➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」181ページ](#)

➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

印刷時のその他のトラブル

印刷速度が遅い

- 不要なアプリケーションソフトを終了してください。
- 印刷品質を下げて印刷してください。印刷品質が高いと印刷速度が遅くなります。
- 双方向印刷設定を有効にしてください。双方向印刷はプリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するため、印刷速度が速くなります。
 - Windows
プリンタードライバーの「応用設定」タブで「双方向印刷」をチェックします。
 - Mac OS
 メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサブライ」 - 「オプション」（または「ドライバ」）の順にクリックします。「双方向印刷」で「オン」を選択します。

- 動作音低減モードを無効にしてください。動作音低減動作中は印刷速度が遅くなります。
 - 操作パネル
ホーム画面で  を選択して、「動作音低減モード」を無効にします。
 - Windows
プリンタードライバーの「基本設定」タブで「動作音低減モード」を「オフ」にします。
 - Mac OS
 メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサプライ」 - 「オプション」（または「ドライバ」）の順にクリックします。「動作音低減モード」で「オフ」を選択します。

連続印刷中に印刷速度が極端に遅くなった

高温によるプリンター内部の損傷を防ぐための機能が働いていますが、印刷は継続できます。印刷速度を回復させるには、電源を入れたまま印刷しない状態で30分以上放置してください。電源を切って放置しても回復しません。

Mac OS X v10.6.8から印刷を中止できない

コンピューターから印刷を中止できるようにしたいときは、以下に従ってください。

Web Configを起動して「AirPrint設定」で「最優先プロトコル」を「Port9100」にします。その後、 メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択し、お使いのプリンターを削除してから、再度同じプリンターを追加します。

スキャンできない

- ADFからのスキャン時は、原稿カバーやADFカバーが閉まっているか確認してください。
- Epson Scan 2の「フォトモード」でスキャンするときは、ADFは使用できません。
- プリンターとコンピューターを接続しているUSBケーブルを、しっかりと差し込んでください。USBハブ使用時は、プリンターとコンピューターを直接接続してみてください。
- ネットワーク接続しているときに高解像度でスキャンすると、通信エラーが発生することがあります。解像度を下げてスキャンしてください。
- Epson Scan 2で選択しているスキャナーが正しいことを確認してください。

プリンターがコンピューターに認識されているか確認する（Windows）

Windowsの場合、「スキャナーとカメラ」でお使いのプリンター（スキャナー）が表示されていることを確認してください。プリンター（スキャナー）は「EPSON XXXXX（プリンター名）」と表示されます。表示されないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。「スキャナーとカメラ」を表示させる手順は以下です。

- Windows 10
スタートボタンをクリックし、[Windows システムツール] - [コントロールパネル] の順に選択して、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
[デスクトップ] - [設定] - [コントロールパネル] の順にクリックして、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows 7/Windows Server 2008 R2
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] を選択して、検索ボックスに「スキャナーとカメラ」と入力します。[スキャナーとカメラの表示] をクリックして、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows Vista/Windows Server 2008
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [スキャナとカメラ] の順に選択して、プリンターが表示されているか確認します。
- Windows XP/Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックし、[コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [スキャナとカメラ] の順に選択して、プリンターが表示されているか確認します。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」181ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

スキャン品質のトラブル

原稿台からスキャンするとき、色ムラ、汚れ、点などが現れる

- 原稿台をクリーニングしてください。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。
- 原稿や原稿カバーを強く押さえ付けしないでください。強く押さえ付けると、ムラ、シミ、斑点が出る場合があります。

関連情報

- ➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」169ページ](#)

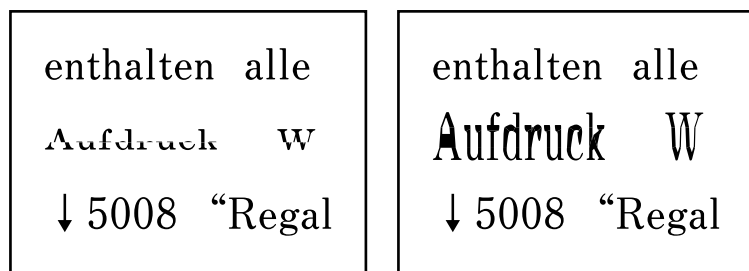
ADFからスキャンするとき直線が現れる

- ADFをクリーニングしてください。
ADFに付いているゴミや汚れが原因で、画像に直線が出ることがあります。
- 原稿に付いているゴミや汚れを取り除いてください。

関連情報

- ➡ [「ADFをクリーニングする」166ページ](#)

ADFからスキャンした図や文字が潰れる、伸びる



原稿によっては、ADFからきれいに読み取れない場合があります。原稿台に原稿をセットしてください。

関連情報

➡ [「原稿台に原稿をセットする」52ページ](#)

原稿の裏面が写る

原稿の裏面の画像も読み取られ、スキャンした画像に写ることがあります。
原稿台で、原稿の裏側に黒い紙や下敷きなどを重ねてセットしてスキャンしてください。

原稿台で正しい範囲でスキャンできない

- 原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。
- スキャンした画像の端が切れたときは、原稿を原稿台のフチから少し離してセットしてください。
- 原稿台に複数の原稿をセットするときは、それぞれの原稿を20 mm以上離してセットしてください。
- 操作パネルから、スキャン範囲の自動切り取り設定でスキャンするときは、原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。原稿の周辺にゴミや汚れがあると、その位置までスキャン範囲が拡張されます。

関連情報

➡ [「原稿のセット」50ページ](#)

➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」169ページ](#)

スキャン品質のトラブルが解決しないときは

全ての対処方法を試してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2 ユーティリティを使ってEpson Scan 2 の設定を初期化します。

参考 Epson Scan 2 ユーティリティは、Epson Scan 2に付属してインストールされる設定ソフトウェアです。

1. Epson Scan 2 ユーティリティを起動します。

- Windows 10/Windows Server 2016
スタートボタンをクリックして、[EPSON] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。

- Windows 8.1/Windows 8/Windows Server 2012 R2/Windows Server 2012
検索チャームでソフトウェア名を入力して、表示されたアイコンを選択します。
- Windows 7/Windows Vista/Windows XP/Windows Server 2008 R2/Windows Server 2008/
Windows Server 2003 R2/Windows Server 2003
スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム] または [プログラム] - [EPSON] - [Epson Scan 2] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。
- Mac OS
[移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Scan 2 ユーティリティ] の順に選択します。

2. [その他] タブを選択します。

3. [初期化] をクリックします。

 参考 初期化してもトラブルを解決できないときは、Epson Scan 2をアンインストールして、再インストールしてください。

関連情報

- ➡ [「ソフトウェアをアンインストール（削除）する」181ページ](#)
- ➡ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

スキャン時のその他のトラブル

スキャン速度が遅い

解像度を下げてスキャンしてください。

PDF/Multi-TIFF形式でスキャンすると動作が止まる

- Epson Scan 2では、PDF形式でスキャンできる原稿は999枚、Multi-TIFF形式では200枚までです。
- 大量のスキャンは、モノクロでのスキャンをお勧めします。
- コンピューターのハードディスクの空き容量を増やしてください。十分な空き容量がないと、スキャンが止まる場合があります。
- 解像度を下げてスキャンしてください。総データの容量が制限を超えるとスキャンが止まります。

ファクス送受信のトラブル

ファクスの送信も受信もできない

- 操作パネルで「ファクス診断」を選択して自動接続チェックを行ってください。印刷された診断結果レポートに従って対処してください。
- 「接続回線」の設定を確認してください。「構内交換機(PBX)」に設定すると通信できることがあります。また、外線発信番号が必要な環境では外線発信番号をプリンターに登録して、電話番号の先頭に#を付けて送信してみてください。
- 通信エラー発生時は、操作パネルで「通信モード」を「9.6kbps(G3)」にしてみてください。
- 電話回線に直接電話機を接続して、電話の発着信ができるか確認してみてください。正常に動作しないときはご契約の回線事業者へ問い合わせてください。
- ADSL接続時は、スプリッター内蔵のADSLモデムをお使いになるか、内蔵されていない場合は別途スプリッターを取り付ける必要があります。ご契約のADSLの回線事業者にお問い合わせください。
- ADSL接続時は、プリンターを電話回線に直接接続して送信ができるか確認してください。正常に送信できれば、プリンターではなくスプリッターに問題がある可能性があります。ご契約のADSLの回線事業者にお問い合わせください。
- 構内交換機(PBX)タイプのISDN回線専用環境下では、ご契約の回線事業者へ問い合わせてください。
- 電話回線の接続で、ブロードバンドルーターやターミナルアダプター使用時は、ルーターやアダプターの電源を入れ直してください。
- 操作パネルで「エラー訂正(ECM)」を有効にしてください。無効にするとカラーファクスの送受信ができません。
- コンピュータからのファクス送受信は、プリンターとコンピュータがUSBまたはネットワークで接続され、コンピュータにPC-FAXドライバーがインストールされていることを確認してください。PC-FAXドライバーは、FAX Utilityをインストールすると一緒にインストールされます。
- Windowsの場合、「デバイスとプリンター」(または「プリンタ」、「プリンタとFAX」)で、お使いのプリンター(ファクス)が表示されていることを確認してください。プリンター(ファクス)は「EPSON XXXXX (FAX)」と表示されます。表示されないときは、FAX Utilityをアンインストールして、再インストールしてください。「デバイスとプリンター」(または「プリンタ」、「プリンタとFAX」)フォルダーを表示させる手順は以下です。
 - Windows 10
スタートボタンをクリックし、「Windows システムツール」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「デバイスとプリンターの表示」の順に選択します。
 - Windows 8.1/Windows 8
「デスクトップ」-「設定」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」または「ハードウェア」の「デバイスとプリンターの表示」の順に選択します。
 - Windows 7
スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」または「ハードウェア」の「デバイスとプリンターの表示」の順に選択します。
 - Windows Vista
スタートボタンをクリックし、「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「プリンタ」の順に選択します。
 - Windows XP
スタートボタンをクリックし、「設定」-「コントロールパネル」-「プリンタとその他のハードウェア」-「プリンタとFAX」の順に選択します。

- Mac OSの場合、以下を確認してください。
 -  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）が表示されていることを確認します。プリンター（ファクス）は「FAX XXXX (USB)」または「FAX XXXX (IP)」と表示されます。表示されていないときは、[+] をクリックして、お使いのプリンター（ファクス）を登録してください。
 -  メニューの [システム環境設定] - [プリンタとスキャナ]（または [プリントとスキャン]、[プリントとファクス]）の順に選択し、お使いのプリンター（ファクス）をダブルクリックします。[一時停止] になっているときは、[再開] をクリックしてください。

関連情報

- ➔ [「ファクス診断」145ページ](#)
- ➔ [「基本設定」147ページ](#)
- ➔ [「構内交換機 \(PBX\) を設定する」120ページ](#)
- ➔ [「プリンターを電話回線に接続する」115ページ](#)
- ➔ [「ソフトウェアをアンインストール \(削除\) する」181ページ](#)
- ➔ [「最新のソフトウェアをインストールする」180ページ](#)

ファクスを送信できない

- 操作パネルでダイヤル種別の設定が正しいか確認してください。
- 操作パネルで発信元番号を登録してください。送信先によっては発信元番号情報がないファクスを受け付けられないことがあります。
- 非通知設定を解除してください。送信先によっては電話番号を通知することで受信できることがあります。
- 送信先のファクス番号が正しいか、送信先のファクスが受信できる状態か、送信先に確認してください。

関連情報

- ➔ [「基本設定」147ページ](#)
- ➔ [「ファクスの送信も受信もできない」214ページ](#)

特定の宛先にファクスを送信できない

特定の宛先に送信できず、毎回エラーが表示されるときは以下を確認してください。

- ダイヤル終了後、宛先の応答に50秒以上かかるとエラーになります。外付け電話機を使ってダイヤルし、ファクス信号（ピー音）が聞こえるまでの時間を確認してください。50秒以上かかる場合は、ファクス番号の後ろに続けてポーズを入力して送信してください。●を選択すると、ポーズマークとしてハイフンが入力されます。1 ポーズにつき約3秒、ファクスの送信開始が遅くなります。ポーズの数で調整してください。
- 宛先をアドレス帳から選択したときは、アドレス帳の登録内容が間違っていないか確認してください。間違っていないときは、アドレス帳からその宛先を選択し、➤ をタップして、[編集] で [ファクス通信モード] を [9.6kbps(G3)] に変更してから再送信してみてください。

関連情報

- ➡ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」124ページ](#)
- ➡ [「アドレス帳の管理」54ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」214ページ](#)

指定時間にファクスを送信できない

操作パネルで日付と日時を正しく設定してください。

関連情報

- ➡ [「指定した時刻に送信する（時刻指定送信）」125ページ](#)
- ➡ [「基本設定」57ページ](#)

ファクスを受信できない

- ボイスワープなどの電話転送サービス利用時に受信できないことがあります。サービスを提供している業者に問い合わせてください。
- 外付け電話機をプリンターに接続して1回線を共有して使うときは、操作パネルで「受信モード」を「ファクス/電話自動切替」に設定してください。
- 外付け電話機を接続していないときは、操作パネルで「受信モード」を「自動」に設定してください。
- 呼び出し回数を少なく設定してください。呼び出し回数が多く設定されていると、送信側の設定によっては受信できないことがあります。
- 以下の状態ではプリンターのメモリー不足のため受信できません。メモリー不足のメッセージが表示されたときの対処方法をご覧ください。
 - 受信文書数が最大（100件）に達している
 - プリンターのメモリー使用率が100%になっている
- 送信元のファクス番号が「拒否番号リスト」に載っていないか確認してください。「ファクス受信拒否」の設定で「拒否番号リスト」を有効にしているときは、拒否番号リストに載っている番号からのファクスは受信拒否されます。
- 発信元情報を付ける設定をファクス機にしてあるか、送信元に確認してください。「ファクス受信拒否」の設定で「非通知」を有効にしているときは、発信元情報の付いていないファクスは受信拒否されます。
- 送信元のファクス番号がアドレス帳に登録されているか確認してください。「ファクス受信拒否」の設定で「アドレス帳未登録」を有効にしているときは、アドレス帳に載っていない番号からのファクスは受信拒否されます。
- 構内交換機（PBX）接続で、内線呼び出し（SIR）になっているときは、外線呼び出し（IR）に設定すると解決することがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- ダイヤルインやモデムダイヤルインには対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- Fネット（1300Hz呼び出し）には対応していません。該当する場合は、ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- 接続されている電話回線が不安定な場合は、受信ファクスがないにもかかわらず着信中の表示が続くことがあります。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。

関連情報

- ➡ [「基本設定」147ページ](#)
- ➡ [「ファクスの送信も受信もできない」214ページ](#)
- ➡ [「メモリー不足のメッセージが表示された」217ページ](#)

メモリー不足のメッセージが表示された

- 受信文書を受信ボックスに保存する設定にしているときは、既読などで不要になった文書を受信ボックスから削除してください。
- 受信ファクスをコンピューターに保存する設定にしているときは、保存する設定にしているコンピューターを起動させてください。受信文書がコンピューターに保存されるとプリンターのメモリーからは削除されます。
- モノクロファクスを送信したいときは、[ダイレクト送信] を有効にして送信するとメモリーが不足していても送信できます。または外付け電話機からダイヤルして送信することもできます。
- 受信時に紙詰まりなどのエラーが発生していると、受信文書が印刷されないため、メモリー不足になることがあります。プリンターのエラーを解除してから送信元に再送信を依頼してください。

関連情報

- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する」132ページ](#)
- ➡ [「大量ページのモノクロ文書を送る（ダイレクト送信）」125ページ](#)
- ➡ [「外付け電話機からダイヤルして送信する」124ページ](#)
- ➡ [「詰まった用紙を取り除く」186ページ](#)

きれいに送信できない

- 原稿台をクリーニングしてください。
- ADFをクリーニングしてください。
- 操作パネルで[濃度] を調整してください。
- 相手機の性能がわからないときは、[ダイレクト送信] をするか、[画質] を[精細] にして送信してください。
- 操作パネルで[エラー訂正(ECM)] を有効にしてください。

関連情報

- ➡ [「ファクス設定」143ページ](#)
- ➡ [「基本設定」147ページ](#)
- ➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」169ページ](#)
- ➡ [「ADFをクリーニングする」166ページ](#)

原稿サイズと違うサイズで送信された

- 原稿台からファクス送信するときは、原稿を原点マークに合わせて正しくセットしてください。操作パネルで原稿のサイズを正しく設定してください。

- 原稿台や原稿カバーのゴミや汚れを取り除いてください。ゴミや汚れがあると、その位置まで読み取り範囲が拡張されるため、位置が大きくずれたり、画像が小さくなったりします。

関連情報

- ➡ [「ファクス設定」 143ページ](#)
- ➡ [「原稿のセット」 50ページ](#)
- ➡ [「原稿台の汚れを拭き取る」 169ページ](#)

きれいに受信できない

- 操作パネルで「エラー訂正(ECM)」を有効にしてください。
- 送信元に、より画質の高いモードで送信できないか確認してください。
- 受信文書を再度印刷してみてください。[ファクス]  [受信文書の再印刷] を選択すると印刷できます。

関連情報

- ➡ [「基本設定」 147ページ](#)

受信ファクスが印刷されない

- 紙詰まりなどでプリンターにエラーが発生していると印刷できません。プリンターを確認してください。
- 受信ボックスに保存する設定になっていると受信ファクスの自動印刷はされません。[受信設定]を確認してください。

関連情報

- ➡ [「プリンターの状態を確認する」 184ページ](#)
- ➡ [「詰まった用紙を取り除く」 186ページ](#)
- ➡ [「受信文書を受信ボックスに保存する」 132ページ](#)

受信ファクスの2ページ目が白紙または数行だけ印刷される

[ページ分割設定] で [分割後の印刷破棄] をすると、印刷を1ページだけに抑えることができますようになります。
[分割後の印刷破棄] 設定で、[上を破棄] または [下を破棄] を選択して [しきい値] を調整してください。しきい値を上げると、印刷領域が広がり1ページに収めて印刷できることがあります。

関連情報

- ➡ [「印刷設定」 146ページ](#)

ファクス時のその他のトラブル

プリンターに接続した外付け電話機で通話できない

プリンターのEXT.ポートに外付け電話機を接続し、受話器を上げてダイヤルトーン（ツー音）が聞こえるかを確認してください。ダイヤルトーンが聞こえないときは、モジュラーケーブルを正しく接続してください。

関連情報

➡ [「電話機とプリンターを接続する」117ページ](#)

留守番電話が応答しない

- 操作パネルで、ファクスを受信するまでの〔呼び出し回数〕を留守番電話の呼び出し回数より多く設定してください。
- 〔受信モード〕が〔ファクス/電話自動切替〕になっているときは、〔自動〕に変更してください。

関連情報

➡ [「基本設定」147ページ](#)

➡ [「留守番機能付き電話接続時の設定」128ページ](#)

ナンバーディスプレイ機能が働かない

- かかってきた相手先のファクス番号を外付け電話機やプリンターのパネルに表示させるには、ナンバーディスプレイサービスの契約をした回線が必要です。ご契約の回線事業者にお問い合わせください。
- 操作パネルで、〔ナンバー・ディスプレイ対応〕設定を変更してください。
- 1回線を電話機とプリンターで共有するときは、電話機をプリンターのEXT.ポートに接続してください。並列接続（ブランチ接続）をしているとナンバーディスプレイ機能が使えません。

関連情報

➡ [「発信元の電話番号を表示する設定にする（ナンバーディスプレイ機能）」128ページ](#)

➡ [「電話機とプリンターを接続する」117ページ](#)

受信文書に相手先のファクス番号が表示されない、またはファクス番号が間違っ表示される

送信元のファクス機に発信元番号が設定されていないか、登録が間違っている可能性があります。送信元に確認してください。

その他のトラブル

プリンターに触れたときに電気をを感じる

多数の周辺機器をコンピューターに接続していると、プリンターに触れたときに電気を感ずることがあります。プリンターを接続しているコンピューターからアース（接地）を取ってください。

動作音が大きい

動作音が大きいときは「動作音低減モード」を有効にしてください。ただし、動作速度が遅くなります。

- 操作パネル

ホーム画面で  を選択して、「動作音低減モード」を有効にします。

- Windowsプリンタードライバー

「基本設定」タブで「動作音低減モード」を有効にします。

- Mac OSプリンタードライバー

 メニューの「システム環境設定」 - 「プリンタとスキャナ」（または「プリントとスキャン」、「プリントとファクス」）の順に選択して、お使いのプリンターを選択します。「オプションとサプライ」 - 「オプション」（または「ドライバ」）の順にクリックします。「動作音低減モード」で「オン」を選択します。

日時、時刻がずれている

操作パネルで日付と時刻を正しく設定してください。落雷などで停電したり、電源を切ったまま長時間放置したりすると、プリンターの設定時刻がずれることがあります。

関連情報

➡ [「基本設定」57ページ](#)

ソフトウェアがセキュリティーソフトにブロックされる (Windowsのみ)

「コントロールパネル」のセキュリティー設定で、Windows ファイアウォールで許可するプログラムに対象のソフトウェアを追加してください。

付録

プリンターの仕様

以下は2020年7月現在の情報です。

プリンター部の仕様

ノズル配列		黒インク：400ノズル カラーインク：各色128ノズル
用紙厚*	普通紙	64～90 g/m ²
	封筒	長形3号、4号：75～100 g/m ² 洋形1号、2号、3号、4号：75～100 g/m ²

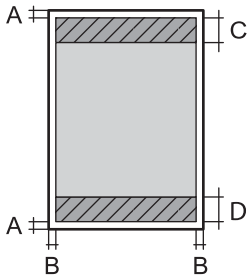
*： 範囲内の厚みの用紙であっても、紙の特性や品質などによって給紙できないことがあります。また、印刷結果に影響が出ることもあります。

印刷可能領域

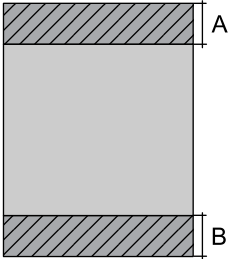
定形紙の印刷可能領域

プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

フチあり印刷時

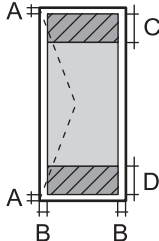
	A	3.0mm
	B	3.0mm
	C	41.0mm
	D	37.0mm

フチなし印刷時

	A	44.0mm
	B	40.0mm

封筒の印刷可能領域

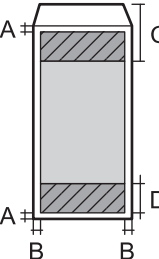
プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

	A	3.0mm
	B	3.0mm
	C	18.0mm
	D	41.0mm

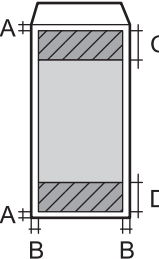
封筒（長形3、4号）の印刷可能領域

プリンターの機構上、斜線の部分は印刷品質が低下することがあります。

宛名面

	A	3.0mm
	B	3.0mm
	C	40.0mm
	D	41.0mm

裏面

	A	3.0mm
	B	5.0mm
	C	37.0mm
	D	41.0mm

省資源機能

両面や割り付け、縮小などの印刷で、用紙の使用枚数が節約できます。

スキャナー部の仕様

スキャナータイプ	フラットベッド
センサー	CIS
有効画素数	10200×14040 pixels (1200 dpi)
最大原稿サイズ	216×297mm A4, Letter
スキャン解像度	1200dpi (主走査) 2400dpi (副走査)
出力解像度	50～9600 dpi (1 dpiで設定可能)
階調	カラー 48bit入力 (RGB各色16bit入力) 24bit出力 (RGB各色8bit出力) グレースケール 16bit入力 8bit出力 白黒 16bit入力 1bit出力
光源	LED

インターフェイスの仕様

コンピューター接続用	Hi-Speed USB*
------------	---------------

* USB3.0ケーブルは使用できません。

ファクス部の仕様

ファクス型式	送受信兼用デスクトップ (スーパーG3、カラーファクス)
対応回線	一般加入電話回線 (PSTN)、構内交換機 (PBX)

通信速度	最大33.6kbps
解像度	モノクロ • 普通：8dot/mm×3.85line/mm • 精細：8dot/mm×7.7line/mm • 写真：8dot/mm×7.7line/mm カラー 200×200 dpi
受信ファクス最大保存ページ数	約100ページ（ITU-T標準原稿をモノクロドラフトで受信した場合）
再ダイヤル回数	2 回（1分間隔）
コネクター形状	回線ライン（RJ-11）、外部電話機接続ライン（RJ-11）

ネットワーク機能一覧

ネットワークインターフェイス

機能		対応	備考
有線LAN		✓	-
無線LAN	インフラストラクチャー	✓	-
	アドホック	-	-
	Wi-Fi Direct（シンプルAP）	✓	-

同時接続

機能	対応	備考
有線LANとWi-Fi Direct（シンプルAP）	✓	-
無線LAN（インフラストラクチャー）とWi-Fi Direct（シンプルAP）	✓	-

操作パネルで設定できる機能

機能			対応	備考
操作パネルで設定できる機能	無線LAN設定	手動設定	✓	-
		プッシュボタン自動設定 (AOSS、WPS)	✓	-
		PINコード自動設定	✓	-
		カンタン自動設定	✓	-
		Epson iPrint接続	✓	-
		Wi-Fi Direct設定	✓	-
	ネットワーク基本設定（デバイス名、TCP/IPアドレス、DNSサーバー、プロキシサーバー）		✓	-
	ネットワーク接続診断		✓	-
	ネットワーク情報の確認		✓	-
	ネットワークステータスシートの印刷		✓	-
	無線LANを無効にする		✓	-
	ネットワーク設定の初期化		✓	-
	ファイル共有設定		-	-

ネットワーク機能とIPv4/IPv6対応

機能			対応	備考
ネットワーク印刷機能	EpsonNet Print (Windows)	IPv4	✓	-
	Standard TCP/IP (Windows)	IPv4, IPv6	✓	-
	WSD 印刷 (Windows)	IPv4, IPv6	✓	Windows Vista以降
	Bonjour印刷 (Mac OS)	IPv4, IPv6	✓	-
	IPP印刷 (Windows、Mac OS)	IPv4, IPv6	✓	-
	UPnP印刷	IPv4	-	情報家電機器
	PictBridge印刷 (無線LAN)	IPv4	-	デジタルカメラ
	Epson Connect (メールプリント、リモートプリント)	IPv4	✓	-
	AirPrint (iOS、Mac OS)	IPv4, IPv6	✓	iOS 5 以降、Mac OS X v10.7以降
	Googleクラウドプリント	IPv4, IPv6	✓	-
ネットワークスキャン機能	Epson Scan 2	IPv4, IPv6	✓	-
	Event Manager	IPv4	✓	-
	Epson Connect (スキャン to クラウド 機能)	IPv4	✓	-
	AirPrint (スキャン機能)	IPv4, IPv6	✓	OS X Mavericks以降
	ADF (自動両面)		-	-
ファクス機能	PC送信	IPv4	✓	-
	PC受信	IPv4	✓	-
	AirPrint (ファクス機能)	IPv4, IPv6	✓	OS X Mountain Lion以降

無線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.11b/g/n*1
周波数範囲	2.4GHz

最大高周波電力値	19.8dBm (EIRP)
接続モード	インフラストラクチャー、Wi-Fi Direct (シンプルAP) *2
無線セキュリティ	WEP (64/128bit) 、WPA2-PSK (AES) *3

*1： IEEE802.11nはHT20のみ

*2： IEEE802.11bは非対応

*3： WPA2規格に準拠し、WPA/WPA2 Personal規格に対応

有線LANの仕様

準拠規格	IEEE802.3i (10BASE-T) *1 IEEE802.3u (100BASE-TX) IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet) *2
通信モード	Auto、10Mbps Full duplex、10Mbps Half duplex、 100Mbps Full duplex、100Mbps Half duplex
コネクタ	RJ-45

*1： 社団法人VCCI協会の技術基準への適合および電磁障害リスク低減のため、カテゴリ5e以上のSTP (シールドツイストペア) ケーブルを使用すること

*2： IEEE802.3azに対応した接続機器が必要

セキュリティの Protokol

SSL/TLS	HTTPS (サーバー/クライアント) 、IPPS
---------	---------------------------

対応している他社サービス

AirPrint	印刷	iOS 5以降、Mac OS X v10.7.x以降
	スキャン	OS X Mavericks以降
	ファクス	OS X Mountain Lion以降

外形寸法と質量の仕様

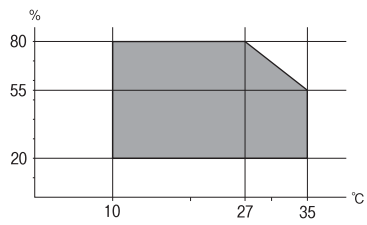
外形寸法	収納時 - 幅：375mm - 奥行き：347mm - 高さ：230mm 印刷時 - 幅：417mm - 奥行き：503mm - 高さ：255mm
質量*	約6.4kg

*： インクカートリッジ、電源コードは含まず

電氣的仕様

定格電圧	AC 100-240 V
定格周波数	50-60 Hz
定格電流	0.4-0.2 A
消費電力（USB接続時）	コピー時：約12.0 W（ISO/IEC24712印刷パターン） レディー時：約5.4 W スリープモード時：約1.0 W 電源オフ時：約0.2 W

動作時と保管時の環境仕様

動作時	グラフで示した範囲で使用してください。  温度：10～35° C 湿度：20～80%（非結露）
-----	---

保管時	温度（インク初期充填実施後）：-15～40° C* 温度（インク初期充填実施前）：-20～40° C* 湿度：5～85%（非結露）
-----	---

*： 40° Cでは1カ月間保管可能

対応OS

最新のOS対応状況はエプソンのウェブサイトをご覧ください。

www.epson.jp/support/taiou/os/

- Windows
Windows Vista、Windows 7、Windows 8/8.1、Windows 10以降（32-bit、64-bit）
Windows XP SP3（32-bit）
Windows XP Professional x64 Edition SP2
Windows Server 2003（SP2）以降
- Mac OS
Mac OS X v10.6.8 以降



- Mac OSでは一部のアプリケーションソフトや機能が対応していないことがあります。
- Mac OS のUNIXファイルシステム（UFS形式）には非対応です。

規格と規制

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2 に適合しています。

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電波障害自主規制

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

著作権

写真、書籍、地図、図面、絵画、版画、音楽、映画、プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

揮発性物質の放散

本製品はエコマークの環境ラベルに定められた揮発性物質の放散基準を満たしています。ただし、使い始めなどに臭いが気になるときは換気してお使いください。

プリンターを輸送する

プリンターを修理に出すときや、引っ越しなどで輸送するときは以下の手順で梱包します。

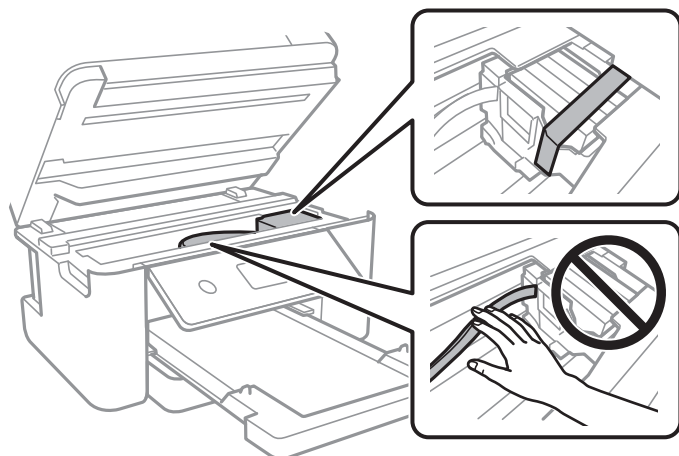
△ 注意 スキャナーユニットを開閉するときは、手や指を挟まないように注意してください。けがをするおそれがあります。

- ！重要**
- 本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。インクが漏れるおそれがあります。
 - インクカートリッジは取り外さないでください。取り外すと、プリントヘッドが乾燥し、印刷できなくなるおそれがあります。

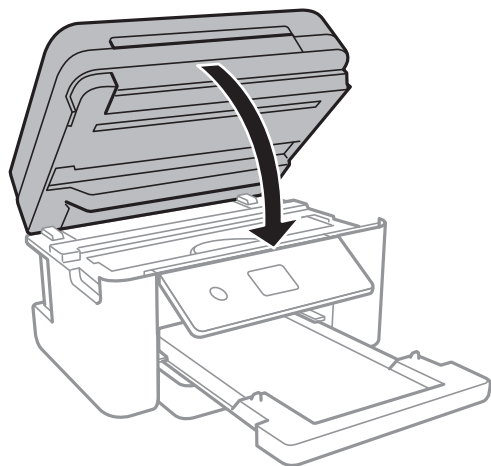
1.  ボタンを押してプリンターの電源を切ります。
2. 電源ランプの消灯を確認して、電源プラグをコンセントから抜きます。

！重要 電源プラグは電源ランプの消灯時に抜いてください。点灯時に抜くと、プリントヘッドがホームポジション（待機位置）に戻らず、乾燥して印刷できなくなるおそれがあります。

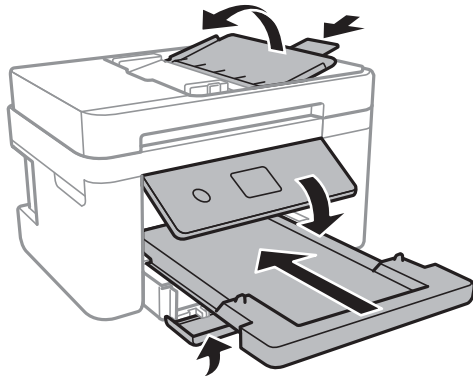
3. 電源コードやUSBケーブルなどのケーブル類を取り外します。
4. セットされている全ての印刷用紙を取り除きます。
5. 原稿がないことを確認します。
6. 原稿カバーを閉めた状態でスキャナーユニットを開けて、インクカートリッジ挿入部が動かないように市販のテープなどでしっかり固定します。



7. スキャナーユニットを閉めます。



8. 以下のように梱包できる状態にします。



9. 保護材を取り付けた後、箱に入れます。

輸送後はインクカートリッジ挿入部を固定したテープを剥がしてお使いください。輸送後に印刷不良が発生したときは、プリントヘッドのクリーニングや位置の調整をしてください。

関連情報

- ➔ [「各部の名称と働き」 14ページ](#)
- ➔ [「ノズルチェックとヘッドクリーニングをする」 161ページ](#)
- ➔ [「プリントヘッドの位置を調整する」 162ページ](#)

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Epson Scan 2 software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- libtiff
Copyright © 1988-1997 Sam Leffler
Copyright © 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.
THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.
IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

- Apple、Mac、macOS、OS X、Bonjour、ColorSync、Safari、AirPrint、iPad、iPhone、iPod touch、iTunes は米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。“iPhone”の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Google Cloud Print、Chrome、Android、Google Play はGoogle LLCの商標です。
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- Adobe、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。
- Firefox is a trademark of the Mozilla Foundation in the U.S. and other countries.
- Mopria®, Mopria®ロゴは、Mopria Alliance, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標かつサービスマークです。許可無く使用することは固く禁じられております。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

サービスとサポートのご案内

サービスとサポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、「お問い合わせ先」をご覧ください。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディーな対応 — スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心 — 万トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単 — エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化 — エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、まず本書の「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。

使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細は、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理料金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	- 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 - 修理の都度発生する修理代や部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。 - 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。	年間一定の保守料金	
	持込保守	- お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。 - 修理の都度発生する修理代や部品代*が無償のため、予算化ができて便利です。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		お客様からご連絡いただいて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。	有償 （出張料のみ） 修理完了後、その都度お支払いください	有償 （出張料＋技術料＋部品代） 修理完了後、その都度お支払いください
引取り修理（ドアto ドア）		- ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。お客様による梱包・送付の必要はありません。 - 修理代金とは別に引取料金（保証期間内外とも一律）が必要です。	有償 （引取料金のみ） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください	有償 （引取料金＋修理代金） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
持込修理 送付修理		お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、お預かりして修理いたします。	無償	有償 （基本料＋技術料＋部品代） 修理完了品をお届けしたときにお支払いください

*： 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことになります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

アフターサポート・サービスのご案内

お問い合わせの前に



サポート情報サイト

最新ソフトウェア、製品マニュアルなど、製品のサポート情報満載のサイトです。

epson.jp/support/



FAQ（よくあるご質問）

困ったときの対処方法を分かり易く説明しています。

epson.jp/faq/



製品に関するご質問・ご相談/運用支援

営業日、営業時間、有料サービスの詳細はサポート情報サイトでご確認ください。



メールで相談する

epson.jp/mail/



電話で相談する

エプソンインフォメーションセンター
050-3155-8700

有料サービスのご案内

お客様のパソコンを遠隔で確認してのサポート（遠隔サポートサービス）や、スタッフがご自宅にお伺いし、製品の使い方をレクチャーするサービス（おうちプリント訪問サービス）もご紹介します。

修理のお申し込み

豊富な修理メニューをご用意しております。詳細はウェブサイトでご確認ください。epson.jp/shuri/



出張修理サービス

ご指定の場所へサービスエンジニアを派遣し、その場で修理するサービスです。

Web で申し込む
epson.jp/119/

電話で申し込む
050-3155-8600



引取修理サービス

ご指定の日時・場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです（有償）。

Web で申し込む
epson.jp/door/

電話で申し込む
050-3155-7150



消耗品のご購入

お近くのエプソン商品取扱店またはエプソンダイレクトショップでお買い求めください。



エプソンダイレクトショップ
epson.jp/shop/



ご購入相談・ご注文窓口
0120-545-101

会員制情報提供サイト(MyEPSON)

ユーザー登録していただくと、お客様に商品の最新情報や活用のためのヒントをお届けいたします。

myepson.jp/

ショールーム

最新のエプソン商品を実際にお試しいただけます。

epson.jp/showall/



上記 050 で始まる電話番号は KDDI 株式会社の電話サービス KDDI 光ダイレクトを利用しています。本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階
セイコーエプソン 株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

ビジネス(BIJ) 2020.05